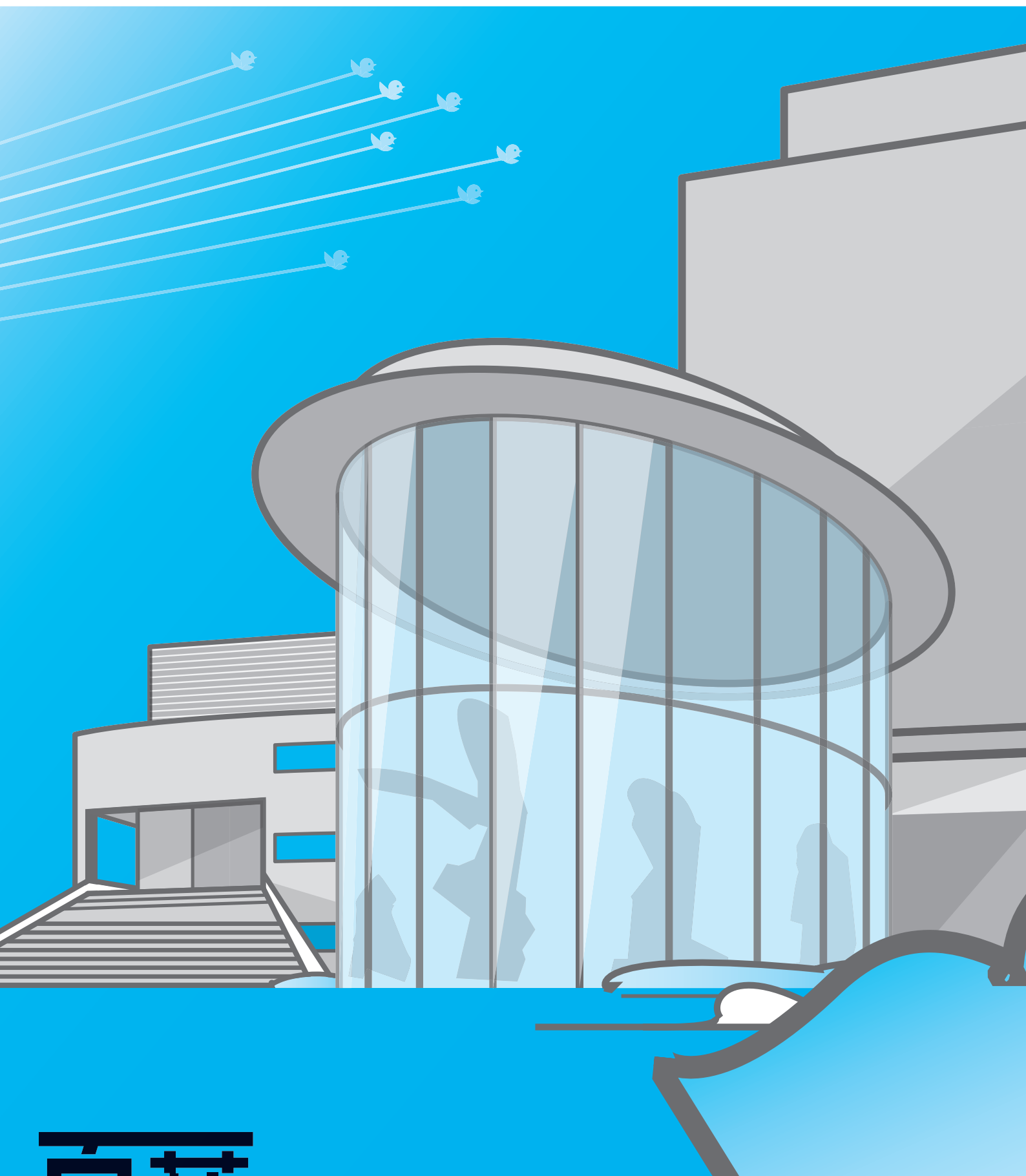


2024年度 受験用入試案内



Art Transformation since 1921
Nihon University College of Art

日本大学芸術学部

日本大学芸術学部教育体系

大学院芸術学研究科

- 博士後期課程
 - 芸術専攻
- 博士前期課程
 - 文芸学専攻
 - 映像芸術専攻
 - 造形芸術専攻
 - 音楽芸術専攻
 - 舞台芸術専攻

芸術学部

- 写真学科
- 映画学科
 - 映像表現・理論コース
 - 理論・批評専攻
 - シナリオ専攻
 - 映像専攻
 - 監督コース
 - 撮影・録音コース
 - 撮影専攻
 - 録音専攻
 - 演技コース
- 美術学科
 - 絵画コース
 - 絵画専攻
 - 版画専攻
 - 彫刻コース
 - 彫刻専攻
 - 地域芸術専攻
- 音楽学科
 - 作曲・理論コース
 - 作曲
 - 理論
 - 音楽教育コース
 - 声楽コース
 - ピアノコース
 - 弦管打楽コース
 - ヴァイオリン
 - ヴィオラ
 - チェロ
 - コントラバス
 - ギター
 - フルート
 - オーボエ
 - クラリネット
 - ファゴット
 - サクソフォーン
 - ホルン
 - トランペット
 - トロンボーン
 - ユーフォニアム
 - チューバ
 - 打楽器
 - 情報音楽コース
- 文芸学科
- 演劇学科
 - 舞台構想コース
 - 劇作専攻
 - 演出専攻
 - 音響専攻
 - 舞台監督専攻
 - 企画制作専攻
 - 演技コース
 - 演技専攻
 - 舞台美術コース
 - 美術専攻
 - 照明専攻
 - 舞踊コース
 - 日舞専攻
 - 洋舞専攻
- 放送学科
- デザイン学科

掲載内容について

2023年4月現在の情報を掲載しています。
今後、内容に変更等が発生した場合には、
本学部ホームページにてお知らせします。

入学者選抜等に関するお問い合わせは…

- ・入学者選抜に関する質問
- ・学部資料請求
- ・キャンパス見学（巻末参照）

等については、入試係までお願いします。
また、入学者選抜情報等については、ホームページで
もご覧いただけます。

昨年度からの主な変更点

総合型選抜 ※詳細は5ページ～

- 写真学科の「求める学生像」を変更
- 音楽学科音楽教育コースの実技内容を変更

学校推薦型選抜（公募制） ※詳細は16ページ～

- 放送学科の出願要件を変更
- 音楽学科作曲・理論コース作曲専攻の実技内容を変更
- 音楽学科音楽教育コースの実技内容を変更
- 音楽学科情報音楽コースの小論文を廃止
- 放送学科の選考方法を変更

一般選抜A個別方式 ※詳細は25ページ～

- 写真学科の選考日を2日間から1日での実施に変更
- 写真学科の小論文を廃止
- 音楽学科作曲・理論コース作曲専攻の実技内容を変更
- 音楽学科音楽教育コースの実技内容を変更

一般選抜N全学統一方式（第1期） ※詳細は33ページ～

- 音楽学科音楽教育コース及び弦管打楽コースの募集を追加し、全学科・コースでの実施に変更

日本大学芸術学部 入試係

03 - 5995 - 8282

〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1

（事務取扱時間）

月曜日～金曜日 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：00

日本大学芸術学部ホームページ
<http://www.art.nihon-u.ac.jp/>



日本大学ホームページ
<http://www.nihon-u.ac.jp/>



日本大学芸術学部 2024年度受験用入試案内

CONTENTS

日本大学芸術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	— 2
入試広報カレンダー	— 4
総合型選抜	
2024年度 総合型選抜について	— 5
2024年度 総合型選抜概要	— 6
2023年度 総合型選抜結果	— 10
2023年度 総合型選抜科目（課題）一覧	— 11
学校推薦型選抜（公募制）	
2024年度 学校推薦型選抜（公募制）について	— 16
2024年度 学校推薦型選抜（公募制）概要	— 17
2023年度 学校推薦型選抜（公募制）結果	— 20
2023年度 学校推薦型選抜（公募制）課題一覧	— 21
一般選抜	
2024年度 一般選抜について	— 24
2024年度 一般選抜A個別方式概要	— 25
2024年度 一般選抜A個別方式専門試験実施内容	— 27
2023年度 一般選抜A個別方式結果	— 28
2023年度 一般選抜A個別方式小論文・作文課題一覧	— 29
2023年度 一般選抜A個別方式実技科目（課題）一覧	— 30
2024年度 一般選抜N全学統一方式概要	— 33
2024年度 一般選抜N全学統一方式（第1期）概要	— 34
2023年度 一般選抜N全学統一方式（第1期）結果	— 35
2024年度 一般選抜N全学統一方式（第2期）概要	— 36
2023年度 一般選抜N全学統一方式（第2期）結果	— 37
2024年度 その他の入学者選抜	
外国人留学生・帰国生選抜、校友子女選抜	— 38
編入学・転部試験／2023年度 編入学・転部試験結果	— 39
2024年度 音楽学科実技課題曲案内	— 40
各学科専門試験参考資料	— 44
学部Q & A	— 60
学部概要	
授業等について	— 66
入学金・授業料等納入金について	— 68
入学後のキャリア形成について ～卒業後の「職」を考える～	— 69
卒業制作等、学生の作品発表を見るには…	— 70
外部進学相談会について／キャンパス見学について	— 72
校舎案内	

総合型選抜

学校推薦型選抜

一般選抜

各種選抜等

実技課題曲・学部Q & A
専門試験参考資料

学部概要

表紙デザイン

中村 至男（グラフィックデザイナー・日本大学芸術学部美術学科卒）

日本大学芸術学部 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

戻る

日本大学芸術学部では、本学の教育理念である「自主創造」のもと、自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく能力を持った人材を育成します。そのため、8つの芸術分野それぞれを強く志す人、創造性が豊かでコミュニケーション能力に富み、芸術全般にわたり強い関心を持つ人、自らが芸術家、クリエイターになることを真剣に考えている人を求めます。

選抜方法として、学部実施の入学者選抜においては、各学科の特性に基づき、小論文、作文や実技等による専門試験及び面接試験を実施して、受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査するよう心掛けています。

以上を踏まえた、各学科における受入れ方針は以下のとおりです。

写真学科では、写真における芸術表現を中心に学習を行うため、写真の歴史や理論を学び、写真表現の技法について考え、報道、広告、ポートレート、芸術等の多様な分野に対応し、それぞれの専門とする写真表現を創造できる人材を求めます。

映画学科では、映画・映像における芸術表現を中心に学習を行うため、映画・映像の歴史や理論を学び、映画・映像表現の技法について考え、それぞれの専門とする映画・映像表現を創造できる人材を求めます。

美術学科では、美術における芸術表現を中心に学習を行うため、美術の歴史や理論を学び、美術表現の技法や活動の在り方について考え、それぞれの専門とする美術表現を創造できる人材を求めます。

音楽学科では、西洋音楽を中心に学習を行うため、音楽の歴史や理論及び技法を学び、音楽表現について考え、それぞれの専門とする音楽表現を創造できる人材を求めます。

文芸学科では、創作、研究、ジャーナリズムにわたる多様な表現活動の学習を行うため、文芸の歴史や理論を基礎教養として学び、文芸史の意義や現代文学の表現方法について考え、次世代を担う文芸表現を創造できる人材を求めます。

演劇学科では、グローバルな視野から、劇場芸術及びそれに関連する実践について学習を行うため、演劇と舞踊の理論や歴史を現代社会とのつながりの中で学び、その技法についても考え、各自の専門とする領域を研究、創造できる人材を求めます。

放送学科では、情報時代の中心的役割を果たす「放送」を深く認識させる学習を行うため、放送に関する歴史や理論を学び、映像や音響、CMの表現について考え、放送を担うにふさわしい自由で豊かな表現を創造できる人材を求めます。

デザイン学科では、デザインにおける思考及び表現を中心に学習を行うため、デザインの歴史や理論を学び、デザイン手法について考え、それぞれの専門とする分野で新たなデザイン表現を創造できる人材を求めます。

日本大学芸術学部では、上記の学部及び学科における入学者受入れ方針に基づき、入学者選抜においては、試験区分により以下のとおり審査し、評価します。

1 一般選抜 (全学科共通)

一般選抜では、A個別方式及びN全学統一方式においては、学力検査により大学生としての基礎学力到達度を審査します。また、A個別方式においては、学力検査とともに各学科の特性に基づいた専門試験及び面接試験等を実施して、受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査し、評価します。

2 そのほかの入学者選抜

本学部では、一般選抜のほかにも、出願資格の異なる多様な入学者選抜を実施しますが、なかでも総合型選抜は、学科ごとに求める学生像を示し、特色ある人材を受入れるよう心掛けています。試験科目については、原則として各入学者選抜共通のもののですが、総合型選抜については、学科によりほかの入学者選抜とは異なる選考方法で審査、評価しています。

①写真学科

小論文試験では発想力、論理性、鑑賞力及び考察力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では写真への情熱、写真を学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては口頭試問、小論文試験を実施します。口頭試問では観察力、対応力、コミュニケーション能力、自己表現力及び伝達能力を、小論文試験では発想力、論理性、鑑賞力及び考察力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では写真への情熱、写真を学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

②映画学科

小論文試験または実技試験（演技コースのみ）を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を、実技試験では資質、技術及び表現力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では映画を学ぶ意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、小論文試験及び面接試験に加え、実技試験、記述試験、ディベートなどのコース別試験を実施して、各コースに応じた能力を審査し、その創造性を評価します。

③美術学科

実技試験・小論文試験ではこれまでの美術経験、表現力及び発想力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では美術学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、実技試験または小論文試験及び面接試験を実施して、各コース・専攻に応じた能力や適性を審査し、その創造性を評価します。

④音楽学科

実技試験ではこれまでの音楽経験及び表現力を、またコースにより併せて実施する音楽に関する小論文試験では論理性及び発想力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では音楽学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

⑤文芸学科

想像力と思考力を必要とする出題方法で小論文・作文試験を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を、作文試験では語彙力及び表現力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では志望動機及び適性を審査し、評価します。

⑥演劇学科

コースごとに実技試験と面接試験を実施します。実技試験ではこれまでに培ってきた技術や経験のみならず、表現力と伝達力を、また、面接試験では劇場芸術を学ぶ意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、他の入学者選抜で実施する実技試験・面接試験に加えて、作文試験を実施します。作文試験では課題に対する着眼点と表現力を審査し、その創造性を評価します。

⑦放送学科

作文試験では与えられた課題に対する着眼点、構成力及び表現力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では放送分野を学ぶ上での意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、実技試験、小論文・作文試験及び面接試験を実施します。実技試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる適性を、小論文試験では主として時事問題についての自分の考え方をそれぞれ審査します。また、面接試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる上で求められる適性、人間性及び将来性を審査し、評価します。

⑧デザイン学科

実技試験では観察力、表現力及び発想力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験ではデザイン学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、小論文試験、実技試験、プレゼンテーション及び面接試験を実施します。小論文試験では論理性及び思考力を、実技試験では観察力、表現力及び発想力を、プレゼンテーションでは自己表現力及び伝達力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験ではデザインへの情熱、デザインを学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

以 上

日本大学学則及び教育研究上の基礎的な情報について

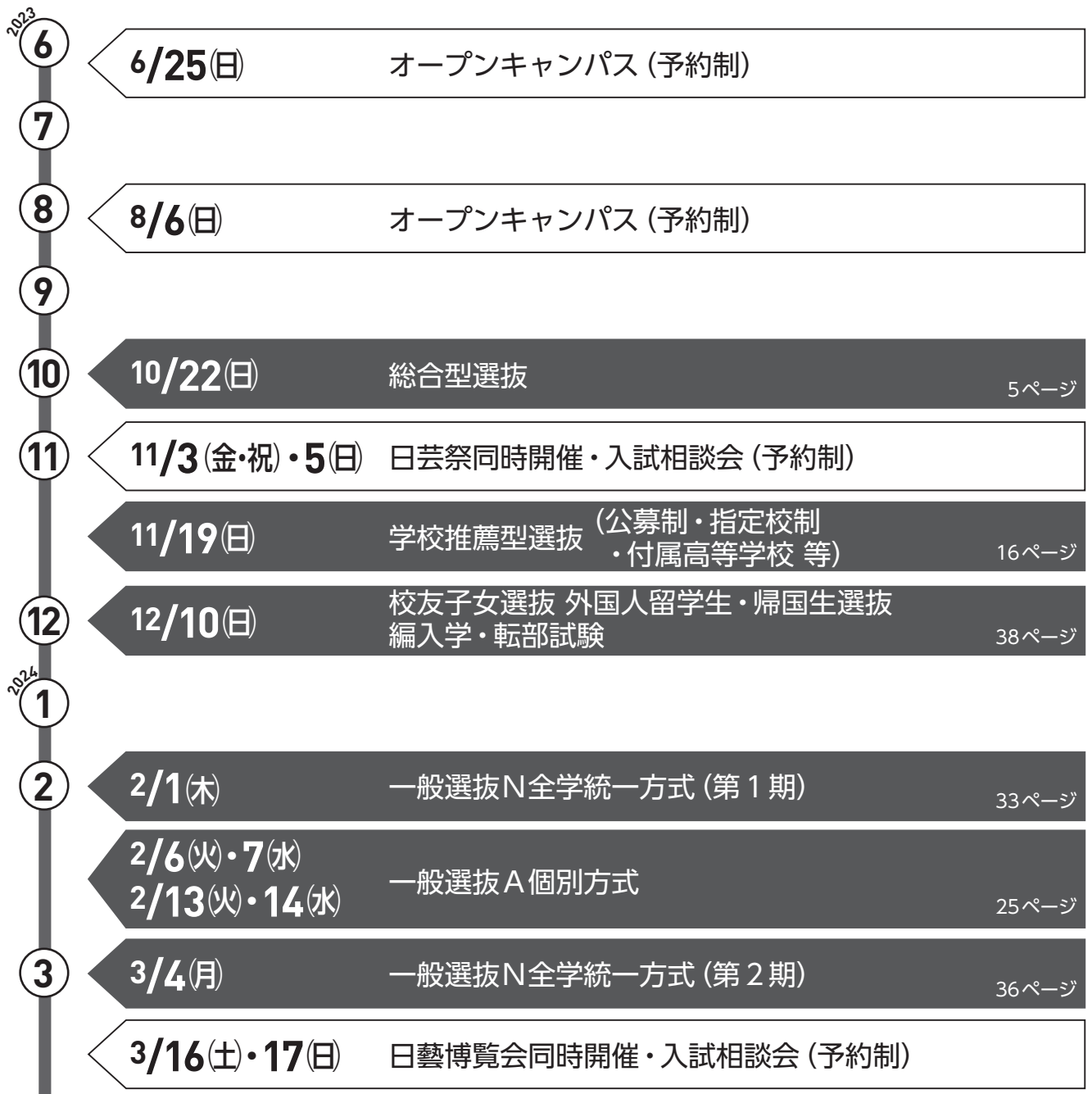
日本大学学則及び「学部教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」、「学部卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」等について、芸術学部ホームページにてお知らせしています。

<http://www.art.nihon-u.ac.jp/about/relations/>

※「学則等」については、ホームページ中程に記載があります。



戻る



こんな方におすすめ (タイプ別入試紹介)

- ・日藝が第1希望!
- ・早く合格して入学後の学びに備えたい
- ・各学科のカリキュラムに興味があり、熱意を伝えたい

➡ **総合型選抜** (5ページ～)

- ・高校生活でがんばったことを評価してほしい
- ・アート、エンタメ、映像、音楽、演劇、文芸などの学びに情熱がある

➡ **学校推薦型選抜** (16ページ～)

- ・「国語」と「英語」の2科目に自信がある
- ・小論文や面接、身体表現・デッサンなどの専門試験に自信がある

➡ **一般選抜A個別方式** (25ページ～)

- ・小論文や面接、身体表現・デッサンなどの専門試験は不安だけど得意な教科がある
- ・遠方から首都圏に受験しに行くのは負担だ
- ・いろいろな学びに興味があり、日大の他学部と併願したい

➡ **一般選抜N全学統一方式** (33ページ～)

[戻る](#)

総合型選抜は、芸術各分野における入学後の目的が明確であり、その目的を実現するのに十分な能力を持っていること、さらにその能力を具体的に表現できることを基本的な出願条件として、公募に基づき選抜する試験です。学力検査だけでは判定することができない、「あなた」を具体的に表現できるか、その適性を求める入学者選抜です。



総合型選抜

総合型選抜

総合型選抜の流れ

(期日はすべて2023年となります)

【エントリーシートのダウンロード】

もっとも興味・関心を持った学科の所定の「エントリーシート」を本学部ホームページからダウンロードしてください（7月上旬に掲載予定）。



【エントリー】

①エントリーシートの提出

受付期間：9月1日（金）～9月5日（火）（簡易書留郵便にて締切日必着）

②結果通知：9月22日（金）

エントリーシート等の内容により入学試験対象者を決定し、通過の可否にかかわらず全員に通知します。
なお、通過者には出願書類（「募集要項」等）を同封します。

※エントリーまでは、入学検定料は徴収しません。



【入学者選抜】

出願期間：9月29日（金）～10月5日（木）（簡易書留郵便にて締切日必着）

選考日：10月22日（日）

選考方法：学科・コースにより異なります。

入学検定料：35,000円



【合格発表】

発表日：11月1日（水）（インターネットによる合否案内）

1 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		40 名
映 画	映像表現・理論，監督，撮影・録音，演技	35 名
美 術	絵画，彫刻	23 名
音 楽	作曲・理論，音楽教育，声楽，ピアノ，弦管打楽，情報音楽	40 名
文 芸		33 名
演 劇	舞台構想，演技，舞台美術，舞踊	20 名
放 送		15 名
デザイン		23 名

※映画，美術，音楽，演劇の各学科を志望する場合は，コースを1つだけ選択してください
※学科・コースの併願はできません

2 試験日程

内 容	期 日
エントリーシート 受付期間	9月1日(金)～9月 5 日(火) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
出願期間	9月29日(金)～10月5日(木) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選考日	10月22日(日)
合格発表日	11月1日(水) (インターネットによる合否案内)
入学手続期間	11月1日(水)～12月4日(月) ※入学時納入金は，入学手続期間内に一括納入となります

3 出願資格・出願要件

<出願資格>

高等学校または中等教育学校等を卒業した者あるいは2024年3月卒業見込みの者、及びそれと同等以上の学力があると認められる者。

<出願要件>

- ①試験の内容をよく理解した上で、エントリーを経て審査を通過した者。
 ②下表に示した、各学科が求める学生像をよく理解し、合格した場合本学部に入学することを確約できる者。

学 科	求める学生像
写 真	次のいずれかに該当する者を求めます a 写真が好きで、積極的に学びたいと考えている者 b 表現を写真でしたい者 c 写真で社会とつながりを持ちたい者 d 写真表現でできることが、まだまだあると思っている者 e 今おきていることを伝えたいと思っている者
映 画	芸術分野に対する豊かな感受性を有し、映像表現分野における創作活動、あるいは映像理論分野における研究活動に対する能力が認められる者を求めます
美 術	芸術領域において創造的・積極的な姿勢を持っている者で次のいずれかの分野に関する能力が認められる者を求めます a 絵画・版画・彫刻における創作活動 b 社会と芸術に関わる創作活動 c 美術に関する理論的研究活動
音 楽	次のaまたはbの要件を満たし、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a 音楽学科各コースの教育内容を理解し、考・動・創・力に富み、芸術、とりわけ音楽の素質豊かな潜在能力を有し、創作力、実技演奏力、論文表現力等に秀で、豊かな人間性を感じさせる者 b 音楽活動（オーケストラ、吹奏楽、合唱、各種演奏オーディション、コンクール、ライブ等）に積極的に参加し、実績をあげた者
文 芸	次のいずれかに該当する者を求めます a 創作、評論を問わず、文芸表現を第一義にめざす者 b 文芸表現分野において顕著な成果をあげている者
演 劇	大学で舞台芸術を学ぶことについて積極的な動機を持ち、次のいずれかに該当する者を求めます a 演劇・舞踊に特別な可能性を見いだす者 b 学力試験的な方法以外で実力をアピールしたい者 c 一回限りの面接ではなく段階的また多面的に自己をアピールしたい者 d 調査書にあらわれない学業的成果をもって自己をアピールしたい者 e その他の、意外なまたは例外的な経歴・個性あるいは「力」をアピールしたい者
放 送	次のいずれかに該当する者を求めます a 放送学科のカリキュラムを理解し、将来アナウンサーを志す者 b 放送学科のカリキュラムを理解し、将来放送分野での活躍を志す者
デザイン	次のいずれかに該当し、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a デザインに関する明確な将来の志望を持っている者 b デザインを通じて社会・文化に貢献したいと考えている者 c デザインを通じて新たなものごとやシステムを考え、論理的な視点から創作することをめざす者 d デザインに関わる新技術に興味を持ち、新たな「表現」や「ものづくり」に関心がある者 e デザインにおいて顕著な成果を上げた者

※出願に先立ち、「エントリーシート」の提出が必要です。

4 エントリー

本学部に興味や関心を持っていただいた方は、以下の要領に従ってエントリーをしてください。

(1) エントリーシートの提出

芸術学部ホームページから「もっとも興味・関心を持った学科」のエントリーシート（学部統一書式）及び宛名シートをダウンロードし、必要事項を記入の上、本学部入試係あてに提出してください（複数学科の提出は不可）。

(2) エントリーシート受付期間

9月1日（金）～9月5日（火） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

(3) 提出書類

①エントリーシート（写真1枚貼付）

ここでは、「あなた」が「日藝」で学びたいことをテーマとして、表現していただきます。

②宛名シート

③学科指定の提出物

音楽学科、文芸学科及びデザイン学科については、別途指定の提出物を提出してください（下表参照）。
なお、以下の学科以外でも、学科指定の提出物が課される場合があります。

学 科	学科指定の提出物
音 楽	各種芸術活動を証明する書類の写し
文 芸	文芸表現分野での実績がある者は、各種文芸賞または作文コンクール等の受賞や文芸活動を証明する書類の写し
デザイン	作品ポートフォリオ（A4サイズ以上）

(4) 審査及び審査結果通知日

提出されたエントリーシート（学科指定の提出物を含む）をもとに審査を行い、試験対象者を決定します。
審査結果は、9月22日（金）に通過の可否にかかわらず全員に通知を発送します。

5 入学者選抜

(1) 出願期間

9月29日（金）～10月5日（木） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

(2) 試験会場 芸術学部校舎

(3) 出願書類

①出願確認票

②出身学校調査書等

※美術学科志願者は、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択すること（詳細は「募集要項」で指示します）。
※音楽学科志願者は、受験曲目等を学科サイトより別途入力すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

(4) 出願者に対する課題等

映画学科以外、選考日当日持参となります（詳細についてはエントリー通過者に別途通知します）。

学 科	課 題
写 真	①小論文 ②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4サイズ） （写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えてください） ※61ページの学部Q&Aを参照
映 画	コースによりレポートを課す場合があります（選考日前の提出を予定）
美 術	絵画・版画・彫刻専攻 作品のポートフォリオ（A4サイズ） 地域芸術専攻 作品のポートフォリオ（芸術活動報告をまとめたものでも可・A4サイズ） ※作成時の注意事項は、芸術学部ホームページに公開されている資料を参照してください。
音 楽	作曲・理論コース（作曲）志願者は、自作曲の楽譜（編成・長さは自由、最大2曲。返却出来ないため写しを持参してください） 作曲・理論コース（理論）志願者は、音楽に関するレポート（書式・長さは自由、手書きに限る、最大2点。返却出来ないため写しを持参してください） 情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください（口頭試問で参考にします）
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）、あるいは石膏像のデッサン及び水彩画等（いずれもA2サイズ）
デザイン	事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード（A2サイズ）2枚 ※当該年度の課題は9月1日以降芸術学部ホームページ上に公開します

6 試験科目

学科・コース		科 目
写 真		①当日持参したポートフォリオに関する口頭試問 ②小論文(事前回答のうえ当日持参) ③面接
映 画	映像表現・理論コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接
	監督コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接
	撮影・録音コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接
	演技コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接
美 術	絵画コース(絵画専攻)	①実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	絵画コース(版画専攻)	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース(彫刻専攻)	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース(地域芸術専攻)	①小論文(60分・800字以内) ②面接
	※両コースとも、出願後すみやかに受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『募集要項』で指示します)	
音 楽	作曲・理論コース(作曲)	①当日持参した自作品の審査及び口頭試問 ②実技(作曲) ③面接
	作曲・理論コース(理論)	①当日持参した音楽に関するレポートの審査及び口頭試問 ②実技(任意の器楽曲または声楽曲の演奏) ③面接
	音楽教育コース	①小論文(60分・800字程度) ②実技(ピアノ) ③面接
	声楽コース	①実技(声楽〔声楽曲及びコールユーブンゲン〕) ②面接
	ピアノコース	①実技(ピアノ) ②面接
	弦管打楽コース	①実技(それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器) ②面接
	情報音楽コース	①口頭試問 ②面接
	※課題曲等の詳細については、40～43ページの『2024年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください(詳細は「募集要項」で指示します)	
文 芸		①小論文または作文(180分・3,200字以内) ※辞書持ち込み可(電子辞書不可)。また、学科指定施設内の資料も参照可 ②面接
演 劇	舞台構想コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(グループディスカッション) ③面接
	演技コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(演技にかかわるもの) ③面接
	舞台美術コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(グループディスカッション) ③面接
	舞踊コース(日舞)	①作文(60分・800字程度) ②実技(日本舞踊曲または日本の伝統舞踊〈郷土芸能を含む〉の実演) ③面接 ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください
	舞踊コース(洋舞)	①作文(60分・800字程度) ②実技(リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現) ③面接 ※稽古着(タイツ、レオタード、シューズ)を持参してください
放 送		アナウンサー志願者 ①適性をみる課題 ②小論文(80分・800字程度) ③面接 放送分野志願者 ①適性をみる課題 ②作文(60分・600字程度) ③面接
デザイン		①小論文 ②実技 ③面接(プレゼンテーションを含む)

戻る

学科・コース		項目	募集 人員	エントリー 者数	試験 対象者数	試験 志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A/B)	2022年度 競争率
写 真 学 科			40	101 (54)	62 (36)	61 (36)	61 (36)	41 (24)	1.5 倍	1.2 倍
映 画 学 科	映像表現・理論 コース	}	35	59 (26)	43 (24)	40 (23)	40 (23)	14 (10)	2.9倍	3.1倍
	監 督 コース			64 (30)	24 (15)	24 (15)	24 (15)	9 (7)	2.7倍	2.0倍
	撮影・録音 コース			49 (29)	27 (19)	26 (19)	26 (19)	12 (9)	2.2倍	1.8倍
	演 技 コース			60 (39)	18 (9)	18 (9)	18 (9)	6 (4)	3.0倍	6.0倍
	計		35	232 (124)	112 (67)	108 (66)	108 (66)	41 (30)	—	—
美術学科	絵 画 コース	}	23	45 (27)	45 (27)	45 (27)	45 (27)	28 (19)	1.6 倍	1.1 倍
	彫 刻 コース			5 (5)	5 (5)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	1.0 倍	1.4 倍
	計		23	50 (32)	50 (32)	49 (31)	49 (31)	32 (23)	—	—
音 楽 学 科	作曲・理論 コース	}	42	10 (6)	9 (6)	9 (6)	9 (6)	6 (4)	1.5 倍	1.2 倍
	音楽教育 コース			5 (3)	5 (3)	5 (3)	5 (3)	4 (3)	1.3 倍	1.3 倍
	声 楽 コース			3 (1)	3 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1.0 倍	1.3 倍
	ピ ア ノ コース			4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	1.0 倍	1.4 倍
	弦管打楽 コース			14 (12)	14 (12)	14 (12)	14 (12)	11 (9)	1.3 倍	1.2 倍
	情報音楽 コース			68 (34)	19 (15)	19 (15)	19 (15)	11 (9)	1.7 倍	1.7 倍
	計		42	104 (59)	54 (40)	53 (40)	53 (40)	38 (29)	—	—
文 芸 学 科			31	75 (45)	74 (45)	69 (41)	68 (40)	38 (23)	1.8 倍	1.1 倍
演 劇 学 科	舞台構想 コース	}	20	49 (40)	18 (16)	17 (15)	17 (15)	6 (5)	2.8 倍	3.3 倍
	演 技 コース			88 (63)	22 (17)	22 (17)	22 (17)	6 (4)	3.7 倍	5.0 倍
	舞台美術 コース			18 (17)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	10 (10)	1.5 倍	1.7 倍
	舞 踊 コース			26 (22)	14 (13)	13 (12)	13 (12)	8 (7)	1.6 倍	3.0 倍
	計		20	181 (142)	69 (61)	67 (59)	67 (59)	30 (26)	—	—
放 送 学 科			15	106 (74)	48 (33)	48 (33)	48 (33)	15 (12)	3.2 倍	6.0 倍
デ ザ イ ン 学 科			23	80 (61)	34 (26)	34 (26)	34 (26)	29 (25)	1.2 倍	1.0 倍
合 計			229	929 (591)	503 (340)	489 (332)	488 (331)	264 (192)	—	—

() 内は女子内数

総合型選抜 科目（課題）一覧

戻る

学科・コース		科 目 ・ 課 題
写 真		①事前小論文課題（選考日当日持参） 動画と写真を比較し、写真のメリットとデメリットを検討してください。（1,000字程度） ②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（選考日当日持参） 「探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定」の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。また、写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。 ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル（20ポケット・40頁以内）とする。 ③作品ポートフォリオ（選考日当日持参） A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成している形式、もしくは市販のフォトブックサービスの利用も可。フォトブックの場合もA4サイズが好ましい。 ④当日持参したポートフォリオに関する口頭試問 ⑤面 接
	全コース	①小論文（60分・600字） 次の文章を読んであなたの考えたことを述べなさい。 ※稲田豊史「映画を早送りで見ると ファスト映画・ネタバレコンテンツ消費の現在形」 光文社、2022年、25～27ページ ②面 接
	映像表現・理論	記述試験（80分・800字以内） 上映する作品は、鈴木志郎康の短編映画『日没の印象』（1975年作）である。この作品を見て、あなたが考えたことを書きなさい。 ※鈴木志郎康「日没の印象」イメージフォーラム、1975年
	監 督	①レポート課題（事前に郵送により提出） あなたの好きな映画を1本選び、演出と音楽の関係について800字程度で述べてください。 ②記述試験（90分・1,000字） 色眼鏡と真心を題材に用いて物語を作りなさい。
	映 撮影・録音	記述試験（60分・800字） これから短編映画を上映します。この映画を見て、「ストーリーにマッチした技術とは何か」あなたが考えたことを書きなさい。 ※平成29年度映画学科卒業制作作品
画		①レポート課題（事前に郵送により提出） 最近の映像作品を一本あげ、その登場人物のうち、一人の演技について800字程度で述べてください。 ②実 技 発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号（ ）番、（ 氏名 ）です。出身は（ 都道府県名 ）で、学校は（ 学校名 ）高校を卒業する予定です。年齢は、（ ）歳です。 発声2 次の文章を朗読してください。 ※松竹株式会社編「小津安二郎新発見」講談社、1993年、68～69ページ 動作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 〔設定〕雨が降ったり止んだりの、グズついた天気朝。玄関を出るところ。 ドアを開けて空を見る。雨が降っていないのでそのまま門を出る。 二、三步、歩き出すと、ポツポツと雨が降ってきた。 傘を持って行こうと引き返す。玄関に戻るといつもの場所に傘がない。 あたりを探していると、玄関脇の部屋のドアが開き、家の人が傘を出してくれた。 傘を受け取り玄関を出る。雨は降っていない。 学校へ急ぐ。 （そのまま退出してください）
	演 技	

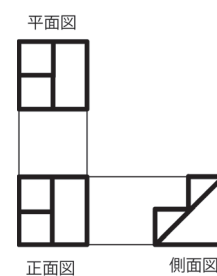
学科・コース		科 目 ・ 課 題																	
美術	全コース	①作品のポートフォリオ（選考日当日持参） これまでに自ら制作した各専門領域に関する作品や活動等をファイルにまとめた「ポートフォリオ」を選考日当日に持参してください。 ※ポートフォリオの持参については、美術学科各コース・各専攻のいずれを受験する場合にも共通です。 ※彫刻コース地域芸術専攻においては、活動が多岐にわたるため、美術全般・地域芸術全般・課外活動・ボランティア活動・学校での委員会等、自らの活動報告をまとめたものでも可。 ○ポートフォリオの形式について ・市販のクリアファイル（A4サイズ）1冊にまとめること。 ・ページ数、添付作品写真の枚数は自由とする。 ・ファイルの1ページ目に、必ず以下の項目を記入した表紙を入れること。 受験コース（絵画コース／彫刻コース） 受験専攻（絵画専攻／版画専攻／彫刻専攻／地域芸術専攻） 受験番号（オンライン受験票に記載されている受験番号） 氏名 ○ポートフォリオの返却について 実技試験中、ポートフォリオ等を参考に順次面接を行い、面接終了後、ポートフォリオは各自に返却します。 ②面 接																	
	絵 画 (絵画専攻)	①実 技（5時間30分） 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く。 《キャンバスはF15号、木炭選択者は木炭紙65cm×50cm、鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm》 [モチーフ] <table><tr><td>木箱</td><td>×1</td></tr><tr><td>バケツ</td><td>×1</td></tr><tr><td>瓶</td><td>×1</td></tr><tr><td>レモン</td><td>×1</td></tr><tr><td>りんご</td><td>×1</td></tr><tr><td>刷毛</td><td>×1</td></tr><tr><td>布</td><td>×1</td></tr><tr><td>ローラーの取っ手</td><td>×1</td></tr></table> ②実技に関するレポート（30分・400字以内）		木箱	×1	バケツ	×1	瓶	×1	レモン	×1	りんご	×1	刷毛	×1	布	×1	ローラーの取っ手	×1
	木箱	×1																	
	バケツ	×1																	
	瓶	×1																	
レモン	×1																		
りんご	×1																		
刷毛	×1																		
布	×1																		
ローラーの取っ手	×1																		
絵 画 (版画専攻)	①実 技（5時間30分） デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 《画用紙または木炭紙65cm×50cm》 [モチーフ] <table><tr><td>ネオレゲリア</td><td>×1</td></tr><tr><td>洋梨</td><td>×1</td></tr><tr><td>マグカップ</td><td>×1</td></tr><tr><td>レモン</td><td>×1</td></tr><tr><td>布</td><td>×1</td></tr></table> ②実技に関するレポート（30分・400字以内）		ネオレゲリア	×1	洋梨	×1	マグカップ	×1	レモン	×1	布	×1							
ネオレゲリア	×1																		
洋梨	×1																		
マグカップ	×1																		
レモン	×1																		
布	×1																		
彫 刻 (彫刻専攻)	①実 技（5時間30分） デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く。 《画用紙または木炭紙65cm×50cm》 [モチーフ] <table><tr><td>パキラ</td><td>×1</td></tr><tr><td>箱椅子</td><td>×1</td></tr></table> ②実技に関するレポート（30分・400字以内）		パキラ	×1	箱椅子	×1													
パキラ	×1																		
箱椅子	×1																		
彫 刻 (地域芸術専攻)	小論文（60分・800字以内） 日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。 地域 里山 空家 祭り 廃校 住民 環境 高齢化 過疎 社会 行政 都市 アート 保全 継続 ゴミ SDGs アートツーリズム 体験																		



学科・コース		科目・課題
音楽	作曲・理論	作曲 ①実 技 (1)当日持参した自作品の審査及び口頭試問 自作曲の楽譜（編成・長さは自由，最大2曲）を当日提出 (2)作曲（80分） 与えられた旋律を冒頭におき，オーボエ独奏（ピアノ伴奏なし）のための小品を作りなさい。 ②面 接 理論 ①実 技 (1)当日持参した音楽に関するレポートの審査及び口頭試問 音楽に関するレポート（書式・長さは自由，手書きに限る，最大2点）を当日提出 (2)実技（演奏） 楽器もしくは歌の楽曲，1曲の演奏。音楽のジャンル，楽器の種類，選曲は自由。 ②面 接
	音楽教育	①実技及び小論文 (1)小論文（60分・800字程度） 次のテーマから1つを選び800字程度の小論文を書きなさい。 - 自分が理想とする音楽科教員像について - 音楽科教員になったら中学校または高校で取り入れてみたい新しい音楽活動について - コロナ禍で体験した音楽の授業から学んだことについて (2)ピアノ：任意のピアノ曲 (3)声 楽：任意の声楽曲 ②面 接
	声 楽	①実 技 声楽（声楽曲及びコールユーブンゲン）（※） （※）『2023年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択 ②面 接
	ピアノ	①実 技 ピアノ (1)練習曲または J. S. Bach 平均律ピアノ曲集（※） (2)ソナタ（※） （※）『2023年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択 ②面 接
	弦管打楽	①実 技 それぞれの専攻する弦楽器，管楽器または打楽器 任意の楽曲または練習曲（自分の能力を最大限アピールできる楽曲を選曲のこと） ②面 接
	情報音楽	①口頭試問 持参した演奏動画に対する口頭試問 ②面 接
文 芸		①小論文または作文（180分・3,200字以内） 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。 （タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。） 「忘れられない人」が登場する話を作文してください。 「曖昧さ」について自由に論じてください。 ②面 接

学科・コース		科 目 ・ 課 題
演 劇	全コース	①作 文 (60分・800字程度) 「プロジェクトを成功させるために自分が果たせる役割」をテーマに作文しなさい。 ②面 接
	舞台構想	実 技 (グループディスカッション) (60分) 5, 6名で1グループを組みます。グループごとに以下の課題を話し合ってください。 1. うまい俳優 を定義してください。(30分) 2. 「観光と観劇」の違いと共通点を整理してください。(30分)
	演 技	実 技 (セリフ及び身体表現に関する適性試験) 事前課題 次の台詞を覚えた上で選抜に臨んでください。配役は当日指示します。 ※別役実「天才バカボンのパパなのだ」『別役実戯曲集』三一書房, 1979年, 7～8ページ
	舞台美術	①事前課題 (選考日当日持参) 自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ (A4サイズ), あるいは石膏像のデッサン及び水彩画等 (いずれも A2サイズ) ②実 技 (グループディスカッション) 7, 8名で1グループを組みます。グループごとに以下の課題を話し合ってください。 1. 舞台美術の役割とは何ですか? (30分) 2. 悲劇と喜劇の違いと共通点を整理してください。(30分)
	舞 踊 (日舞)	実 技 任意の日本舞踊曲または日本の伝統舞踊 (郷土芸能を含む) を実演してください。
	舞 踊 (洋舞)	実 技 ①基本運動 モダンダンス・テクニック ②イメージによる動き (インプロヴァイゼーション) 題「浮力」 ◆身体外部から水流を感じる (ポーズ約30秒) ◆水流水位の変化により次第に浮力を感じながら体で表現する。 (状況の変化を伝える, 例えば, 無重力, 浮遊感, 不安定感, 体重変化, その過程などイメージで自由に動く)
放 送		【A アナウンサー志願者】 ①適性をみる課題 テレビスタジオで音声・カメラテストを行う。 2分程度の自己紹介を考え, 指定の原稿を読む。 ②小論文 (80分・800字) 1972年5月15日に沖縄県は本土に復帰し, 2022年でちょうど50周年を迎えたが, 現在沖縄が抱えている問題を一つ挙げて論じなさい。 ③面 接 【B 放送分野志願者】 ①適性をみる課題 課題「令和4年9月27日に故安倍晋三元首相の国葬儀が行われました。このことについてあなたはどのように考えますか。」について, 40分間のグループディスカッションを行った後, 「グループでどのような議論が行われたか」と「議論を受けての自分の考え」について, 指定の用紙に各自20分でまとめる。 ②作 文 (60分・600字) 「炎上」 ③面 接

学科・コース	科目・課題
デザイン	①事前課題（選考日当日持参） 事前にホームページ上で公開された事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード（A2サイズ）1～2枚（面接時に使用します） 「電力需要の逼迫とその対処法についてあなたが考えるデザイン提案をしてください」 〔注意点〕 A2サイズのボード1～2枚に完成させて当日持ってきてください。 ケントボードに直接描くか別の紙に描いたものをボードに貼っても構いません。 回答作品ですので折ったり丸めたりしないでください。 本課題は返却しません。 裏面の右下に名前（フルネーム）を記載してください。 ②小論文（120分・1,000字） 日本の少子高齢化は過疎地や地方の問題だけではなく、都内23区でも「限界集落」の問題が現実化してきました。 これに関する以下の資料を読み解き、こうした社会問題の背景と問題点を整理分析し、この都内23区の現実に対してデザインで何ができるのか、都市部の特性を考慮した上で、あなた自身の考えや発想、問題点に対する解決の具体的な提案を論じてください。 添付資料： (1)新聞報道－東京23区にも「限界集落」15カ所 高齢化する地域、誰が支える？ ※牛尾梓「東京23区にも『限界集落』15カ所 高齢化する地域、誰が支える？」朝日新聞デジタル、2022年10月15日より抜粋 (2)ウィキペディア フリー百科事典 「限界集落」（抜粋） (3)内閣府 令和4年版高齢社会白書（抜粋） ※内閣府「令和4年版高齢社会白書PDF版」2022年、2、11～14ページ (4)「少子高齢化時代におけるコミュニティの役割 ～地域コミュニティの再生～」 ※山内一宏「少子高齢化時代におけるコミュニティの役割」『立法と調査288号』参議院調査室作成資料、2009年1月、189～195ページ ③実 技 ドローイング（4時間） 「三面図を読み解き、立体として手に持った様子を想像し描きなさい」 〔三面図〕 ＜B3画用紙＞ ※ただし立方体の1辺が約10センチと想定すること 右記の三面図を読み解き、想定した立方体を手とともに描き込み 画用紙に鉛筆でデッサンしてください。構図、背景は自由に設定してください。 ・はかり棒は使用してもよい ④面 接（プレゼンテーション含む）



※上記は、昨年度試験内容であるため、2024年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。
※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

全国から意欲ある受験生を求めます！

学校推薦型選抜（公募制）は、学校推薦型選抜（指定校制）とは異なり、広く全国の高等学校あるいは中等教育学校等の現役生を対象にした推薦入学試験です。

皆さんの学力は、出身学校の調査書をもとに判断し、小論文、作文、面接、実技等の学科別試験によって適性を判定します。

**学校推薦型選抜（公募制）の流れ**

（期日はすべて2023年となります）

【募集要項の入手】

公開時期：9月上旬を予定
※本学部ホームページをご確認ください

**【出 願】**

出願期間：11月1日（水）～11月7日（火）（簡易書留郵便に限る・締切日必着）

**【入学者選抜】**

選考日：11月19日（日）
選考方法：学科・コースにより異なります。

**【合格発表】**

発表日：12月1日（金）
（インターネットによる合否案内，併せて学校長あて速達郵便にて発送）

学校推薦型選抜（指定校制）について

試験日等については公募制と同様ですが、指定校については、高等学校経由でお知らせします。

戻る

（期日はすべて2023年となります）

1 募集方法

公募制

2 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		21名
映 画	映像表現・理論、監督、撮影・録音、演技	18名
美 術	絵画、彫刻	2名
音 楽	作曲・理論、音楽教育、声楽、ピアノ、弦管打楽、情報音楽	5名
文 芸		17名
演 劇	舞台構想、演技、舞台美術、舞踊	30名
放 送		5名
デザイン		18名

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する場合は、コースを1つだけ選択してください

※ 学科・コースの併願はできません。

3 試験日程

内 容	期 日
出願期間及び方法	11月1日（水）～11月7日（火）（簡易書留郵便に限る・締切日必着）
選 考 日	11月19日（日）
合 格 発 表 日	12月1日（金）（インターネットによる可否案内、併せて学校長あて速達郵便にて発送）
入 学 手 続 期 間	12月1日（金）～12月14日（木） ※入学時納入金は、入学手続期間内に一括納入となります

※ 出願方法、提出書類等の詳細は「募集要項」を確認してください

4 出願資格・出願要件

- ①学業・人物が優秀で、高等学校または中等教育学校等を2024年3月卒業見込みの者。
ただし、本学付属高等学校等（26校）に在学の者は除きます。
- ②それぞれの分野に対する強い情熱を有し、芸術的資質に恵まれていて、将来性のある者。かつ合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。
- ③下記の学科で定めた資格を有する者

学 科	学科別の詳細
写 真	下記のAからCのいずれかの条件を満たす者 A 全体の学習成績の状況が3.0以上の者 B 「全国高等学校総合文化祭写真部門」に出展し、高等学校文化連盟全国写真専門部の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者 C 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」ブロック予選に出場した選手で、全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」（東川町写真の町課）の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者
映 画	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
美 術	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 美術・デザイン・造形に関する専門科目を24単位以上修得見込みの者で、全体の学習成績の状況が3.0以上の者。 B 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
音 楽	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 学校長が認めた音楽活動を行い、全体の学習成績の状況が4.0以上の者。 B 音楽の単位を6単位以上修得見込みの者で、全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
文 芸	全体の学習成績の状況が4.0以上の者。
演 劇	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
放 送	全体の学習成績の状況が3.8以上の者。
デザイン	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。

5 推薦者

在学する高等（中等教育）学校長

6 試験科目

学科・コース		科 目
写 真		①書類選考 ②小論文（60分・800～1,000字） ③面接
映 画	映像表現・理論コース	①書類選考 ②小論文（100分・1,000字程度） ③面接
	監督コース	①書類選考 ②小論文（100分・1,000字程度） ③面接
	撮影・録音コース	①書類選考 ②小論文（100分・1,000字程度） ③面接
	演技コース	①書類選考 ②実技（基礎的な音声及び身体表現） ③面接 ※服装については、動きやすい普段着とします
美 術	絵画コース（絵画専攻）	①書類選考 ②実技（油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く〔6時間〕） ③面接
	絵画コース（版画専攻）	①書類選考 ②実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔6時間〕） ③面接
	彫刻コース（彫刻専攻）	①書類選考 ②実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔6時間〕） ③面接
	彫刻コース（地域芸術専攻）	①書類選考 ②小論文（60分・800字以内） ③面接
	※各コースとも、出願後すみやかに受験する専攻及び画材を選択してください（詳細は『募集要項』で指示します） ※実技については、出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンバス（F15号）、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません	
音 楽	作曲・理論コース（作曲）	①書類選考 ②実技（(1)作曲 (2)任意の器楽曲または声楽曲の演奏） ③面接
	作曲・理論コース（理論）	①書類選考 ②小論文（80分・1,000字程度） ③実技（任意の器楽曲または声楽曲の演奏） ④面接
	音楽教育コース	①書類選考 ②小論文（60分・800字程度） ③実技（ピアノ） ④面接
	声楽コース	①書類選考 ②実技（声楽〔声楽曲及びコールユーブンゲン〕） ③面接
	ピアノコース	①書類選考 ②実技（ピアノ） ③面接
	弦管打楽コース	①書類選考 ②実技（それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器） ③面接
	情報音楽コース	①書類選考 ②口頭試問 ③面接
	※課題曲等の詳細については、40～43ページ『2024年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください。 ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください。詳細は『募集要項』で指示します。	
文 芸		①書類選考 ②小論文または作文（60分・800字以内） ③面接
演 劇	舞台構想コース	①書類選考 ②記述式の文章問題 ③面接
	演技コース	①書類選考 ②実技（(1)演技 (2)音感・リズム感） ③面接 ※試験当日体操着及び上履きを持参してください
	舞台美術コース	①書類選考 ②実技（プレゼンテーション） ③面接 ※入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります
	舞踊コース（日舞）	①書類選考 ②実技（日本舞踊曲または日本の伝統舞踊〔郷土芸能を含む〕の実演） ③面接 ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください
	舞踊コース（洋舞）	①書類選考 ②実技（リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現） ③面接 ※稽古着（タイツ、レオタード、シューズ）を持参してください
	※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する試験内容（日舞または洋舞）を演劇学科へ郵送してください（詳細は『募集要項』で指示します）	
放 送		①書類選考 ②小論文（80分・800字程度） ③面接
デザイン		①書類選考 ②実技 鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択 ※実技試験科目のいずれかを事前に選択する必要がありますので募集要項内で指定されたWebサイトより別途入力してください（詳細は『募集要項』で指示します） ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム（練ゴム）、カッターナイフ等を持参してください（デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可） ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ③面接

7 試験会場

芸術学部校舎

8 出願者に対する課題等

写真学科、音楽学科情報音楽コース、演劇学科舞台美術コース及びデザイン学科志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品等を選考日当日に持参してください。（下表参照）

学 科	持 参 作 品 等
写 真	学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4サイズ） （写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えてください） ※61ページの学部Q&Aを参照
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるように準備して持参してください（口頭試問で参考にします）
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）、あるいは石膏像デッサンおよび水彩画等（いずれもA2サイズ）
デザイン	自作作品5点。 なお、映像作品についてはタブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品等については、面接試験終了後に返却します。

9 募集要項

募集要項は9月上旬より公開予定です。詳細については、本学部ホームページにて確認してください。

10 出願資格確認等のための提出物

写真学科志願者のうちBまたはCの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため指定された推薦書を提出してください。また、音楽学科志願者のうちAの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため、「学校長が認めた音楽活動」を証明する資料を提出してください。審査の結果、条件を満たさないと判断された場合は、出願資格を充足しないことになり、出願書類は受理できません。

※証明する資料は出願期間内に提出してください（詳細は「募集要項」にてお知らせします）。

戻る

学校推薦型選抜

学科・コース		項目 募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A/B)	2022年度 競争率
写 真 学 科		21	31 (16)	31 (16)	29 (16)	1.1 倍	1.1 倍
映画学科	映像表現・理論 コース	10	20 (7)	20 (7)	6 (4)	3.3 倍	2.3 倍
	監 督 コース		11 (3)	11 (3)	2 (1)	5.5 倍	6.0 倍
	撮影・録音 コース		9 (4)	9 (4)	5 (1)	1.8 倍	3.2 倍
	演 技 コース		24 (17)	23 (17)	3 (2)	7.7 倍	17.5 倍
	計	10	64 (31)	63 (31)	16 (8)	—	—
美術学科	絵 画 コース	2	5 (2)	5 (2)	2 (2)	2.5 倍	1.0 倍
	彫 刻 コース		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—
	計	2	5 (2)	5 (2)	2 (2)	—	—
音楽学科	作曲・理論 コース	5	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0 倍	1.0 倍
	音楽教育 コース		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	1.0 倍
	声 楽 コース		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	1.0 倍
	ピ ア ノ コース		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0 倍	1.0 倍
	弦管打楽 コース		2 (2)	2 (2)	2 (2)	1.0 倍	1.0 倍
	情報音楽 コース		10 (6)	10 (6)	8 (4)	1.3 倍	2.0 倍
	計	5	14 (9)	14 (9)	12 (7)	—	—
文 芸 学 科		17	25 (15)	25 (15)	20 (11)	1.3 倍	1.3 倍
演劇学科	舞台構想 コース	30	14 (12)	14 (12)	9 (8)	1.6 倍	1.8 倍
	演 技 コース		29 (21)	28 (20)	14 (8)	2.0 倍	3.3 倍
	舞台美術 コース		4 (4)	4 (4)	3 (3)	1.3 倍	1.2 倍
	舞 踊 コース		9 (7)	9 (7)	4 (3)	2.3 倍	2.7 倍
	計	30	56 (44)	55 (43)	30 (22)	—	—
放 送 学 科		5	40 (29)	39 (28)	7 (5)	5.6 倍	—
デ ザ イ ン 学 科		18	36 (27)	35 (26)	24 (17)	1.5 倍	1.2 倍
合 計		108	271 (173)	267 (170)	140 (88)	—	—

※放送学科は2023年度より募集開始のため、2022年度の競争率は掲載していません。

() 内は女子内数

戻る

学科・コース		時間	字数	課 題
写 真	60分	800～1,000字	<小論文> SDGs17項目の中から1項目を選び、作品を制作するとします。その項目を選ぶ理由、制作する写真の構想・アイデアについて、あなたの考えを述べなさい。 ※「SDGsポスター(17のアイコン日本語版)」国連	
			<小論文> 以下の文章を読み、「映像作品に描かれる家族」について考えることを述べよ。 ※藤津亮太著「アニメの輪郭 主題・作家・手法をめぐって」青土社、2021年、51～52ページ	
			【当該専攻志願者なし】	
映 画 (演技を除く)	100分	1,000字程度	【当該専攻志願者なし】	
			【当該専攻志願者なし】	
			【当該専攻志願者なし】	
美 術 (彫刻コース 地域芸術専攻)	—	—	【当該専攻志願者なし】	
			【当該専攻志願者なし】	
			【当該専攻志願者なし】	
音 楽	60分	800字程度	<小論文> 10年後、J-Popはどのようなになっているか、レーベル、演奏形態、イベント等、好きな観点から、あなたの考えを800字程度で論じてください。 答案用紙の題目欄には、自由にタイトルを決めて書いてください。	
			【当該専攻志願者なし】	
			【当該専攻志願者なし】	
文 芸	60分	800字以内	<小論文または作文> 次の二つのうち一つを選んで、文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください) ①「集団幻覚」が発生する話を作文してください。 ②「創作と商業」について自由に論じてください。	
			記述式の文章問題 Ⓐ アメリカの劇作家であるエドワード・オールビー (1928-2016、一部アルビーと表記) の戯曲、『動物園物語』(1958、中西由美訳)の冒頭部分を読み、以下の設問に答えてください。 問1 この場面に自由にタイトルをつけてください (20字以内)。 問2 ジェリーの目的は何なのか、あなたの考えを答えてください (40字以内)。 問3 この物語の結末を自由に創作し、内容を答えてください (40字以内)。 問4 棒線①の台詞を、同じ意味合いになるように注意しながら、別の台詞にかえてください (40字以内)。 問5 今、この場面が劇場で上演されています。どんな音・音楽がきこえてくるか答えてください (80字以内)。 ※E・アルビー著、中西由美訳「動物園物語」『新劇 臨時増刊』白水社、1962年、2～5ページ Ⓑ 以下の問いに答えなさい。(Ⓐとは違う設問です) 問6 「これぞ演劇だ!」「演劇にしか出来ない!」と話題の舞台作品があります。どんな作品なのか想像してその特徴を答えてください (40字以内)。	
			放送分野に関する小論文 日本と中国・韓国・北朝鮮など隣国との関係性について、あなたが日本にとって最も重要と考える国と事柄を挙げて、その重要性について論じなさい。	

※上記は、昨年度試験内容であるため、2024年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。
 ※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

学科・コース		科 目 ・ 課 題	
映 画 (演技)		基礎的な音声及び身体表現 発声 1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号()番, (氏名)です。出身は(都道府県名)で, 学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は, ()歳です。 発声 2 次の文章を朗読してください。 ※日高のり子「天職は, 声優。」株式会社主婦の友インフォス, 2022年, 98ページ ©Noriko Hidaka & Shufunotomo Infos Co., Ltd. 動 作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 〔設定〕休日。友人とディズニーランドへ行く約束をしている。 地元の駅前で友人を待っている。 時間になっても友人は来ない。 電話をしてみる。友人は電話に出ない。メッセージを送ってみる。 しばらくして友人からのメッセージが入る。 待ち合わせは舞浜駅だと思って, もう到着しているとのこと。 友人に電話をかけながら, 急いで改札へと向かう。 (そのまま退出してください)	
美 術	絵 画 (絵画専攻)	実技 (油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し, 静物を描く) (6時間) ≪ F15号キャンバス, 画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫ 〔モチーフ〕 木箱 × 1 ワイン瓶 × 1 りんご × 1 かぼちゃ × 1 ハンドレーキ × 1 布 × 1	
	絵 画 (版画専攻)	【当該専攻志願者なし】	
	彫 刻 (彫刻専攻)	【当該専攻志願者なし】	
音 楽	作曲・理論 (作曲)	① 作曲 (80分) 与えられた旋律を冒頭におき, オーボエ独奏 (ピアノ伴奏なし) のための小品を作りなさい。 ② ピアノ : 任意のピアノ曲	
	作曲・理論 (理論)	【当該専攻志願者なし】	
	音楽教育	【当該コース志願者なし】	
	声 楽	【当該コース志願者なし】	
	ピアノ	ピアノ (※) (※)『2023年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択	
	弦管打楽	それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器 (※) (※)『2023年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択	
	情報音楽	口頭試問 持参した演奏動画に対する口頭試問	
演 劇	演 技	実技 ① 演技 【問題 1】台詞表現 ※川村毅「春独丸」『春独丸 俊寛さん 愛の鼓動』論創社, 2010年, 26～27ページより抜粋 【問題 2】エチュード あなた以外の一人二役となって, あなたのことを紹介してください。 ② 音感・リズム感 【リズム感】 (1) -1 カウントに合わせて走る, 止まる, 回る動作を行う。 (2) 走る, 投げる, たぐり寄せる動作を組み合わせた身体表現 【音感】 アカペラで歌う	

学科・コース		科 目 ・ 課 題						
演 劇	舞台美術	プレゼンテーション 以下の画像のうち物語性を感じる2枚を選択し、その組み合わせから舞台空間を構成しなさい。 (資料作成用紙にアイデアをまとめ、プレゼンテーションに使用すること。資料作成時間は60分、プレゼンテーションは一人5分です) ※「写真素材」演劇学科教員個人所蔵						
	舞 踊 (日舞)	【当該専攻志願者なし】						
	舞 踊 (洋舞)	リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現 ①基本運動 モダンダンス・テクニク ②イメージによる動き (インプロヴァイゼーション) 課題『重力』 ◆自分の身体の重さを感じる (ポーズ約30秒) ◆次第に重力の変化を感じながら体で表現する (状況の変化を口頭で伝える。例えば、重力から無重力、浮遊感、不安定感、体重変化など。その過程などイメージで自由に動く)						
デ ザ イ ン		鉛筆によるデッサン (4時間) またはデザインプレゼンテーション (4時間) のいずれかを選択 ①鉛筆によるデッサン (4時間) ≪B3画用紙≫ 与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可 [モチーフ] <table><tr><td>アクリルケース</td><td>×1</td></tr><tr><td>瓶ビール</td><td>×1</td></tr><tr><td>紙ひも</td><td>×1</td></tr></table> 条件 (1)机の上に置いてある「アクリルケース」と「瓶ビール」「紙ひも」をセットする。「紙ひも」はそのままではなく変形させること。「アクリルケース」の引き出し部分は引き出してもいい。 固定にはねりゴムを使用してもよい。 (2)台紙は描かなくてもよい。 (3)配布したコピー用紙 (A3) は下書きに使ってもよい。 (4)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。 ②デザインプレゼンテーション (4時間) ≪B3ケント紙+PMパッド1枚≫ あなたたちの「高校生活」の中から問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。 この「高校生活」の中の問題に対してデザインでどのような解決できるのか具体的に提案してください。もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。 例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。 条件 (1)用紙は2枚あります。PMパッド (薄い紙) 1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由 (個人で用意した鉛筆、および配布された色鉛筆のみを使用すること) (3)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。 (4)用紙は2枚とも提出とし、2枚の総合評価とする。 (5)定規・コンパスは使用不可。	アクリルケース	×1	瓶ビール	×1	紙ひも	×1
アクリルケース	×1							
瓶ビール	×1							
紙ひも	×1							



※上記は、昨年度試験内容であるため、2024年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2月・3月で3回入学者選抜を実施します！

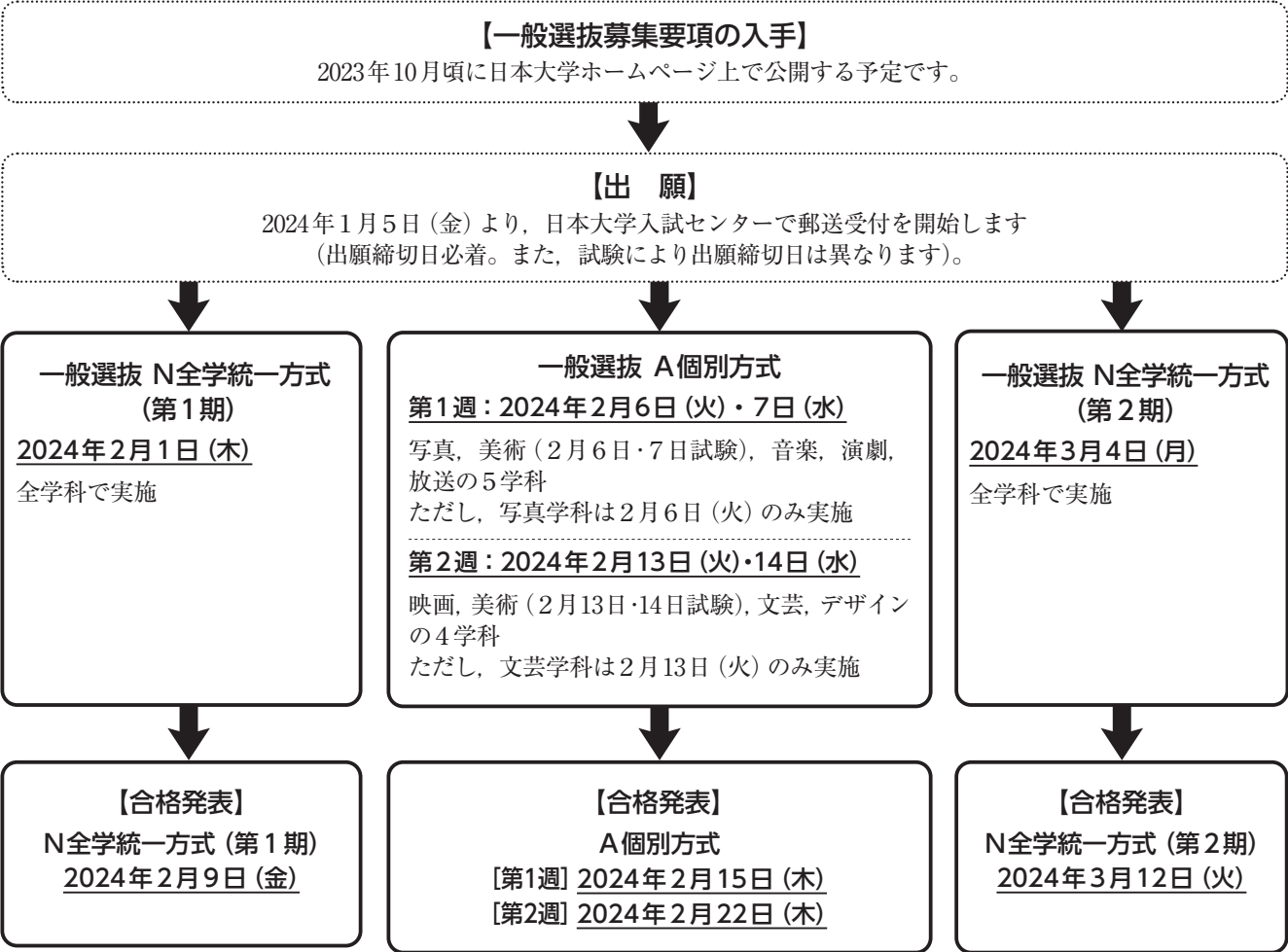
一般選抜には、芸術学部が独自に実施する入学者選抜（A個別方式）と日本大学の統一入学者選抜（N全学統一方式）があり、2月にN全学統一方式（第1期）とA個別方式、3月にN全学統一方式（第2期）を実施します。



A個別方式とN全学統一方式（第1期・第2期）の違いについて

比較項目	A個別方式	N全学統一方式（第1期・第2期）
方 式	芸術学部が独自に実施する試験です。 学科により試験期日が設定されます。	日本大学が同一試験日に実施する試験です。
試験会場	芸術学部校舎で実施します。	全国各地の会場で実施します。 ※第1期と第2期で実施会場が異なります。
併 願	受験学科により併願が可能です。	日本大学の複数学部(学科)や、本学部内の複数学科の併願が可能です。
試験科目	学力検査(外国語・国語)及び各学科の専門試験(学科・コースにより科目は異なります)を実施します。	学科指定の試験科目(学力検査)のみ実施します。 各学科の専門試験は実施しません。

一般選抜の流れ



戻る

(期日はすべて2024年となります)

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
【第1週】 [写真, 美術 (2月6日・7日試験), 音楽, 演劇, 放送]	1月5日 (金)～1月26日 (金)
【第2週】 [映画, 美術 (2月13日・14日試験), 文芸, デザイン]	1月5日 (金)～2月2日 (金)

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください。
 ※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください。

《併願について》

上の表のように, **第1週・第2週と, 2ブロックに分けて実施**, 別のブロックであれば併願も可能です。ただし, 同一ブロック (同じ週に試験が実施される学科・コース) 内での併願はできません。

- **併願が可能な例**: 演劇学科と映画学科, 放送学科と文芸学科, 美術学科の「2月6日・7日試験」と「2月13日・14日試験」等 (ブロックが別で試験を実施する場合)
- ✕ **併願ができない例**: 写真学科と放送学科, 映画学科と文芸学科 等 (同じブロックで試験を実施する場合)

2 試験期日及び試験科目

1 試験会場

すべて芸術学部校舎で実施します。

2 学力検査及び専門試験

①学力検査科目は, 外国語 (英語) 及び国語の2科目で, いずれの科目も全問マークシート方式です。

教 科	科 目	時 間	配 点
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」	60分	100点
国 語	「国語総合」(漢文を除く)	60分	100点

②専門試験

学力検査当日の午後から引き続き専門試験を実施します。
 試験科目は, 小論文, 作文, 実技, 面接等で, 学科・コースにより実施内容は異なります。実施科目の詳細については, 26ページの「3 学科 (コース) 別試験科目一覧」を参照してください。

3 学科(コース)別試験科目一覧

【第1週】写真、美術(2月6日・7日試験)、音楽、演劇、放送学科

学科	募集 人員	コース	学力検査			専門試験							総合点
			試験期日	外国語	国語	試験期日	小論文	作文	実技	面接	配点	備考	
写真	19	—	2月6日 (火)	● 配点 100点	● 配点 100点	2月6日(火)				●	200点		400点
美術 (2月6日 ・7日試験)	10	絵画				2月6日・7日 (火・水)			●※	●	300点	※レポートを含む	500点
		彫刻					●※		●※	●	300点	※彫刻専攻は実技 (レポートを含む)、 地域芸術専攻は小論文	500点
音楽	25	作曲・理論					●※		●	●	300点	※小論文は理論のみ	500点
		音楽教育					●		●	●	300点		500点
		声楽							●	●	300点		500点
		ピアノ							●	●	300点		500点
		弦管打楽							●	●	300点		500点
		情報音楽							●	●	300点		500点
演劇	42	舞台構想						●		●	200点		400点
		演技							●	●	200点		400点
		舞台美術							●	●	200点		400点
		舞踊							●	●	200点	実技は日舞・洋舞 のいずれかを選択	400点
放送	54	—							●		●	200点	

【第2週】映画、美術(2月13日・14日試験)、文芸、デザイン学科

学科	募集 人員	コース	学力検査			専門試験							総合点			
			試験期日	外国語	国語	試験期日	小論文	作文	実技	面接	配点	備考				
映画	40	映像表現・理論	2月13日 (火)	● 配点 100点	● 配点 100点	2月13日・14日 (火・水)	●			●	150点		350点			
		監督					●			●	150点		350点			
		撮影・録音					●			●	150点		350点			
		演技							●	●	150点		350点			
美術 (2月13日 ・14日試験)	10	絵画						●※	●	300点	※レポートを含む	500点				
		彫刻				●※		●※	●	300点	※彫刻専攻は実技 (レポートを含む)、 地域芸術専攻は小論文	500点				
文芸	30	—							2月13日(火)				●	100点		300点
デザイン	20	—							2月13日・14日 (火・水)			●	●	300点	実技は科目を選択	500点

美術学科の試験について

第1週に「2月6日・7日試験」、第2週に「2月13日・14日試験」として実施し、「2月6日・7日試験」と「2月13日・14日試験」は、併願が可能です。

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査及び専門試験の総合得点により合格判定を行います。学力検査の合計得点が200点満点中60点未満の場合は、総合得点が合格最低点を超過していても不合格となります。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

「インターネットによる合否案内」を実施します。

各期日については、下表を参照してください。

入学手続については、所定の手続を行うことにより、入学手続を延期することができます(二段階手続方式)。

なお、本試験については、追加合格を出す場合があります。

学 科	合格発表日時	入学手続締切期日	二段階手続方式 最終入学手続締切期日
写真、美術(2月6日・7日試験)、音楽、演劇、放送	2月15日(木) 13時	3月4日(月)	3月11日(月)
映画、美術(2月13日・14日試験)、文芸、デザイン	2月22日(木) 13時	3月11日(月)	3月18日(月)

一般選抜 A 個別方式専門試験実施内容

戻る

学科・コース		科 目
写 真		面接 (A4判の芸術学部面接票を1枚および写真学科面接資料2枚を記入する時間を設けます 制限時間40分)
映 画	映像表現・理論コース	①小論文 (80分・800字程度) ②面接
	監督コース	①小論文 (80分・800字程度) ②面接
	撮影・録音コース	①小論文 (80分・800字程度) ②面接
	演技コース	①実技 (基礎的な音声及び身体表現) ②面接
美術 (2月13日・14日試験 共通)	絵画コース (絵画専攻)	①実技 (油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート (30分・400字以内) ③面接
	絵画コース (版画専攻)	①実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート (30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース (彫刻専攻)	①実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート (30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース (地域芸術専攻)	①小論文 (60分・800字以内) ②面接
	※各コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択してください (詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※実技については、出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンパス (F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません	
音 楽	作曲・理論コース (作曲)	①実技 ((1)作曲 (2)和声または楽典 (3)任意の器楽曲または声楽曲の演奏) ②面接
	作曲・理論コース (理論)	①小論文 (80分・1,000字程度) ②実技 ((1)楽典 (2)任意の器楽曲または声楽曲の演奏) ③面接
	音楽教育コース	①小論文 (60分・800字程度) ②実技 ((1)楽典 (2)ピアノ) ③面接
	声楽コース	①実技 ((1)声楽〔声楽曲及びコールユーブンゲン〕 (2)楽典 (3)ピアノ) ②面接
	ピアノコース	①実技 ((1)ピアノ (2)楽典) ②面接
	弦管打楽コース	①実技 ((1)それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 (2)楽典 (3)ピアノ) ②面接
	情報音楽コース	①口頭試問 ②面接
		※課題曲等の詳細については、40～43ページの『2024年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください (詳細は『一般選抜募集要項』で指示します)
文 芸		面接 (当日面接前に、自己アピールとして「これまで頑張ってきたこと」「これから成し遂げたいこと」「印象に残った本」等を記入する時間を設けます。制限時間30分)
演 劇	舞台構想コース	①作文 (60分・600字) ②面接
	演技コース	①実技 ((1)演技 (2)音感・リズム感) ②面接 ※試験当日体操着及び上履きを持参してください
	舞台美術コース	①実技 (プレゼンテーション) ②面接 ※入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります
	舞踊コース (日舞)	①実技 (日本舞踊曲または日本の伝統舞踊〔郷土芸能を含む〕の実演) ②面接 ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください
	舞踊コース (洋舞)	①実技 (リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現) ②面接 ※稽古着 (タイツ、レオタード、シューズ) を持参してください
※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する試験内容 (日舞または洋舞) を演劇学科へ郵送してください (詳細は『一般選抜募集要項』で指示します)		
放 送		①作文 (60分・600字程度) ②面接
デザイン		①実技 鉛筆によるデッサン (4時間) またはデザインプレゼンテーション (4時間) のいずれかを選択 ※実技試験科目のいずれかを事前に選択する必要がありますので『一般選抜募集要項』内で指定されたWebサイトより別途入力してください (詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム (練ゴム)、カッターナイフ等を持参してください (デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面接

■ 持参作品等

音楽学科情報音楽コースは口頭試問の参考とするため、また、演劇学科舞台美術コース及びデザイン学科志願者は面接試験の参考資料とするため、自作作品を専門試験日当日に持参してください (下表参照)。

学 科	持 参 作 品 等
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ (A4サイズ)、あるいは石膏像デッサン及び水彩画等 (いずれもA2サイズ)
デザイン	自作作品5点。なお、映像作品については、タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

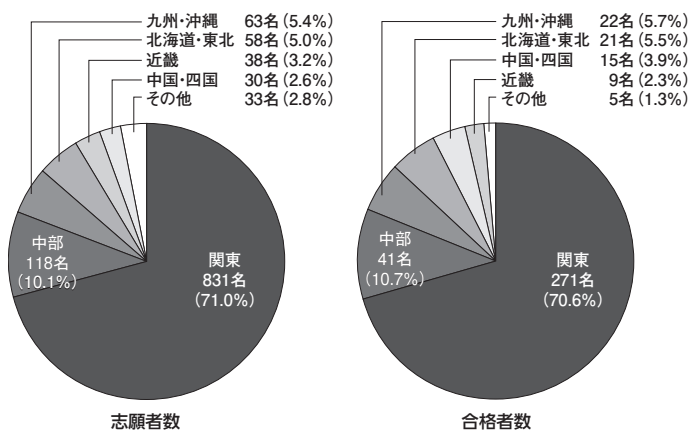
※持参作品については、面接試験終了後に返却します

戻る

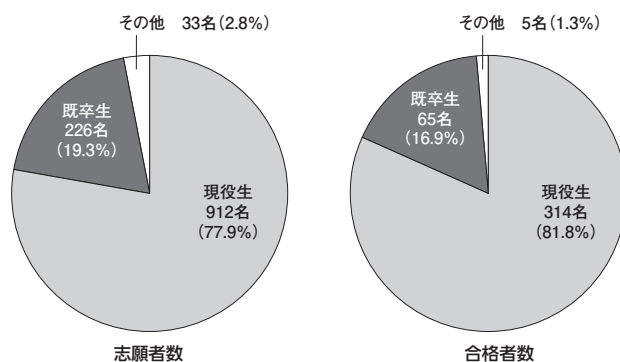
学科・コース		項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A/B)	2022年度 競争率	総点	合格者最低点	
									2023年度	2022年度
写 真 学 科		19	47 (24)	39 (22)	25 (17)	1.6倍	1.4倍	400	245	244
映 画 学 科	映像表現・理論コース	55	103 (42)	88 (36)	32 (13)	2.8倍	2.7倍	350	224	233
	監 督 コ ー ス		67 (28)	58 (25)	9 (5)	6.4倍	2.6倍		256	227
	撮 影 ・ 録 音 コ ー ス		52 (29)	48 (27)	18 (12)	2.7倍	3.4倍		213	221
	演 技 コ ー ス		60 (29)	54 (27)	5 (3)	10.8倍	7.9倍		236	229
	計	55	282 (128)	248 (115)	64 (33)	—	—		—	—
美 術 学 科	(2/7・8試験) 絵 画 コ ー ス	20	33 (22)	32 (21)	11 (11)	2.9倍	1.4倍	500	334	286
	(2/14・15試験) コ ー ス 計		65 (42)	58 (38)	15 (11)	3.9倍	1.9倍		326	300
	(2/7・8試験) 彫 刻 コ ー ス		13 (5)	12 (5)	8 (4)	1.5倍	1.0倍		330	283
	(2/14・15試験) コ ー ス 計		9 (2)	6 (2)	4 (2)	1.5倍	1.0倍		326	322
	計	20	120 (71)	108 (66)	38 (28)	—	—		—	—
	計	20	120 (71)	108 (66)	38 (28)	—	—		—	—
音 楽 学 科	作曲・理論コース	20	10 (6)	10 (6)	2 (0)	5.0倍	1.0倍	500	428	340
	音楽教育コース		4 (4)	4 (4)	4 (4)	1.0倍	1.1倍		309	310
	声 楽 コ ー ス		5 (5)	5 (5)	4 (4)	1.3倍	1.0倍		311	303
	ピアノコース		9 (6)	8 (6)	6 (6)	1.3倍	1.0倍		322	327
	弦管打楽コース		8 (7)	8 (7)	7 (6)	1.1倍	1.1倍		336	323
	情報音楽コース		50 (16)	45 (14)	11 (3)	4.1倍	9.0倍		347	383
	計	20	86 (44)	80 (42)	34 (23)	—	—		—	—
文 芸 学 科		30	157 (78)	139 (71)	51 (31)	2.7倍	3.0倍	300	191	190
演 劇 学 科	舞台構想コース	42	65 (55)	64 (54)	26 (23)	2.5倍	2.1倍	400	247	226
	演 技 コ ー ス		71 (43)	70 (42)	9 (8)	7.8倍	5.9倍		269	257
	舞台美術コース		2 (2)	2 (2)	2 (2)	1.0倍	1.3倍		266	214
	舞 踊 コ ー ス		8 (7)	7 (7)	5 (5)	1.4倍	2.1倍		281	225
	計	42	146 (107)	143 (105)	42 (38)	—	—		—	—
放 送 学 科		54	168 (98)	161 (94)	72 (44)	2.2倍	2.2倍	400	210	212
デ ザ イン 学 科		20	165 (106)	140 (91)	58 (48)	2.4倍	2.2倍	500	348	354
合 計		260	1,171 (656)	1,058 (606)	384 (262)	—	—	—	—	—

() 内は女子内数

【出身校地域別人数】



【現役生・既卒生等別人数】



一般選抜 A 個別方式小論文・作文課題一覧

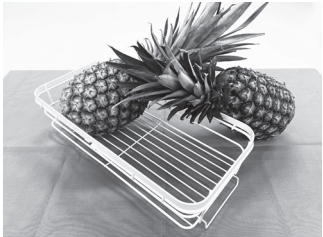
戻る

学科・コース		時間	字数	課 題
写 真		60 分	600 字	<小論文> ダイバーシティと言われる現在において、写真の多様性とはどのような事だと思いますか。あなたの考えを述べなさい。
		80 分	800 字程度	<小論文> 左記の文は、アンヌ・モレリ著『戦争プロパガンダ 10 の法則』で紹介されているボンソンビー卿が唱えた戦争プロパガンダの基本的なメカニズムです。あなたは⑧に対してどのように考えますか。具体例をあげながら論じてください。 ※アンヌ・モレリ著、永田千奈訳「戦争プロパガンダ 10 の法則」草思社、2022 年、目次ページ
美 術 (地域芸術) (2月7日・8日試験)		60 分	800 字以内	<小論文> 日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。 地域 里山 空家 祭り 廃校 住民 環境 高齢化 過疎 社会 行政 都市 アート 保全 継続 SDGs アートツーリズム 体験 開発 融合 メタバース 均質化 他者 共感 地域経済
		60 分	800 字以内	<小論文> 日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。 新型コロナウイルス 文化芸術 分断 文化政策 戦略 人材 リサーチ アートマネジメント 広報 教育政策 希望 施設 補助金 大学 組織 アーティスト・イン・レジデンス 雇用 文化資源 観光 予算 効果
音 楽	作曲・理論 (理論)	80 分	1,000 字程度	<小論文> 次の3つのテーマの中から1つを選び、1,000字程度の小論文を書きなさい。 1. 自分が好きな音楽ジャンルを一つ選び、自由に論述してください。 2. 標題音楽と絶対音楽を対比させつつ、それぞれが持つ問題点について論述してください。 3. 理論コースにおいて研究したい内容について論述してください。
	音楽教育	60 分	800 字程度	<小論文> 次のテーマから1つを選び、800字程度の小論文を書きなさい。 1. 多様化する社会の中で音楽の授業だからこそ教えられることについて 2. 音楽科教員になるために自分自身が強化すべき知識や技術について 3. これまでに体験したことがある音楽の授業におけるインターネットや電子機器の活用方法について
演 劇 (舞台構想)		60 分	600 字	<作文> 「多様性とコミュニケーションの重要性から考えるこれからの演劇のあり方」をテーマとして、あなたの考え方を述べたり、また物語を創作するなど、自由に作文してください。
放 送		60 分	600 字	<作文> 「3」

※上記は、昨年度試験内容であるため、2024 年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

戻る

学科・コース		科 目 ・ 課 題	
映 画 (演技)		基礎的な音声及び身体表現 発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号()番, (氏 名)です。出身は(都道府県名)で, 学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は, ()歳です。 発声2 次の文章を朗読してください。 ※「長岡藩士 河井継之助の魅力 役所広司×松たか子対談」『週刊朝日 2022年6月24日号』朝日新聞出版, 2022年6月24日, 29ページ 動 作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 〔設定〕放課後。課題のための本を探しに校内の図書館に来た。 書架の前で目的の本を探しているが, なかなか見付けられない。 やっとそれらしい本を見付けた。 書架から本を取り出して, 中を確認するが違うようだ。 元の位置に戻そうとしたら, 書架の隙間から向かいの列にいる友人を見付ける。 小声で名前を呼ぶ。 近くにいた人に静かにするように注意される。 仕方なく隣の列まで行く。 先ほどの場所まで行ってみると友人はいない。 どこに行ったのか探すと, 出口に向かっている。 小走りに追いかける。 (そのまま退場してください)	
		①実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し, 人物を描く)(5時間30分) ≪油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス, 木炭選択者は木炭紙65cm×50cm, 鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫ 【モチーフ】 人物(コスチューム) コスチューム: 水色シャツ, ジーンズ, 靴下, スニーカー 椅子 × 1 布を敷いたモデル台(白) × 1 ②実技に関するレポート(30分・400字以内)	
美術 (2月7日・8日試験)	絵 画 (絵画専攻)	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し, 静物を描く)(5時間30分) ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫ 【モチーフ】 パイナップル × 2 バスケット × 1 布 × 1 ②実技に関するレポート(30分・400字以内)	
	彫 刻 (彫刻専攻)	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し, モノと空間を描く)(5時間30分) ≪画用紙または木炭紙65cm×50cm≫ 【モチーフ】 モモタマナ × 2 箱イス × 3 ②実技に関するレポート(30分・400字以内)	

一般選抜A個別方式実技科目（課題）一覧

学科・コース		科目・課題	
美術 (2月14日・15日試験)	絵画 (絵画専攻)	①実技（油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く）（5時間30分） ≪油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス、 木炭選択者は木炭紙65cm×50cm、鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫ 【モチーフ】 人物（コスチューム） コスチューム：Tシャツ、デニムスカート、靴下、スニーカー、ニット帽 椅子 ×1 モデル台 ×1 ②実技に関するレポート（30分・400字以内）	
	絵画 (版画専攻)	①実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く） （5時間30分）≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫ 【モチーフ】 水さし ×1 ヒメモンステラ ×1 レモン ×1 本 ×2 布 ×1 ②実技に関するレポート（30分・400字以内）	
	彫刻 (彫刻専攻)	①実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く） （5時間30分）≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫ 【モチーフ】 フィカスアルテシマ ×2 箱イス ×1 ②実技に関するレポート（30分・400字以内）	
音楽	作曲・理論 (作曲)	①作曲（80分） 次の旋律を冒頭におき、フルート独奏（ピアノ伴奏無し）のための小品を作りなさい。 ②和声または楽典（80分） ③ピアノ	
	作曲・理論 (理論)	①楽典（80分） ②演奏	
	音楽教育	①楽典（60分） ②ピアノ ③声楽	
	声楽	①声楽（声楽曲及びコールユーブンゲン） ②楽典（60分） ③ピアノ	
	ピアノ	①ピアノ ②楽典（60分）	
	弦管打楽	①それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 ②楽典（60分） ③ピアノ	
	情報音楽	口頭試問	
演劇	演技	演技（音感・リズム感を含む） ①演技 次の台詞を覚えてシーンを演じてください。 ※注1 二人組になって、「ウラジーミル」と「男の子」の両方を順番に演じます。 ※注2 書かれている以外の台詞を使うことはできません。 ※注3 相手役と事前に打ち合わせをすることはできません。 ※注4 自由に動いて構いませんが、部屋にあるものには触れないでください。 ※サミュエル・ベケット著、安堂信也・高橋康也訳「ゴドーを待ちながら」『ベスト・オブ・ベケット1』 白水社、1995年、166ページ ②音感・リズム感 【音 感】アカペラで一人ずつ歌う。（自由課題） 【リズム感】振付を通じた身体表現 ※Queen, 「Don't Stop Me Now」『QUEEN GREATEST HITS』Toshiba EMI Japan 2002	

学科・コース		科 目 ・ 課 題						
演 劇	舞台美術	プレゼンテーション 以下の画像のうち物語性を感じる2枚を選択し、その組み合わせから舞台空間を構成しなさい。 (資料作成用紙にアイデアをまとめ、プレゼンテーションに使用すること。資料作成時間は60分、プレゼンテーションは一人5分です) ※「写真素材」演劇学科教員個人所蔵						
	舞 踊 (日舞)	日本舞踊曲または日本の伝統舞踊（郷土芸能を含む）の実演						
	舞 踊 (洋舞)	リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現 ①基本運動 (1)ストレッチ、ウォーミングアップ (2)ムーブメント（モダンダンス・テクニク） ②イメージによる動き（インプロヴァイゼーション） 課題『海の幻想』 ◆課題に従いイメージのダンス化（動きのデザイン）（10分） ◆デザインした課題のダンス表現（一人2分） ◆発想の説明（一人約1分）						
デザイン		鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択。 ①鉛筆によるデッサン（4時間）＜ B3 画用紙＞ 与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可。 【モチーフ】 <table><tr><td>チーズおろし金</td><td>× 1</td></tr><tr><td>ガラスコップ</td><td>× 1</td></tr><tr><td>カウンタークロス</td><td>× 1</td></tr></table> 条件 (1)机の上に置いてあるチーズおろし金、ガラスコップ、カウンタークロスをすべて組み合わせること。＊ クロスはたたんだままではなく、広げて変形させること。 (2)台紙は描かなくてもよい。 (3)用紙は横位置で使用する。 (4) A3 の上質紙はエスキース（下書き）用として使用してもしなくてもどちらでも構わない。 ＊組み合わせた形を保持しにくい場合はネリゴム等で固定してください。 ②デザインプレゼンテーション（4時間）＜ B3 ケント紙+ PM パッド1枚＞ 私たちの生活に関わる「若者の政治への無関心」からおこる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。 ※総務省ホームページ（https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/nendaibetu/） この「若者の政治への無関心」に対してどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。 もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。 例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。 条件 (1)用紙は2枚あります。PM パッド（薄い紙）1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由（持参した鉛筆、および配布された色鉛筆を使用すること） (3)用紙は横位置にて使用する。 (4)用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。 (5)定規・コンパスは使用不可。	チーズおろし金	× 1	ガラスコップ	× 1	カウンタークロス	× 1
チーズおろし金	× 1							
ガラスコップ	× 1							
カウンタークロス	× 1							



※上記は、昨年度試験内容であるため、2024年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

戻る

N全学統一方式は、日本大学の学部・学科間併願だけでなく、芸術学部内の複数学科への併願が可能です。あらゆる学問領域を網羅し、同じ学問領域においても多面的アプローチが可能な学部・学科を擁する日本大学だからこそ、1回の受験で複数の学科を併願することができるのは大きなメリットです。



POINT ▶ 1

学部間併願、同一学部内の複数学科への併願もできる複数の学部・学科を同一試験日、同一問題で併願できます。学部間併願はもちろん、同一学部内の複数学科への併願も可能で多彩な併願パターンを選択することができます。

POINT ▶ 2

入学検定料の負担を軽減
入学検定料は18,000円と受験生の負担を軽減し、安心して受験に臨んでいただけます。
さらにA個別方式とN全学統一方式第1期において「同一学部同一学科(コース)」を同時出願した場合、N全学統一方式第1期の入学検定料は0円になります！

N全学統一方式 (第1期)

実 施 学 部	芸 術	法	文 理	経 済	商	国 際	危 機 管 理	ス ポ ー ツ 科	理 工	生 産 工	工	医	歯	松 戸 歯	生 物 資 源 科	薬	短大				
																	教 養	ビ ジ ネ ス	食 物 栄 養	生 活 ・ デ ザ イ ン	建 築 ・ 総 合

POINT ▶ 3 N全学統一方式第1期

全学部全学科において実施する日本最大級の統一入試
16学部86学科・短期大学部4学科、計90学科で実施します。関心のある学部・学科間で併願しやすく、学部選択で悩む受験生の進路選択の一助になります。

POINT ▶ 4 N全学統一方式第1期

2月1日実施の試験なので、早めの入試対策が可能！
首都圏の大学の一般選抜が本格化するのは2月10日前後。2月1日に実施するN全学統一方式第1期なら、受験の機会も増えて、併願計画が立てやすくなります。

POINT ▶ 5 N全学統一方式第1期

全国各地に試験場を設置
遠方から首都圏のキャンパスに試験を受けに行く負担や不安がなく、安心して受験に挑めるように、N全学統一方式第1期では北海道から九州まで全国に試験場を設置。どの試験場で受験しても、合否判定に有利・不利は一切ありません。

試験場一覧(昨年度参考)

札幌/仙台/郡山/つくば/佐野/高崎/千葉/東京/東京(立川)/横浜/湘南/新潟/長野/三島/名古屋/大阪/広島/福岡/長崎/宮崎

※上記の試験場は予定であり、変更になる場合がありますので、必ず募集要項でご確認ください。
また、試験場については、収容人員の関係上、希望にそえない場合があります。

N全学統一方式 (第2期)

実施学部	芸術	法	文理	経済	商	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源科	薬	短大		
																教養	ビジネス	食物栄養

POINT ▶ 6 N全学統一方式第2期

試験日が3月4日。3月に受験することができる統一入試
3月に受験できる大学は比較的少ない上、多くの大学が大学入学共通テスト利用入試なので、今一度自分の力を発揮できるチャンスです。併願することにより一回の受験で合格のチャンスを広げることができます。

一般選抜

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月5日（金）～1月19日（金）

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください
※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

2 選考日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また、本試験では学科専門試験を実施しません。

選考日	学科（コース）	募集 人員	教 科	科 目 ※1	時間	配 点
2月1日 （木）	写真	3	国語	「国語総合（漢文を除く）」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
	映画 〔全コース〕	8	地理歴史	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（確率分布と統計的な推測を除く）」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから 1科目選択 ※2	60分	100点
			公民			
			数学①			
	放送	10	理科			
	美術 〔全コース〕	2	国語	「国語総合（漢文を除く）」、「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」、「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（確率分布と統計的な推測を除く）」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから2科目選択 ※2 （ただし、「理科」間の組合せは不可）	各 60分	200点 （100点 ×2）
			外国語			
			地理歴史			
			公民			
	デザイン	2	数学①			
			数学②			
			理科			
	音楽 〔全コース〕	3	国語	「国語総合（漢文を除く）」	60分	100点
	文芸	6				
	演劇 〔全コース〕	3	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します
※2 「理科」については、医学部併願者は2科目選択、その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し、合否判定に使用する場合は、「第1解答科目」のみを使用します

戻る

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査の総合得点により合格判定を行います。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

各期日については、下表を参照してください。
入学手続については、所定の手続を行うことにより、3月11日(月)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)。

合格発表日時	入学手続締切期日
2月9日(金) 13時	2月19日(月)

本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については34ページに記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部(学科)により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、[日本大学ホームページ](#)、[一般選抜募集要項](#)等で必ず確認してください。

一般選抜 N 全学統一方式 (第 1 期) 結果

【昨年度参考】
2023年度

学科・コース		項目 募集 人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A/B)	2022年度 競争率	総点	合格者最低点	
									2023年度	2022年度
写真学科		3	76 (42)	71 (38)	12 (4)	5.9倍	5.7倍	300	223	212
映画 学科	映像表現・理論コース	8	117 (52)	112 (50)	15 (5)	7.5倍	10.8倍	300	235	246
	監督コース		48 (27)	46 (26)	6 (2)	7.7倍	10.0倍		234	230
	撮影・録音コース		36 (25)	34 (24)	7 (4)	4.9倍	27.0倍		195	244
	演技コース		34 (20)	30 (18)	2 (2)	15.0倍	31.0倍		226	214
	計	8	235 (124)	222 (118)	30 (13)	—	—	—	—	—
美術 学科	絵画コース	2	59 (29)	51 (27)	1 (0)	51.0倍	3.8倍	200	196	146
	彫刻コース		21 (7)	18 (4)	12 (3)	1.5倍	1.0倍		112	134
	計	2	80 (36)	69 (31)	13 (3)	—	—	—	—	—
音楽 学科	作曲・理論コース	5	32 (12)	29 (10)	5 (2)	5.8倍	7.3倍	200	142	143
	声楽コース		13 (7)	13 (7)	8 (3)	1.6倍	—		112	—
	ピアノコース		9 (6)	8 (6)	5 (4)	1.6倍	—		127	—
	情報音楽コース		57 (23)	55 (22)	9 (1)	6.1倍	16.0倍		148	143
	計	5	111 (48)	105 (45)	27 (10)	—	—	—	—	—
文芸学科		6	140 (80)	133 (78)	21 (11)	6.3倍	13.1倍	200	155	151
演劇 学科	舞台構想コース	3	65 (57)	64 (56)	3 (3)	21.3倍	14.2倍	200	156	149
	演技コース		62 (38)	60 (36)	1 (1)	60.0倍	—		171	—
	舞台美術コース		14 (12)	13 (11)	9 (7)	1.4倍	—		93	—
	舞踊コース		8 (7)	8 (7)	6 (5)	1.3倍	—		101	—
	計	3	149 (114)	145 (110)	19 (16)	—	—	—	—	—
放送学科		10	170 (105)	165 (102)	54 (34)	3.1倍	18.6倍	300	190	237
デザイン学科		2	147 (83)	138 (76)	11 (6)	12.5倍	16.0倍	200	170	167
合計		39	1,108 (632)	1,048 (598)	187 (97)	—	—	—	—	—

() 内は女子内数

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月5日（金）～2月23日（金）

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください
※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

2 選考日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また、本試験では学科専門試験を実施しません。

選考日	学科（コース）	募集 人員	教 科	科 目 ※1	時間	配 点
3月4日 （月）	写真	2	国語	「国語総合（漢文を除く）」	60分	100点
	映画 〔全コース〕	4	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（確率分布と統計的な推測を除く）」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから 1科目選択 ※2	60分	100点
			公民			
			数学①			
	放送	2	理科	「国語総合（漢文を除く）」、「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」、「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（確率分布と統計的な推測を除く）」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから2科目選択 ※2 （ただし、「理科」間の組合せは不可）	各 60分	200点 （100点 ×2）
	デザイン	2	国語			
			外国語			
			地理歴史			
			公民			
			数学①			
			数学②			
			理科			
	美術 〔全コース〕	2	国語	「国語総合（漢文を除く）」	60分	100点
	音楽 〔全コース〕	2				
	文芸	3	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
	演劇 〔全コース〕	3				

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。
※2 「理科」については、医学部併願者は2科目選択、その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し、合否判定に使用する場合は、「第1解答科目」のみを使用します。

戻る

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査の総合得点により合格判定を行います。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

各期日については、下表を参照してください。
入学手続については、二段階手続は行いません。

合格発表日時	入学手続締切期日
3月12日 (火) 13時	3月18日 (月)

本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については36ページに記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部(学科)により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、[日本大学ホームページ](#)、[一般選抜募集要項](#)等で必ず確認してください。

一般選抜 N全学統一方式 (第2期) 結果

【昨年度参考】

2023年度

学科・コース		項目 募集 人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A/B)	総点	合格者最低点 2023年度
写 真 学 科		2	20 (12)	18 (10)	2 (1)	9.0倍	300	201
映 画 学 科	映像表現・理論コース	4	25 (12)	16 (9)	1 (1)	16.0 倍	300	210
	監 督 コ ー ス		13 (6)	10 (4)	1 (1)	10.0 倍		228
	撮 影 ・ 録 音 コ ー ス		8 (3)	5 (1)	1 (0)	5.0 倍		256
	演 技 コ ー ス		9 (5)	5 (3)	1 (0)	5.0 倍		201
計		4	55 (26)	36 (17)	4 (2)	—	—	—
美 術 学 科	絵 画 コ ー ス	2	8 (5)	5 (4)	0 (0)	—	200	—
	彫 刻 コ ー ス		5 (2)	3 (1)	1 (1)	3.0倍		125
	計	2	13 (7)	8 (5)	1 (1)	—	—	—
音 楽 学 科	作曲・理論コース	6	16 (6)	14 (6)	5 (5)	2.8倍	200	127
	音楽教育コース		1 (0)	1 (0)	0 (0)	—		—
	声 楽 コ ー ス		4 (3)	4 (3)	0 (0)	—		—
	ピアノコース		1 (0)	1 (0)	0 (0)	—		—
	弦管打楽コース		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—		—
	情報音楽コース		25 (11)	22 (9)	2 (0)	11.0倍		168
計		6	47 (20)	42 (18)	7 (5)	—	—	—
文 芸 学 科		5	61 (32)	42 (20)	10 (4)	4.2倍	200	136
演 劇 学 科	舞台構想コース	3	19 (14)	15 (11)	2 (1)	7.5倍	200	144
	演 技 コ ー ス		19 (13)	17 (12)	1 (0)	17.0倍		153
	舞台美術コース		1 (1)	0 (0)	0 (0)	—		—
	舞 踊 コ ー ス		2 (2)	2 (2)	1 (1)	2.0倍		122
計		3	41 (30)	34 (25)	4 (2)	—	—	—
放 送 学 科		2	29 (18)	24 (15)	13 (7)	1.8倍	300	163
デ ザ イン 学 科		2	49 (26)	41 (21)	3 (2)	13.7倍	200	148
合 計		26	315 (171)	245 (131)	44 (24)	—	—	—

※N全学統一方式 (第2期) は 2023 年度より募集開始のため、2022 年度結果は掲載していません。 () 内は女子内数

戻る

外国人留学生・帰国生選抜

出願資格・出願方法等の詳細は、[日本大学ホームページ](#)を確認してください。
なお、出願受付は日本大学本部学務部入学課（03-5275-8311）にて行います。

校友子女選抜

出願資格・出願方法等の詳細は、9月上旬頃より公開予定の「校友子女選抜要項」で確認してください。
なお、事前に日本大学校友会本部事務局にて、校友の子女であることの確認手続が必要となります。

1 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員		
		外国人留学生	帰国生	校友子女
写 真		若干名	若干名	各学科 2名
映 画	映像表現・理論，監督，撮影・録音，演技			
美 術	絵画，彫刻	2名		
音 楽	作曲・理論，音楽教育，声楽，ピアノ，弦管打楽，情報音楽	若干名	若干名	
文 芸		5名		
演 劇	舞台構想，演技，舞台美術，舞踊	若干名	若干名	
放 送				
デザイン		10名		

※ 映画，美術，音楽，演劇の各学科を志望する者は，コースを1つだけ選択してください
なお，学科・コースの併願はできません
※ 外国人留学生・帰国生選抜の美術学科，文芸学科及びデザイン学科募集人員は，両方の入学者選抜の合計数となります

2 試験諸日程

内 容		期 日
出 願 期 間	校友子女	2023年11月21日（火）～11月28日（火）
	外国人留学生・帰国生	～2023年10月31日（火）※1
選 考 日	校友子女	2023年12月10日（日）
	外国人留学生・帰国生	2023年12月10日（日）
合 格 発 表 期 日	校友子女	2023年12月20日（水）（インターネットによる合否案内）
	外国人留学生・帰国生	2023年12月20日（水）（インターネットによる合否案内）
入 学 手 続 期 間	校友子女	2023年12月20日（水）～2024年 1月12日（金） ※2
	外国人留学生・帰国生	2023年12月20日（水）～2024年 1月12日（金） ※2

※1 出願受付開始日については、[日本大学ホームページ](#)を確認してください
※2 入学時納入金の納入については、校友子女選抜は入学手続期間内に一括納入となりますが、外国人留学生・帰国生選抜は、所定の手続を行うことにより、2024年3月11日（月）まで入学手続を延期することができます（二段階手続方式）

各種選抜等

戻る

編入学・転部試験

本学部では、「欠員補充」という形で編入学試験（２年次，３年次）及び本学学部在学学生を対象とした転部試験（２年次）を実施しています。

募集人員はいずれも若干名で，募集する学科・コースは年度により異なる場合があります。

なお，編入学試験（２年次）及び転部試験については，過去３年間に於いて全学科・コースでの募集を行っています。

また，編入学試験（３年次）の過去３年間の募集状況については，美術・音楽・デザイン学科で募集がありました。

2024年度の募集については，５月頃に公開する予定です。詳細については，本学部ホームページを確認いただくか，本学部入試係までお問い合わせください。

編入学・転部試験結果

【昨年度参考】
2023年度

※募集人員は，各学科すべて若干名

項目 学科・コース		編入学試験（２年次）			転部試験（２年次）			編入学試験（３年次）		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
写真学科		3（ 1）	3（ 1）	1（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	実施せず		
映画学科	映像表現・理論コース	8（ 2）	8（ 2）	0（ 0）	4（ 1）	4（ 1）	1（ 0）	実施せず		
	監督コース	6（ 1）	6（ 1）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）			
	撮影・録音コース	2（ 0）	2（ 0）	1（ 0）	1（ 0）	1（ 0）	1（ 0）			
	演技コース	4（ 4）	4（ 4）	1（ 1）	5（ 1）	5（ 1）	0（ 0）			
	計	20（ 7）	20（ 7）	2（ 1）	10（ 2）	10（ 2）	2（ 0）			
美術学科	絵画コース	3（ 3）	3（ 3）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	2（ 1）	2（ 1）	1（ 1）
	彫刻コース	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）
	計	3（ 3）	3（ 3）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	2（ 1）	2（ 1）	1（ 1）
音楽学科	作曲・理論コース	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	2（ 0）	1（ 0）	1（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）
	音楽教育コース	1（ 0）	1（ 0）	1（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）
	声楽コース	1（ 1）	1（ 1）	1（ 1）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）
	ピアノコース	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）
	弦管打楽コース	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）
	情報音楽コース	1（ 0）	1（ 0）	0（ 0）	1（ 0）	1（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）
	計	3（ 1）	3（ 1）	2（ 1）	3（ 0）	2（ 0）	1（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）
文芸学科		7（ 4）	7（ 4）	4（ 3）	5（ 1）	5（ 1）	0（ 0）	実施せず		
演劇学科	舞台構想コース	3（ 3）	3（ 3）	2（ 2）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	実施せず		
	演技コース	2（ 1）	2（ 1）	1（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）			
	舞台美術コース	2（ 2）	2（ 2）	2（ 2）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）			
	舞踊コース	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）			
	計	7（ 6）	7（ 6）	5（ 4）	0（ 0）	0（ 0）	0（ 0）			
放送学科		7（ 4）	7（ 4）	0（ 0）	3（ 2）	3（ 2）	1（ 1）	実施せず		
デザイン学科		6（ 6）	5（ 5）	2（ 2）	3（ 1）	3（ 1）	3（ 1）	7（ 3）	4（ 1）	2（ 1）
合計		56（32）	55（31）	16（11）	24（ 6）	23（ 6）	7（ 2）	9（ 4）	6（ 2）	3（ 2）

（ ）内は女子内数

各種選抜等

戻る

作曲・理論コース

総合型選抜

- a. 作曲志願者
- ①実技
- (1)当日持参した自作品の審査及び口頭試問
自作曲の楽譜(編成・長さは自由、最大2曲)を当日提出
- (2)作曲(80分)
与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲
- ②面接
- b. 理論志願者
- ①実技
- (1)当日持参した音楽に関するレポートの審査及び口頭試問
音楽に関するレポート(書式・長さは自由、手書きに限る、最大2点)を当日提出
- (2)実技(演奏)
作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。
- ②面接

学校推薦型選抜(公募制) /
学校推薦型選抜(付属高等学校等) /
外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

- a. 作曲志願者
- ①実技
- (1)作曲(80分)
与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲
- (2)実技(演奏)
作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。
- ②面接
- b. 理論志願者
- ①実技及び小論文
- (1)小論文(80分・1,000字程度)
音楽に関する小論文
- (2)実技(演奏)
作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。
- ②面接

一般選抜A個別方式

- a. 作曲志願者
- ①実技
- (1)作曲(80分)
与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲
- (2)和声または楽典(80分)
和声はソプラノとバスによる課題(転調を含まない)を1題
楽典は共通の楽典問題と和声分析問題
- (3)実技(演奏)
作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。
- ②面接
- b. 理論志願者
- ①実技及び小論文
- (1)小論文(80分・1,000字程度)
音楽に関する小論文
- (2)楽典(60分)
- (3)実技(演奏)
作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。
- ②面接

編入学試験(含む転部試験) 2年次

- a. 作曲志願者
- ①書類選考
- ②実技
- (1)作曲(80分)
与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

- (2)和声または楽典(80分)
和声はソプラノとバスによる課題(転調を含まない)を1題
楽典は共通の楽典問題と和声分析問題
- ③面接

- b. 理論志願者
- ①書類選考
- ②実技及び小論文
- (1)小論文(60分・800字程度)
音楽に関する小論文
- (2)楽典(60分)
- ③面接

編入学試験 3年次

- a. 作曲志願者
- ①書類選考
- ②実技 持参作品に関する口頭試問
- ③面接
- b. 理論志願者
- ①書類選考
- ②小論文(60分・800字程度)
音楽に関する小論文
- ③面接

【作曲・理論志願者実技共通課題】

楽器もしくは歌の楽曲、1曲の演奏。音楽のジャンル、楽器の種類、選曲は自由。
演奏は途中で止める場合もあります。楽譜を見ながらの演奏も認めます。持ち運びが出来ない大型楽器(ピアノ・コントラバス・マリンバなどの打楽器・ドラムセット・エレクトーン・箏など)は、音楽学科が所有する楽器を使うことができます。
アンプ、スピーカー、マイクといった機材等や伴奏用カラオケ音源の使用は認めません。楽器演奏の際のピアノ伴奏はなしとします。持参した楽器(もしくは大学で用意した大型楽器)のみで演奏してください。歌で「声楽コース実技共通課題」から楽曲を選んだ場合に限り、ピアノ伴奏者を音楽学科で用意します(声楽コースと同様に伴奏譜を事前に郵送すること)。アカベラの歌唱も可能ですし自身による弾き歌い(ピアノまたは持参楽器による伴奏と歌)も可能とします。
※不明点がある場合は必ず音楽学科まで電話にて問い合わせてください。

音楽教育コース

総合型選抜

- ①実技及び小論文
- (1)小論文(60分・800字程度)
音楽に関する小論文
- (2)ピアノ
W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください(繰り返しなしで、暗譜とします)。
- ②面接

学校推薦型選抜(公募制) /
学校推薦型選抜(付属高等学校等)

- ①実技及び小論文
- (1)小論文(60分・800字程度)
音楽に関する小論文
- (2)ピアノ
W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください(繰り返しなしで、暗譜とします)。
- ②面接

一般選抜A個別方式/
外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

①実技及び小論文

(1)小論文(60分・800字程度)

音楽に関する小論文

(2)楽典(60分)

(3)ピアノ

W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください(繰り返しなしで、暗譜とします)。

②面接

編入学試験(含む転部試験) 2年次

①書類選考

②実技及び小論文

(1)小論文(60分・800字程度)

音楽に関する小論文

(2)楽典(60分)

(3)ピアノ

W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください(繰り返しなしで、暗譜とします)。

③面接

編入学試験 3年次

①書類選考

②小論文(60分・800字程度)

音楽に関する小論文

③面接

音楽コース

総合型選抜

①実技

声楽(声楽曲及びコールユーブンゲン)

声楽コース実技共通課題に準じる。

②面接

学校推薦型選抜(公募制)/
学校推薦型選抜(付属高等学校等)

①実技

声楽(声楽曲及びコールユーブンゲン)

声楽コース実技共通課題に準じる。

②面接

一般選抜A個別方式/
外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

①実技

(1)声楽(声楽曲及びコールユーブンゲン)

声楽コース実技共通課題に準じる。

(2)楽典(60分)

(3)ピアノ

任意のピアノ曲(ソナチネ程度以上:繰り返しなしで、暗譜が望ましい)

②面接

編入学試験(含む転部試験) 2年次

①書類選考

②実技

(1)声楽 声楽コース実技共通課題に準じる。

(2)楽典(60分)

③面接

編入学試験 3年次

①書類選考

②実技

声楽 任意の自由曲(5分程度)

③面接

【声楽コース実技共通課題】

次の課題曲A・課題曲Bより各1曲ずつ選曲してください。当日は、課題曲に続けて自由曲1曲を歌ってください。自由曲は課題曲Aまたは課題曲Bより選曲しても構いませんが、選択した2曲と重複してはいけません。いずれも原語で暗譜とします。また、各曲の調性は任意とします。伴奏楽譜(全3曲)については伴奏楽譜の提出について(下欄を参照)の要領に従って郵送してください。

また、F. Wüllner コールユーブンゲン(全訳版)第1巻48番〜85番より当日2曲指定した中から1曲を選んで歌ってください。

課題曲A イタリア歌曲

1	MANCIA, L.	Star vicino
2	SCARLATTI, A.	Già il sole dal Gange
3	SCARLATTI, A.	Sento nel core
4	BONONCINI, G. B.	Per la gloria d'adorarvi
5	GASPARINI, F.	Lasciar d'amarti
6	DURANTE, F.	Vergin, tutto amor
7	作者不詳	Nina
8	GASPARINI, F.	Caro laccio
9	PAISIELLO, G.	Nel cor più non mi sento
10	GIORDANI, T.	Caro mio ben

※作曲者は全音楽譜出版社のイタリア歌曲集[新版]による

課題曲B 日本歌曲

1	土井晩翠 作詞	滝廉太郎 作曲	荒城の月
		山田耕筰 編曲	
2	武島羽衣 作詞	滝廉太郎 作曲	花
3	吉丸一昌 作詞	中田章 作曲	早春賦
4	勝田香月 作詞	杉山長谷夫 作曲	出船
5	鹿島鳴秋 作詞	弘田竜太郎 作曲	浜千鳥
6	林古溪 作詞	成田為三 作曲	浜辺の歌(2番まで)
7	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲	鐘が鳴ります
8	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲	この道
9	清水重道 作詞	信時潔 作曲	行々子
10	北見志保子 作詞	平井康三郎 作曲	平城山

楽譜は下記の出版社のものを使用してください。

●A.イタリア歌曲

全音楽譜出版社 イタリア歌曲集[新版]

●B.日本歌曲

全音楽譜出版社 日本名歌110曲集

●自由曲

オペラ・アリアを歌う場合、作曲者、オペラの題名、アリアの題名を明記し、原語・原調で歌うこと(ただし、習慣的に認められている歌劇「連隊の娘」をイタリア語版で歌うことや、歌劇「セビリアの理髪師」より「今の歌声は」をへ長調で歌うことは認める。わからないことがある場合は必ず確認すること)。

オペラ・アリア集、または総譜(スコア)として出版されている楽譜をコピーして提出すること。

伴奏楽譜の提出について

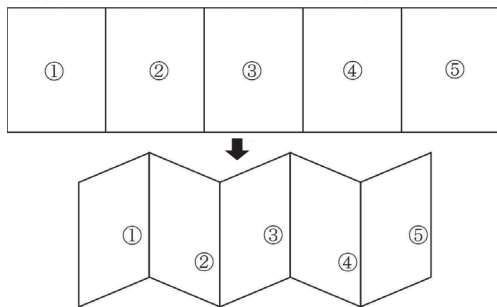
●伴奏楽譜は、演奏の都合上、ヨコ22cm、タテ30cmの台紙に、楽譜を貼付してください。楽譜が2ページ以上のときは、全ページに台紙を貼りテープ等で折本仕立てに製本してください(図を参照)。ページの欠損に注意して、当日演奏できる完成品を送付してください。

なお、表紙に志望コース、受験番号(事前に分かっているとき)、氏名、曲名、調性を必ず記入してください。

※移調などの理由で楽譜を自作する場合は、指定する出版社のものに準じ、鮮明な自筆又はコンピュータ浄書のものを製本してください。

製本の仕方 (5 ページの場合)

- ・表紙裏を楽譜 1 ページ目にしてください。
- ・楽譜のつなぎ目をマスキングテープ等で貼ってください。



●郵送先 〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1
日本大学芸術学部音楽学科入試伴奏譜係

ピアノコース

総合型選抜

- ①実技
ピアノ 課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる
- ②面接

学校推薦型選抜 (公募制) / 学校推薦型選抜 (付属高等学校等)

- ①実技
ピアノ 課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる
- ②面接

一般選抜A個別方式/ 外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

- ①実技
(1)ピアノ
次の作曲家の中から1人を選び、任意の作品を1曲演奏する。組曲、ソナタなどは抜粋可。繰り返しは省略のこと。

J.S.Bach, D.Scarlatti, J.Haydn, W.A.Mozart,
L.v.Beethoven, F.Schubert, F.Mendelssohn,
R.Schumann, J.Brahms, F.F.Chopin, F.Liszt,
S.Rachmaninoff, S.Prokofiev, A.Scriabin, G.Fauré,
C.Debussy, M.Ravel

- (2)楽典 (60分)
- ②面接

編入学試験 (含む転部試験) 2年次

- ①書類選考
- ②実技
(1)ピアノ 課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる。
(2)楽典 (60分)
- ③面接

編入学試験 3年次

- ①書類選考
- ②実技
ピアノ 8分以上の自由曲
- ③面接

【ピアノコース実技共通課題】

次のA, B群より各1曲を選び、合計2曲を演奏してください (いずれも繰り返しなしで、暗譜とします)。

A 練習曲またはJ.S.Bach 平均律ピアノ曲集

次に指定する (イ)~(ニ)より1曲を演奏してください。ペダル使用は、任意とします。

(イ) M. Moszkowski 15の練習曲 (15 Études de Virtuosité Op.72) より任意の1曲

(ロ) J. B. Cramer=Bülow60練習曲 (60 Ausgewählte

Etüden) より任意の1曲

(ハ) F. F. Chopinの練習曲Op.10またはOp.25より任意の1曲

(ニ) J. S. Bach平均律ピアノ曲集第1巻または第2巻 (Das Wohltemperierte Klavier Teil I, II) より任意の1曲 (プレリュードとフーガ)

B ソナタ

W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください。

弦管打楽コース

総合型選抜

- ①実技
それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器
任意の楽曲または練習曲 (自分の能力を最大限アピールできる楽曲を選曲のこと)

- ②面接

学校推薦型選抜 (公募制) / 学校推薦型選抜 (付属高等学校等)

- ①実技
それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器
課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる。

- ②面接

一般選抜A個別方式/ 外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

- ①実技
(1)それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器
課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる。
(2)楽典 (60分)
(3)ピアノ
任意のピアノ曲 (ソナチネ程度以上:繰り返しなしで、暗譜が望ましい)
- ②面接

編入学試験 (含む転部試験) 2年次

- ①書類選考
- ②実技
(1)それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器
課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる。
(2)楽典 (60分)
- ③面接

編入学試験 3年次

- ①書類選考
- ②実技
それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器
8分以上の自由曲
- ③面接

【弦管打楽コース実技共通課題】

弦楽器

各楽器の課題曲は次の通りです (伴奏なし)。すべて暗譜で演奏してください。

- ヴァイオリン 任意の楽曲または練習曲
- ヴィオラ 任意の楽曲または練習曲
- チェロ 任意の楽曲または練習曲
- コントラバス 任意の楽曲または練習曲
- ギター 任意の楽曲または練習曲

管楽器

各楽器の課題曲は次の通りです (伴奏なし)。

- フルート
次の [1]~[3] よりいずれか1つを選択し、演奏してください
[1] W. A. Mozart : Concerto in G major K. 313 より第1楽章 (カデンツァを除く)

[2] W. A. Mozart : Concerto in D major K. 314 より第1楽章(カデンツァを除く)

[3] 任意の楽曲または練習曲

●オーボエ

W. Ferling:48 EtudesまたはL. Wiedemann:45 Etudes より任意の1曲

●クラリネット

次の[1]～[2]よりいずれか1つを選択し、演奏してください。

[1] C. Rose:32 Etudes 1番～12番より当日指定します。

[2] C. M. v. Weber:Concertino Es dur Op. 26 (全曲) 演奏部分は当日指定します。

●ファゴット

J. Weissenborn:Fagott Studien Op. 8 第2巻のNo. 6, 8, 10, 13, 15より当日指定します。

●サクソフォーン(アルトサクソフォーンで受験すること)

M. Mule:Quarante-Huit Études, d'après Ferling (A. Leduc版)より任意の奇数番号1曲及び任意の偶数番号1曲(計2曲)

●ホルン

C.Kopprasch:60 Etudes for Horn (全音楽譜出版社No.3と9の計2曲)

●トランペット

次の4曲より任意の1曲

J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 3 Fantaisie Brillante Var. Iまで

J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 5 The Beautiful Snow (Variations on a song) Var. IIまで(くり返しなし)

J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 11 Fantaisie and Variations on The Carnival of Venice Var. Iまで

G. F. Handel (Transcribed by Bernard Fitzgerald):Aria con Variazioni Var. IIIまで(くり返しなし)

●トロンボーン

次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1] The Remington Warm-Up Studies (Donald Hunsberger編/Accura Music版) 31ページ Ex. 40 (リップスラー)

[2] C. Kopprasch:60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) No. 3～12より当日指定します(くり返しなし)。

●ユーフォニアム

次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1] The Remington Warm-Up Studies (Donald Hunsberger編/Accura Music版) 31ページ Ex. 40 (リップスラー)

[2] J. Rochut:Melodious Etudes for Trombone (Carl Fischer版) No. 2, 6, 8より当日指定します。

●チューバ

C. Kopprasch:Sixty Selected Studies For Tuba (Robert King版)のNo. 4, 7, 12, 14, 15より当日指定します(くり返しなし)。

打楽器

各楽器の課題曲は次の通りです(伴奏なし)。

a. 小太鼓受験者

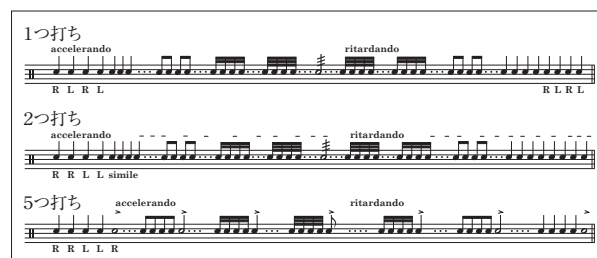
次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1] 基本奏法-1つ, 2つ, 5つ打ちより当日指定します(基本奏法では本学所有の練習台を使用します)。

[2] M. Goldenberg:Modern School for Snare Drum (Alfred版)のRoll Exercise in 4/4 (46ページ), Etude in 4/4 (47ページ)より当日指定します。

※小太鼓受験者は,[2]で使用する自身の小太鼓, それに付随する必要な物(スタンド, スティック等)を持参してください。

[1]で使用する練習台は, 本学で用意します。



b. マリンバ受験者

次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1] 小太鼓の基本奏法-2つ打ち(本学所有の練習台を使用します)

[2] 任意の楽曲または練習曲

※マリンバ受験者は,[1]で使用するスティック,[2]で使用するマレット等を持参してください。

[1]で使用する練習台,[2]で使用するマリンバは, 本学で用意します。

情報音楽コース

総合型選抜/一般選抜A個別方式/
外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜/
学校推薦型選抜(公募制)/
学校推薦型選抜(付属高等学校等)

①実 技

□頭試問

持参した演奏映像に対する口頭試問

自身が演奏している映像をスマートフォン, タブレット端末, PC等で再生できるよう準備して持参してください。映像は演奏者の顔及び全身が確認できるものとします(入試案内「学部Q&A」のサンプル画像及び「【音楽学科】専門試験参考資料」を参照)。また, 映像の音源は編集しないこと。

②面 接

編入学試験(含む転部試験) 2年次

①書類選考

②実 技

□頭試問

持参した演奏映像に対する口頭試問

自身が演奏している映像をスマートフォン, タブレット端末, PC等で再生できるよう準備して持参してください。映像は演奏者の顔及び全身が確認できるものとします(入試案内「学部Q&A」のサンプル画像及び「【音楽学科】専門試験参考資料」を参照)。また, 映像の音源は編集しないこと。

③面 接

編入学試験 3年次

①書類選考

②実 技

□頭試問

持参した演奏映像に対する口頭試問

自身が演奏している映像をスマートフォン, タブレット端末, PC等で再生できるよう準備して持参してください。映像は演奏者の顔及び全身が確認できるものとします(入試案内「学部Q&A」のサンプル画像及び「【音楽学科】専門試験参考資料」を参照)。また, 映像の音源は編集しないこと。

③面 接

戻る

2024年度写真学科入学者選抜区分の概要とポイント（詳しい日程等は各ページをご確認ください）

●総合型選抜

写真に対する意欲に溢れた人であれば、年齢や経験にかかわらず出願可能です。学力だけでは測れない意欲や感性、想像力などを総合的に評価します。

2023年度選抜から実技に変わり「ポートフォリオに関する口頭試問」が加わりました。写真に対する情熱を見たいという考えからです。持参する〈作品ポートフォリオ〉は、一眼レフ等のカメラで撮影したものでなくても、スマートフォンで撮影した写真でも全く問題はありません。技術だけではなく、あなたがどんな写真を好んでいるのか、どのような感性をもっているのかを重要視しています。〈作品ポートフォリオ〉をもとにあなた自身を積極的にアピールしてください。「面接」では〈学びのポートフォリオ〉や〈小論文〉を参考にしながら、高校時代の活動など、あなたがこれまでの経験の中で得たこと、努力してきたことなどを評価します。合わせて相手に分かりやすく伝える力やコミュニケーション力も見ています。写真制作が未経験という方も勿論受験可能です。

※ポートフォリオの詳細は61ページのQ & Aをご確認ください。

●学校推薦型選抜（公募制）

高等学校または中等教育学校等を2024年3月卒業見込みの方が受けられる区分です。下記のA～Cのいずれかに条件を満たす方が出願できます。

- A. 全体の学習成績の状況が3.0以上の者
- B. 「全国高等学校総合文化祭写真部門」に出展し、高等学校文化連盟写真専門部の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者
- C. 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」のブロック予選に出場した選手で、全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」（東川町写真の町課）の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者

※出願資格の詳細については17ページをご確認ください。

出願には学校長の推薦が必要です。基本的にはこれまで積極的な写真活動をしていた方が対象となりますが、意欲があれば、本格的な写真制作が未経験でも構いません。試験内容は「面接」と「小論文」です。「面接」では、〈学びのポートフォリオ〉を参考に高校時代にあなたが夢中になったこと、課外活動、これまで取り組んだ写真活動、そして写真に対する熱意を聞かせてもらいます。「小論文」では、あなたの写真に対する考え方や理論性を確認しながら創造性を評価しています。

●外国人留学生・帰国生

外国人留学生や帰国生向けの区分です。「面接」と「小論文」による試験を行います。「面接」にはポートフォリオや作品の持ち込みは出来ません。教員との面談を通してあなたの写真に対する熱意、どんなことを学びたいと考えているか等を伝えてください。「小論文」では発想力や考察力などに着目しています。いずれの試験でも専門性と合わせて日本語能力やコミュニケーション力を評価しています。

●一般選抜A個別方式 2024年度から試験内容が変わります!!

学力検査(国語・英語)と「面接」で評価します。ポートフォリオの準備は必要ありません。「面接」では写真に対する意欲や情熱、コミュニケーション力などを評価します。なぜ日芸で写真を学びたいかを伝えてください。

●一般選抜N全学統一方式（第1期・第2期）

学部・学科間併願だけでなく、同一学部内の複数学科への併願が可能な区分です。一回の受験で複数の学科を併願することができるメリットがあります。学力検査のみで評価します。小論文が苦手な方、学力に自信がある方に向いています。

*他にも日本大学付属高等学校所属の方向けの「**学校推薦型選抜（付属高等学校等）**」や校友の子女（法定血族を含む2親等内直系血族）が出願できる「**校友子女**」などがあります。出願には条件がありますので詳細は別紙「学校推薦型選抜（付属高等学校等）資料」及びホームページ等でご確認ください。

*右ページでは2023年度学校推薦型選抜（公募制）の小論文解答例とポイントを示していますが、いずれの区分でも小論文では同様の点を評価しています。あくまで例ですので、あなたらしい創造性溢れる小論文を目指してください。

学校推薦型選抜（公募制） 小論文（60分・800～1,000字）

課題

SDGs17項目の中から1項目を選び、作品を制作するとします。その項目を選ぶ理由、制作する写真の構想・アイデアについて、あなたの考えを述べなさい。

※「SDGsポスター(17のアイコン日本語版)」国連

解答例①

私は第十四項、「海の豊かさを守ろう」の項目で写真作品を制作したいと考えた。海は世界中につながっており、誰も他人事ではないためだ。さらにマイクロプラスチックの問題や温暖化にともなう海面上昇等、海は現在危機的な状況にある。そのため世界の全ての人が海をとりまく問題を再認識し、また自分の行動について考えてもらえるよう、制作する写真作品に二つの構想やアイデアを考えた。	一つ目は、国の異なる複数の人と共同で写真作品を制作するというアイデアだ。それぞれの国に自国と海の間にある問題を調べてもらい、世界の海には今どのような問題があるのかを写真で表現してもらおう。例えば日本では、ボイ捨てなどにより汚れてしまった海辺の写真を撮り、ボイ捨てがいかにか海の状況を悪化させているのかを表現したい。そしてそれぞれの国の人とビデオ通話等で会議を重ね、最終的には全員の写真をひとつの作品としてまとめた形にしたい。これにより、海の問題は世界中で起きており、関係のない人などいないと気づかせることができるだろう。	二つ目は、写真展、SNS、パンフレットなど様々な媒体でその作品を見てもらおうという構想がある。本来ならば写真展のように作品に集中できる場所で見てもらいたいとは思いますが、写真展に行つたことがない人や、遠方で行きづらい人のことも考慮し、多様な媒体を利用して作品を発表しようと考えた。海の問題は、やはりなるべく多くの人に認識してもらいたいのだ。また写真展という場は興味を抱かなければなかなか行く機会がない。そういった人の目にも入れるには、やはり様々な媒体を使う必要があるだろう。	以上二つが制作する写真の構想とアイデアだ。これらの構想やアイデアは、海の問題をより多くの人に伝えることに成功していると私は考える。持続可能な地球にはなくてはならない海という良い環境を、全人類で考えていけたらよいと私は思っている。	また、これらの構想やアイデアは、「写真作品」だからこそ生み出せたものである。写真は地球上のどこでも撮れ、媒体を選ばないという柔軟さがある。そして「見る」ことで言葉が通じなくとも「伝える」ということができる。写真は間違いなく、世界の現状を伝える最良の手段であると、私は改めて考えた。	「海の問題を世界の人へ」
⑤	④	③	②	①	
写真に対するまとめ	構想・アイデアに対するまとめ	写真の見せ方に対する理解と分析	作品の制作手法とその効果	項目を選んだ理由の明示	

解答例①「海の問題を世界の人へ」についての出題意図と評価のポイント

出題には「写真で社会のために、もしくは未来のためにできることを考えてほしい」という意図があります。まず、この小論文は、出題で求めている〈項目を選ぶ理由〉〈構想・アイデア〉を明確に述べるという大前提をしっかりと満たしています(①～③)。

さらに構想を述べながら、写真の長所や効果について具体的に述べています。特に③では、写真の見せ方や写真との関わり方に対する解答者の考えを読み取ることができ、解答者が日常的に写真にふれ、写真についてよく考えていると理解できました。

②③を通して、解答者は写真の力をつかえば世界中の人と作品制作をすることができ、なおかつ写真の様々な見せ方を活用できれば、その情報を広く拡散することができると考えていることがよく分かります。また、最後のまとめは二段階で構成し、出題に対するまとめ(④)に加えて、そう考えるに至った自身の考える写真の強み(⑤)が書かれており、解答者が写真の力を信じているということがとても伝わりました。

解答例②

「過去」を示せ SDGsの項目十三、「気候変動に具体的な対策を」をテーマとして作品を制作すると仮定して私なりのアイデア、考えについて述べていく。 現在、地球では温暖化や、それに伴う北極の水の減少、またそれに伴う海面の上昇と、連鎖的に数多くの気候問題が引き起こされ、それは我々の目に見える形でせまってきた。しかし、我々人間、特に先進国の人々は環境保護の意識を持っているわけではない。それは何故か。私の考えとしては、目に見えていないのが「現在」だけだからである。例えば海面上昇に関しては「現在」の低くなった水位は見えないとしても、「過去」の低かった水位はその場で見ることはできないのだ。酸性雨で森林が枯れてしまったのも、熱帯林が砂漠化してしまったのも「過去」の姿をその場で見ることはできない。ではどうすればいいのか。それは、その場で過去の姿を見れるようにすればいいのだ。それを実現する方法が写真だ。今も現在進行形で地球の姿は悪い方向へと変化している。そこで現在の地球の姿を写真として未来に残すのだ。しかし、写真に残すだけではただの記録になってしまう。そこで、気候変動が目立つ地域の写真を撮り、その写真を撮影場所と全く同じ画面になるような位置を調整し、大きなパネルなどに貼りつけて展示するのだ。	周りの景色はさらに悪化していくだろう。しかし、パネルに貼られた写真は「過去」を表し続ける。撮影された瞬間は全く同じだった写真を景色に、だんだんと差が生まれていき、最終的には全く異なる景色になるだろう。景色が変われば変わる程、環境問題は深刻となり、パネルに貼られた写真もそのメッセージをより強く訴えるようになるだろう。我々がそのメッセージに気づくことができるのはいつだろうか。私の考えでは、人類が環境問題の本当の重大さに気づけるのは、熱帯林の中にあったパネルが海に沈みかかった時だと思ふ。	「その作品では気候変動に気づくのが遅れるのではないか」という意見があるかもしれないが、今現在、我々は環境問題をテーマとして見ているだけで、そこから一人一人の意識は生まれていないのだ。となれば、実際に「過去」を示す写真を見て、視覚的な認識をすることに一定の効果があるだろう。	⑤	④	③	②	①
理論の弱点に対する気づきとフォロー	作品の効果	具体的なアイデア	現状の説明と原因分析	宣言			

解答例②「過去」を示せ」についての出題意図と評価のポイント

解答者はまず冒頭で何について述べるのかしっかりと宣言しています(①)。その後、丁寧に現状の説明と原因分析をしています。解答者は「過去が見えないこと」が問題の原因であると考え、具体例をしめしながら指摘します(②)。水位、砂漠化など具体的な単語が書いてあることが、そのあと④で述べられる作品展示のイメージをしやすくしています。③では、写真こそが問題を解決する方法になるという立場からアイデアを示しています。さらに④では写真作品が人々に与える影響について、

環境と写真の変化の違いという観点から記述しています。小論文として秀逸であると感じたのが⑤の部分です。解答者は最後に、この理論の弱点に自ら気づいて指摘しています。その上で、自らの理論(作品がもたらす効果)を認めさせるための根拠を述べ、一定の効果があると主張しています。全体を通して、作品としての写真が、長期間にわたって人々に与える影響について丁寧に論じられている印象を受けました。

〔映像表現・理論コース、監督コース、撮影・録音コース〕

小論文及び面接

【総合型選抜】(60分・600字)

次の文章を読んであなたの考えたことを述べなさい。

※稲田豊史「映画を早送りで観る人たち ファスト映画・ネタバレコンテンツ消費の現在形」
光文社, 2022年, 25～27ページ

【学校推薦型選抜(公募制)】(100分・1,000字程度)

以下の文章を読み,「映像作品に描かれる家族」について考えることを述べよ。

※藤津亮太著「アニメの輪郭 主題・作家・手法をめぐって」青土社, 2021年, 51～52ページ

【一般選抜A個別方式】(80分・800字程度)

左記の文は, アンヌ・モレリ著『戦争プロパガンダ10の法則』で紹介されているボンソンビー卿が唱えた戦争プロパガンダの基本的なメカニズムです。あなたは⑧に対してどのように考えますか。具体例をあげながら論じてください。

※アンヌ・モレリ著, 永田千奈訳「戦争プロパガンダ10の法則」草思社, 2022年, 目次ページ

小論文

小論文試験の試験問題に選ばれる題材には, 決まった傾向はありません。映画や映像の知識の有無を測る訳でもありません。まずは, 原稿用紙の使い方や, 誤字脱字がないかといった基本的な文章能力が見られていると思ってください。さらに, 出題意図をよく理解できているかどうかという読解力や, 文章を論理的に展開できるかどうかという思考能力も見ています。

小論文解答用紙 ▲

面接試験 (演技コースも同様)

面接試験では, 自分の思いをしっかりと伝え,

質問には端的に答えてください。試験監督は普段通りの姿を見たいので, リラックスして臨んでください。

〔演技コース〕

実技

【総合型選抜】

発声1

次の内容をはっきりと述べてください。

受験番号()番, (氏名)です。出身は(都道府県名)で, 学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は, ()歳です。

発声2

次の文章を朗読してください。

※松竹株式会社編「小津安二郎新発見」講談社, 1993年, 68～69ページ

動作

次の内容をしぐさのみで表現してください。

〔設定〕雨が降ったり止んだりの, グズついた天気朝。玄関を出るところ。

ドアを開けて空を見る。雨が降っていないのでそのまま門を出る。

二, 三步, 歩き出すと, ポツポツと雨が降ってきた。

傘を持って行こうと引き返す。玄関に戻るといつもの場所に傘がない。

あたりを探していると, 玄関脇の部屋のドアが開き, 家の人が傘を出してくれた。

傘を受け取り玄関を出る。雨は降っていない。

学校へ急ぐ。

(そのまま退出してください)

実技

試験内容は、「発声」・「動作」の二種類です。

「発声」は、書かれている文章をしっかりと理解し、はっきりと滑舌良く試験官に伝えてください。無理に感情を込める必要はありません。受験生がどのような声なのか、どのように声で表現するのかを見ています。

「動作」は、文章にあるシチュエーションや感情を仕草のみで表現します。試験内容を覚えていただき、書かれている内容を抜かすことなく確実に表現してください。

仕草のみと言っても決してパントマイムやジェスチャーではありません。「動作」の試験では、受験生が俳優として気持ちを含めた動作が出来るかどうかの素養を見ています。

映画や映像作品では、リアリティのある自然な演技が求められています。映画学科の実技試験では、いつも通りの自然な姿を見せて下さい。

「発声」と「動作」の実技試験は同じ会場で通して行い、試験の所要時間は5分程度です。試験問題が渡されてから、10分間の練習時間があります。

更衣室は設けていませんので、動きやすい普段着で来てください。



演技コース
実技説明動画

発声 ▼



動作 ▼



〔 絵画コース絵画専攻 〕

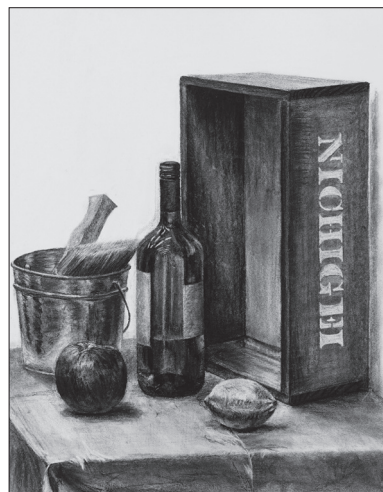
【総合型選抜】

実技 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し静物を描く

出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「静物を描く」です。静物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅や的確さについて評価します。

静物のモチーフは卓上に配置してあります。各モチーフの形体の把握や質感の違いを描き分けることなども重要な要素ですが、まずは物がテーブルの上のしっかりと乗っているように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることに、そして手前の物が手前にあるように、また奥の物が奥にあるように描かれていることなどが肝要です。



【一般選抜A個別方式】

実技 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し 人物を描く

出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「人物を描く」です。人物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅や的確さについて評価します。

モデル台の上に人物モデルがポーズをとっています。人物モデルの形体の把握と同時に、そのポーズのもつ重心や軸を見出だすことが肝要です。人物モデルが台の上にしっかりと立っている（あるいは座っている）ように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることに、画面上に手前と奥を感じるように描かれていることなどを評価します。



〔 彫刻コース地域芸術専攻 〕

【全試験共通】

小論文 （800字以内）

日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。

地域 里山 空家 祭り 廃校 住民 環境 高齢化 過疎 社会 行政 都市 アート 保全 継続 ゴミ SDGs
アートツーリズム 体験

【総合型選抜】

出題意図と評価のポイント

試験によって提示される出題の言葉が少し変わることがあります。下記にある言葉とは、どの試験にも共通して出される言葉とその時点で社会問題になっている言葉が20ほど提示されます。自分の住んでいる地域の問題や関わったイベント、訪れたことのある芸術祭などから、自ら感じている問題点を自らの言

葉で述べてください。社会に関わっていくことを日常的に意識していると簡単に述べられると思います。

また国内外で行われている芸術祭の資料集や関連する図書などを読み、それぞれの特徴や意義などを知っておくこともおすすめします。

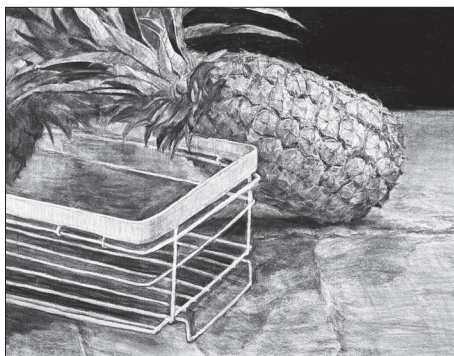
〔 絵画コース版画専攻 〕

〔全試験共通〕

実技 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し 静物を描く



【総合型選抜】



【一般選抜A個別方式】



【一般選抜A個別方式】

出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「静物を描く」デッサンです。画材は鉛筆または木炭のいずれかを事前に選択していただきます。モノクロの世界をどのように表現するかは、実技課題の静物モチーフと専門試験参考資料を参考にして下さい。

台の上に置かれている静物を、どのように画面の中に入れるかを考えること（構図）からはじめます。次に、モチーフの形体や質感、モノとモノの関係性を的確に捉えているかどうかなど

を総合的に判断します。

基礎的なデッサン力を身につけるには、良く観察して、感じること、素材の質感や台との接点など気をつけて、丁寧に描く事が大切なポイントです。入学試験の際は、普段練習してきたことを最大限発揮出来るように、デッサンの枚数を重ねる事も自信に繋がります。

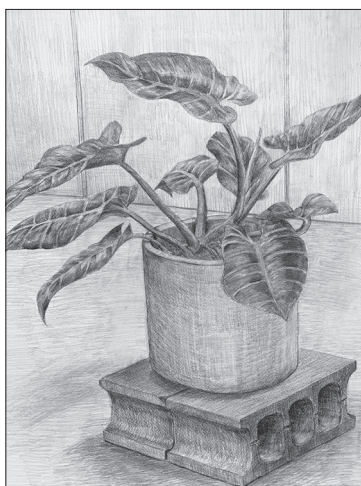
〔 彫刻コース彫刻専攻 〕

〔全試験共通〕

実技 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し モノと空間を描く



【総合型選抜】



【学校推薦型選抜】



【一般選抜A個別方式】

出題意図と評価のポイント

試験会場に、モチーフが置かれます。植物と木箱など様々なものが出題されます。「モノと空間を描く」という問題は、モチーフが作り出す空間全体を把握し、描画する画面に十分に構成されているかを見ていくことになります。種類によっては、「モチーフ全体を中央に一つ、部分を周辺に複数描きなさい」という問題の場合もありますし、「モチーフ全体を切ることなく大きく描きなさい」という場合もあります。どんなモチーフであっても、

ものの構造をよく観察することが重要で、全体と細部の関係性、面の大きさ、向き、捻れなどそれぞれの特徴を捉える能力が必要になります。モチーフを的確に捉えデッサンで伝える技術も重要ですが、自分で読み取った情報をデッサンとして表現できているかも重要な観点となります。モチーフを自分が彫刻として作るという制作者の観点でデッサンの練習をすることを進めます。

音楽学科入学者選抜の課題については「音楽学科実技課題曲案内」(40～43ページ)を確認してください。
また、学部Q&A(63ページ)も併せて確認してください。

〔情報音楽コース〕

□頭試問



◀ □頭試問

情報音楽コースの□頭試問では、受験生が音楽にどのように接してきたかを審査します。

審査方法はあらかじめ用意してきた演奏動画を視聴しながら、質問に答えてもらうかたちです。動画は当日、スマホ、タブレット、ノートPCなどのデバイスを持参していただき、試験室に入室後再生してもらいます。演奏動画の内容に関してはどのようなものでも結構ですが、必ず受験者自身の演奏シーンが撮影されていることが条件です。

演奏曲のジャンルは自由で、ソロでもアンサンブルやバンドでも構いません。ただし、先ほど記載した通り、吹奏楽部の演奏会のような大人数の場合は、必ず受験生が確認できる画質の動画としてください。試験時間は5分から8分くらいですので、動画の長さは少なくとも3分以上を目安とします。また、複数楽曲を審査対象としたい場合は、複数楽曲をひとつの動画にして再生してください。

自身が演奏しているシーンがあれば、どんなものでも良いというのが基本ですが、この基本に対してどれくらい勝負してくるかもみています。

動画撮影に関しては、演奏の部分差し替えなどの編集は避け、ワンテイクのものを用意してください。ただし、複数楽器の重ね録りは可能です。また、映像編集も可能ですが、ご自身の演奏かどうかがわからないような編集は認めません。

評価のポイント

評価ポイントは下記の3つです。録音技術や編集技術は基本的には評価には反映されません。

- ①音楽に対してどれくらい真剣に取り組んできたか
- ②表現することに対して高い意識があるか
- ③音楽を通じて人の心を動かすだけのパッションがあるか の3点です。

①に関してはこれまで音楽にどのように接し、どれくらい真剣に音楽制作や演奏、パフォーマンスに取り組んできたかを評価します。

②は演奏楽曲に対してどれくらいその音楽性を考え、演奏に反映させているかを評価します。

③は演奏された楽曲のクオリティに関わる部分で、演奏技術や音楽に対する理解度を評価します。

◀ 小論文試験



◀ 面接試験



演奏試験 ▼



◀ 作曲試験



これらの写真はあくまでもサンプルとなります。実際の試験とは異なる場合もありますので予めご了承ください。
また感染症等の状況により実施方法が異なる場合もあります。

作文（800字以内）の解答例

課題「2023年度学校推薦型選抜（公募制）より」

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。
（タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください）

- ①「集団幻覚」が発生する話を作文してください。（作文）
②「創作と商業」について自由に論じてください。（小論文）

題名「魚の気持ちになれる店」（①を選択）

魚の気持ちになれる店。目の前に並ぶ文字を理解するのに、こんなにも時間がかかるなんて思わなかった。もう一度スマホを見る。おいしい料理店をまとめているサイトに書いてあった店とまるで違う。随分前のサイトだったから、もう閉店してしまったのだらう。だからといって、こんな小生が名前をつけたような店に入る気にもならなかった。

「おや、お客様ですか」

「え、いや、あの……僕、実はその」

「ちようどよかった。予約がキャンセルになって、余りがでてしまったのです。材料も、もっていないですし、ぜひ。ほら、入って」

断る隙も無かった。店内から出てきた、上品な身なりのおじいさんに背中を押され、店へ足を踏み入れる。

「こちらのテーブルへ。どうぞごゆっくり」

店内はまるで海の中にいるかのように思えてしまうほど、青一色で統一されていた。それなのに、決して安っぽくならず、どこか上品な雰囲気さえ感じられる。不思議と、潮の香りもしてくるようには思えた。周りにいる人たちも、高級そうな服を着ている。きっとここは一流のレストランなのだろう。ドキドキしながら料理を待っていると、先程のおじいさんが一品目の料理を持ってきた。それぞれのテーブルに配膳を終えると、料理の説明が始まる。これはどうやら、くらげのサラダらしい。プルプルのくらげが色鮮やかに盛り付けられていて、食欲がそえられる。周りの人も食べたくて、うずうずしているようだった。

やつのことで説明が終わり、皆で一緒に、くらげを口に運ぶ。しかし、すぐに吐いた。

「ゲホッ。な、なんだこれは……」

動揺は一気に周りへ広がった。囁んでも囁んでも味がしない。見た目と何もかもが一致しないのだ。再び、穏やかな声色が響いた。

「一品目は、魚がよく食べてしまいうプラスチックのくらげを食材にいたしました」

「魚の気持ちになれる店へ、ようこそ」

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

出題意図と評価のポイント

作文は、短い小説あるいはエッセイ風の文章を書く課題です。小論文では論理性や客観性が重視されるのに対し、作文ではユニークな発想、限られた文字数で物語を組み立てる構成力、描写の力などが求められます。とくに描写は、「説明」と混同しやすい点に注意が必要です。例えば「彼は悲しそうだった」と直接書くのが説明であり、涙を流す様子や声色の変化などを具体的に書き、読者に「彼は悲しそうだ」と思わせるのが描写です。この解答例は、テーマ設定と構成が優れています。「魚の気持ちになれる店」という絶妙に気になるフレーズを冒頭に置いて好奇心をくすぐり、

テンポのよい状況説明と場面進行で最後まで一気に読ませる組み立ては秀逸です。「魚の気持ち」というと大海を泳ぎ回る解放感などを連想しそうなものですが、実は「海洋汚染に苛まれる魚の気持ち」という顛末は、意外性もさることながら環境破壊への戒めとなっているところにメッセージ性と現代的なセンスを感じます。気になる点は、試験問題が指定した「集団幻覚」の要素が弱いこと。料理店自体が幻覚である、という読み方も出来ませんが、説明不足の感は否めません。「集団幻覚」と「料理店」の関係をより明確に示す工夫があれば、さらに良くなったはずです。

小論文 (800 字以内) の解答例

課題 [2023 年度学校推薦型選抜 (公募制) より]

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。
(タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)

- ①「集団幻覚」が発生する話を作文してください。〈作文〉
- ②「創作と商業」について自由に論じてください。〈小論文〉

※ 800 文字の小論文を選択できるのは、学校推薦型選抜 (付属高等学校等)、学校推薦型選抜 (公募制)、学校推薦型選抜 (日本大学競技部)、外国人留学生・帰国生選抜、校友子女選抜となります。

題名「そのものの価値」(②を選択)

私たちが生きている現代社会では科学技術が急速に進歩し、IOTと呼ばれるように生活上のほとんどの物がインターネットに接続されている。出版界においては、紙の書籍にかわり、電子書籍が台頭してきている。紙の書籍の販売額が減少しているのに対して、電子書籍の販売額は増加している。これらの事を考えると、作品を創作する作家や、販売をする出版社は電子書籍の方が商売に有益だと考えるだろう。しかし、それぞれに違った価値があり、変化している消費者の需要がある。

紙の書籍であっても電子書籍であっても言葉によって綴られた文章を読むという点は共通している。

紙の書籍を読む場合、「読書」という行為に様々な要素が伴う。例えば触覚の要素だ。紙の書籍であれば、ページをめくる時に指に触れる紙の感覚を味わうことができる。そして、本の存在を重みで感じることもできる。触覚だけでなく、嗅覚の要素や視覚の要素もある。新しい紙の匂いのした本が時が経つにつれて自分の匂いに染まる感覚であったり、読み込むうちに紙の色が変化する様子を味わうことができる。こういったQOLを向上させるような、質量があるからこそその豊かさが現代では求められ始めている。

一方で、現代ではデジタル化が進み、様々な事に効率化が求められている。そのため作品を気軽に楽しむことのできる電子書籍の需要が高い。電子書籍は効率を重視する場合は良いが、上記のような読書という行為に関わる事や本との関係性が損なわれる可能性がある。

物を手に入れることによる豊かさよりも非物質的なものによる豊かさが現代では求められ始めている。だからこそ、作家や出版社はこういった消費者の新しい需要に目を向け、紙の書籍の価値を再評価していくべきだ。売れるから良いであったり、便利だから良いと考えるのではなく、そのものの価値をしっかりと見つめる姿勢が大切だ。

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

出題意図と評価のポイント

小論文は根拠をもとに主張を述べるものになります。そのため、主張に対しては論理性と客観性が必要です。それに加え、自分なりの視線で問題を発見し、考えをまとめているか、つまり「なぜ?」の発見にともなうオリジナリティが感じられるかも評価の重要なポイントとなります。この小論文では、「創作と商業」というお題に対して電子書籍と紙媒体の書籍を比較し、自身が考える書籍の価値を創作的及び商業的な側面で分析した上で、筆者独自の問題提起を行っています。結論である「紙の書籍の価値に対する再評価の必要性」へと導くために「読書」を視覚だけではなく五感を動

員した体験であると表現している点は、筆者の独自性を見出すことができます。このようにありふれたテーマであったとしても、視点を変えることで個性的な主張になります。一方で、改善すべき点としては、電子書籍に対する消費者の需要を「電子書籍の方が商売に有益」であることと「効率的」であるからだとして述べていますが、主張を支える根拠としての客観性が保たれておらず、「紙の書籍の価値」と「電子書籍の価値」の比較が不十分にみえます。客観的な根拠やデータを追加し、なぜ紙の書籍でなければならないのかといった主張に論理性を持たせることで評価が高まります。

〔舞台構想コース〕

▼ グループディスカッション



出題意図と評価のポイント

グループディスカッション、
記述式の文章問題、作文

舞台構想コース（劇作、演出、音響、舞台監督、企画制作専攻）は、入学後に、コースを横断した大人数での創作・研究を、学びの柱の一つとして持っています。そこへの適性を見るため、グループディスカッション、記述式の文章問題、作文ともに、以下三つを評価ポイントとしています。1.自分の意見を淀みなく他者へ伝えることができる 2.他者の意見・狙いを理解し受け止めることができる 3.様々な問題解決へ新鮮なアイデアを提案できる。専門的な知識は問いませんので、演劇の経験は気にしなくて大丈夫です。

〔演技コース〕



演技実技 ▶

音感・リズム感実技 ▶



出題意図と評価のポイント 実技

一番大切なのは、自己と他者を結ぼうとする姿勢です。演技コースの実技試験は「演技」と「音感・リズム感」に分かれます。「演技」ではテキストの正しい読解と、それを土台とした想像の飛躍を両立してください。「音感・リズム感」では、声と身体を自在にコントロールすることが求められます。そして、ときに自身の制御を逸脱して、自分で自分の身体を冒険できると更にいいですね。

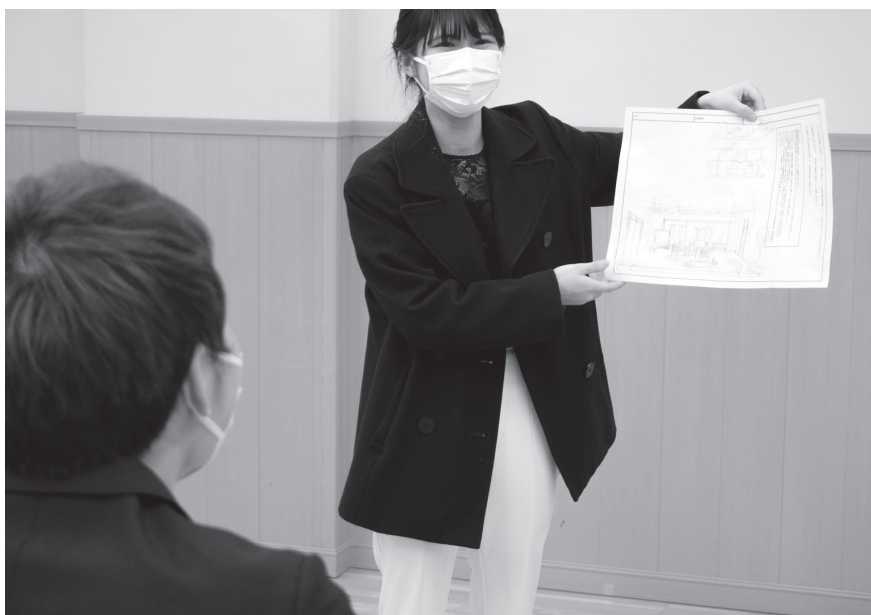
〔舞台美術コース〕

プレゼンテーション ▼

出題意図と評価のポイント

プレゼンテーション

舞台美術コースは、美術／照明の二専攻においてデザインを学ぶための素養をはかるために、「或る題材」を得た中で劇空間のアイデアを発想し、プレゼンテーションを通して相手にどう伝えることができるか、を出題としています。主たる評価のポイントは三点、「出題内容を的確に読み取る読解力」、「演劇に対する能動的姿勢」、「自らのアイデアを魅力的に伝えることができる発信力」を見ています。現時点でのデザイン能力は高くなくとも、目標に到達できるモチベーションや継続性が見られる受験生には、高い評価を与えています。



〔舞踊コース-日舞専攻〕



◀ 日舞専攻実技

出題意図と評価のポイント 実技

専攻では、日本舞踊を通し日本の伝統芸術を学び、舞踊家・実演家はもちろん、それを活かした舞踊創作を創造しながら、世界や地域、多様な社会で活躍できる能力を修得します。その素質を測るため、実技では、日本舞踊曲又は日本の伝統舞踊（各地の伝承芸能を含む）を実演してもらいます。

〔舞踊コース-洋舞専攻〕

出題意図と評価のポイント 実技

以下、三つの観点を大切にしています。

1. 身体の動きによるダンスの適性などをみる（ストレッチ、ウォーミングアップなど）
2. 舞踊技術、運動感覚とリズム感覚をみる（ムーブメント、モダンダンス・テクニック）
3. ダンスの表現力、発想力及び将来性をみる（イメージによる動き、インプロヴィゼーション）となります。



洋舞専攻実技 ▲

【出題のねらい】

制作者（送り手）の思いや考えをテレビ・ラジオの視聴者（受け手）に伝える力が放送人には求められます。その力を発揮するためには、受け手を意識することが大切です。放送学科の作文試験のねらいは、放送の世界を志す者として、ひとりよがりの文章ではなく、読む人を意識した文章が書けるかどうかを見ることにあります。また、その人が何を思い、何を考え、どのような感性を持っているのかなども見ます。

【試験について】

課題（作文の題名）は試験開始直前に試験監督者から発表されます（課題用紙を配布する場合があります）。提示された課題について、どのような作文を書くか考え、指定の時間（60分）・字数（600字）で取り組みます。その際、下書き用紙も配布します。なお、採点は複数の教員で行い、客観的に評価をしています。

【作文に求められる力】

作文に求められる力は、大きく3つです。

- 1, 着眼点 : 課題から発想した文章に自分らしい視点があること
- 2, 構成力 : 指定の字数で文章を構成し、まとめ上げる力
- 3, 表現力 : 自分の思いや考えが相手に伝わるよう、言葉にする力

自分の思いや考えを伝えるために言葉を適切に使い、決められた時間・字数の中に文章を収めること。そして、文章の中にありきたりではない自分らしい視点があること。これらは放送番組を企画、制作する上でも必要なことです。番組作りと重なる点があることから、放送学科では作文を専門試験としています。

【合格者からのアドバイス】

久松 玲子さん

試験日に初めて知る問題に対応するには、発想力と計画性が必要だと思います。

まず、発想力を高めるにはマインドマップがおすすめです。キーワードを中心に置き、そこからイメージを繋げることで思考を豊かにすることができ、作文のアイデアが浮かびやすくなります。

そして文章を書き始める前には、簡単な骨組みを作り、計画してから書くのがおすすめです。作文用紙を4つに分けて「起承転結」を割り振り、全体像をイメージしておくと、あとから書き直すことが減ると思います。また、私は塾の先生に作文を見せて添削してもらっていました。

読んでもらう人に伝わりやすい文章を心がけて練習することが、作文の上達の近道だと思います。

伊藤 壮舞さん

私は感性の積み重ねが文章になると思います。なぜ感動したのか、どこが面白いのか、普段素通りしている感情と向き合ってみてください。俯瞰的に捉えたり、細かく追求してみたり、複数の視点から感じたり、考えたことを言葉にすることを繰り返して、楽な言葉で逃げない習慣を身につけてください。日本語特有の繊細さを楽しむ好奇心が語彙力を高めます。

そして、良い文章を書こうと思わないでください。創作意欲や小手先の技術だけが先行してしまうと、本心とは離れた場所で文章ができてしまいます。目指すべき文章を知るのは大切ですが、一度自分から生まれる言葉を認めてあげてください。言葉に責任を持ちつつ、正直に自分と対話してみてください。あなたを感じることができた時、きっと心を動かす文章になっています。

奥井 沙椰さん

私が作文試験で意識して取り組んだことは「指定されたテーマからいかに発展させた題材で書くことができるか」で、マインドマップを使って他の人が気づけない視点をテーマから探し出す練習をしていました。

例えば私が受験した時のテーマだった「桜」だと、春、入学式、お花見など題材はいろいろ思いつきますが、私は「葉桜」を題材にし、桜の花よりも葉桜が好きだという私の母について書きました。花のイメージが強い桜で取って替えて葉に焦点を当てて書いた人は他にいなかったのではと思います。

テーマが指定されていると聞くと構えてしまうかもしれませんが、文章のどこかにそのテーマがわかるものが紛れていれば成立します。気負わずに、自分の面白さを最大限表現してみてください。

■ あなたにしか書けない作文を

例えば「嘘」がテーマ(題名)の作文試験で求められるのは、「嘘とは何か」「人はなぜ嘘をつくのか」といった説明文や小論文ではありません。あなたなりの着眼点や発想にもとづいて書かれた「嘘」という作文の中に、読み手に伝えたいことや共感して貰いたいことがしっかり書かれているかどうかを見えています。これまで積み重ねてきた経験、抱えてきた事情・葛藤、感じてきた喜怒哀楽、培ってきた価値観・美意識・問題意識等々はあなた固有のものです。その一端をあなたなりの発想力・表現力・構成力を駆使して作文にまとめてください。それは、あなたにしか書けない作文のはずです。

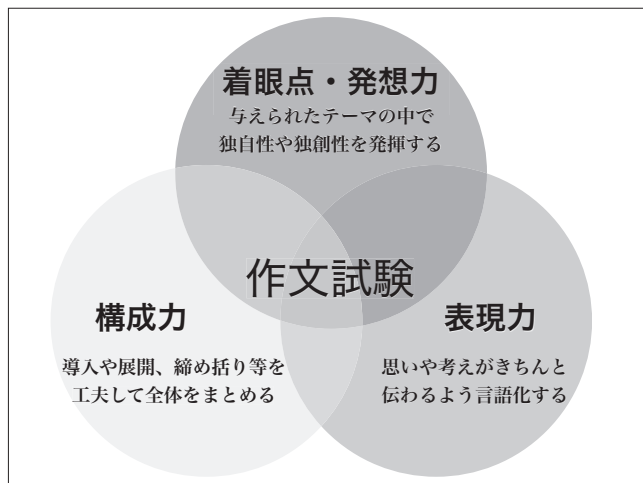
■ 構成の全体像をイメージして書く

作文そのものに苦手意識はないものの、字数や時間に制限が設けられると「うまくまとめられない」という人もいます。書きながら次の展開を考えているため、行き当たりばったりの書き方をしてしまう。そういう人は、作文の全体像を明確にイメージしてから書き始めるようにしてみましょう。おすすめは、起承転結を象徴する4枚の「絵」や「映像」で全体像をイメージしてみること。そして、それらが情景としてありありと目に浮かぶような作文としていくのです。実は、テレビ番組の構成台本やドラマの脚本も、場所や情景、人物の様子や動き等の「映像」を指定しながら書きます。この書き方のコツを掴めば、作文試験だけでなく、将来放送業界に進んでからもきっと活かせるはずです。

■ 具体的な事実やエピソードにもとづいて

「母校の甲子園出場のために一生懸命応援したが、負けてしまい悔しかった」。このような文章は、読み手に大雑把な理解しかもたらしません。「一生懸命」「悔しい」といった形容動詞・形容詞は、様子や心情を大雑把に言い表しているに過ぎない言葉なのです。読み手の理解と共感を得るためには、それに見合う具体的な事実やエピソードを盛り込みながら、その時々の様子や心情を表現することが大切です。例えば、「チアリーダーとして炎天下の球場で汗まみれになってダンスとパフォーマンスを繰り広げた」といった具体的な事実、また「野球部のみんなが整列して応援席に一礼したとき、幼馴染の背番号1が顔をくしゃくしゃにして泣いているのが見え、気がついたら自分も号泣していた」といったエピソード。それらを作文の読み手と共有することによって、はじめて共感が得られるのです。

自分で決めた題名で構いません。時間を正確に計って作文試験と同じ600字・60分で作文を書いてみましょう。そして、身近な人に読んでもらい、率直な感想を聞いてみてください。読み手を意識して書くことの積み重ねが、あなたに実力と自信を必ずもたらします。



アドバイス ①

読み手にイメージさせたい情景を「絵・映像」として具体的に思い浮かべながら全体の構成を練ると、よりわかりやすく、より伝わりやすい作文になります。

- ▶ 起承転結の構成とするなら、各段落を象徴する4枚の「絵」を念頭に置く(4コマ漫画のようなもの)
- ▶ テレビ番組に置き換えるなら、どんなオープニング映像やナレーションで視聴者を食いつかせるか、またどんな展開を経て番組のクライマックスへと繋ぐか、そしてエンディングをどう締めくくるか考えてみる

書きながら次の展開を考えるのではなく、書き始める前に全体像をイメージしておくことが大切

アドバイス ②

賑やか 華やか 静か 楽しい 面白い 嬉しい 悲しい

こうした形容動詞・形容詞だけでは、その場の様子や心情を読み手にきちんと伝えたことになりません。

×「東京ドームは、広くて賑やかだった。楽しかった」

×「ディズニーランドは、広くて賑やかだった。楽しかった」

- 東京ドームとディズニーランドが、文章表現のうえで全く同じ場所になってしまう

広さや賑やかさについて、実際その場で聞き見た具体的な事実や体験したエピソードで表現するようにしてみましょう

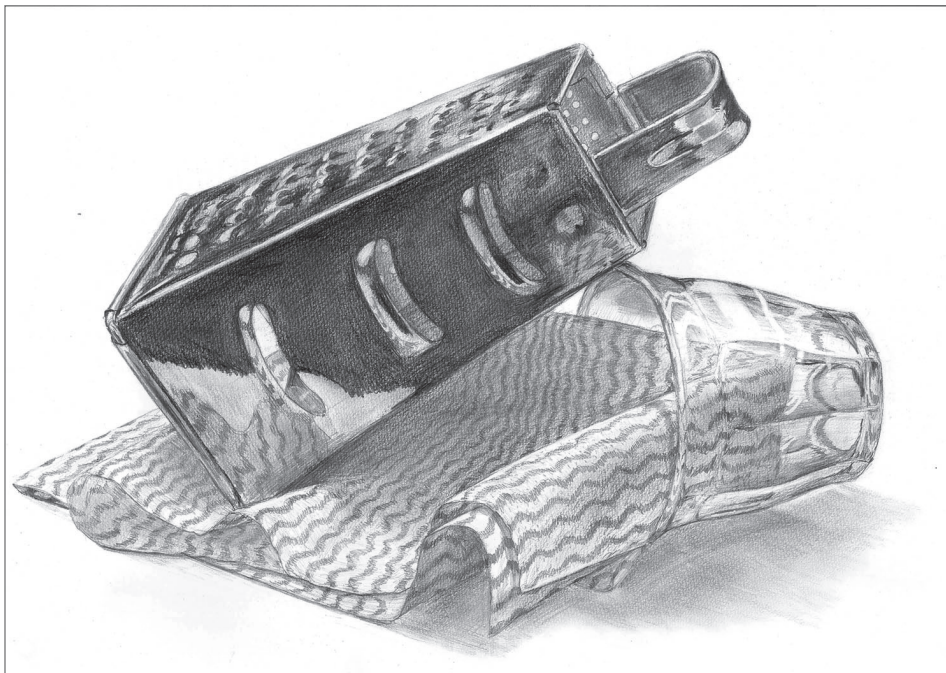
一般選抜A個別方式 実技（デッサン）

課題 与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。
定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。※はかり棒は使用可。

【モチーフ】

チーズおろし金	× 1
ガラスコップ	× 1
カウンタークロス	× 1

(条件詳細は32ページを参照)

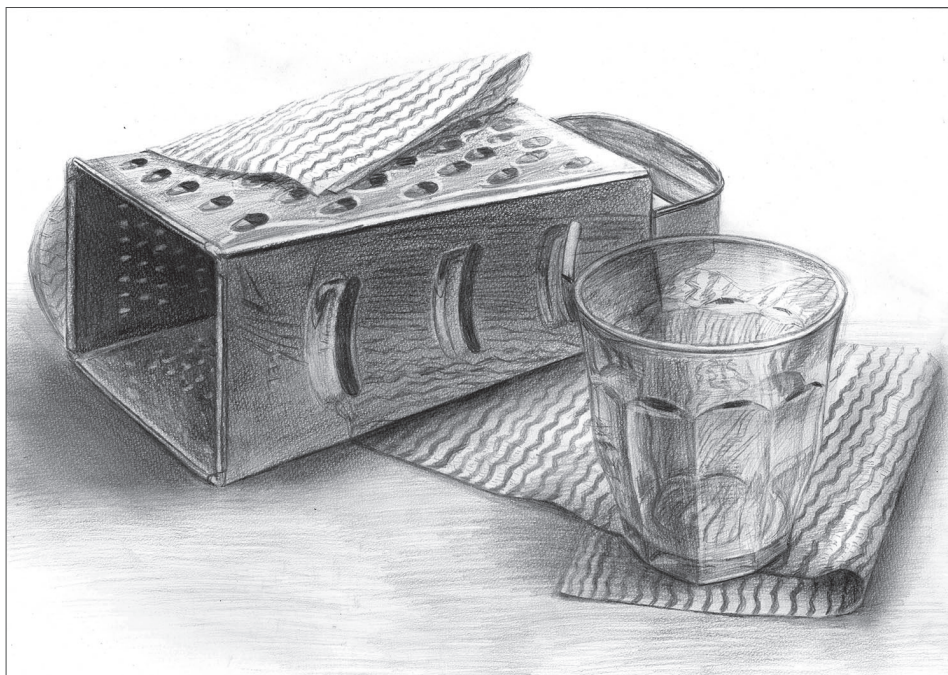


◀解答例Ⅰ

各モチーフの特徴をよく観察して丁寧な描写でリアリティのある表現ができています。構図は天地左右の余白が均等になることを狙って紙面の縦横比を意識したモチーフの配置にしています。布、ガラス、ステンレスの材質の違いをよく感じながら鉛筆の使い分けや画用紙の目の荒さを上手に抑えて、自然に表現しています。カウンタークロスの薄さ軽さ、手触り、ガラスコップの厚みなどがよく伝わってきます。

解答例Ⅱ▶

ガラスコップの背景にモチーフをおくことで、ガラス越しに奥に見えるモチーフの屈折やトーンを観察してガラスの厚みや形を表現することができます。また、右上方向からの光を想定してガラスに陰影を入れて立体的に見えるように工夫しています。どうしたら立体感を得られるかということも大事です。モチーフが置かれている台の水平で平滑な感じや、視点の位置との関係も大事に意識しています。



出題意図と評価のポイント

すべての受験者が共通のモチーフを用い、時間内で行います。モチーフはセットで一人ずつに渡されますので各自が自分の机の上でモチーフを組み、カルトンに画用紙をセットしてのデッサンになります。デザイン学科のデッサンは対象物をよく観察

し正確なプロポーションがとれているかを見ます。最終的にはモチーフに対する観察力・表現力といった総合的なデッサン力を重視します。

一般選抜A個別方式 実技（デザインプレゼンテーション）

課題 私たちの生活に関わる「若者の政治への無関心」から起こる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。

この「若者の政治への無関心」に対してどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。

もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。

(条件詳細は32ページを参照)



解答例 最終案(上) アイデアやメモ(下)

『政治シミュレーションゲーム 総理大臣大作戦』

「あなたはアニマル国の総理大臣!! 問題を解決し良い国づくりをしよう!」とキャッチコピーにあるようにゲームを通して政治を行う立場を体験することにより、楽しく学んで政治に興味を持ってもらおうというアイデアです。今回はスマホアプリの提案が多かったのですが、その中でゲームという、娯楽から学ぶという切り口が他の人にはないアイデアでした。ゲーム内のイベントや、ステータス項目をどうするかなど、細かいところにも気を使って構成した点が評価されました。

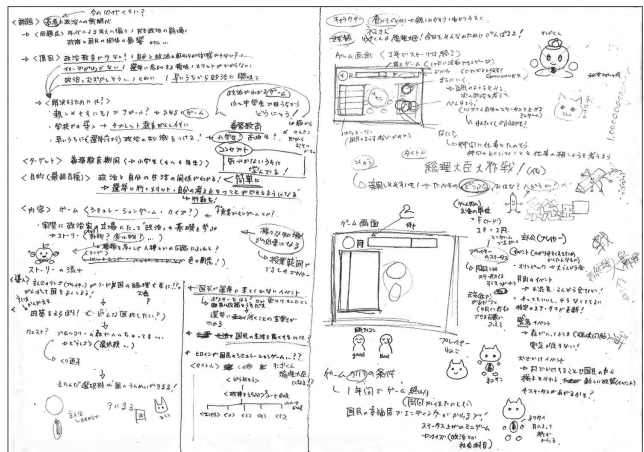
アイデアシートでは具体的な画面表示やキャラクター設定などアイデアをどう見せたら面白くなるかなどよく考えられていました。

The first screenshot shows a flowchart for a game titled '動物王国の発展' (Development of the Animal Kingdom). It starts with '動物王国の発展' leading to '発展の方向性' (Direction of Development), which branches into '発展の方向性' (Direction of Development) and '発展の方向性' (Direction of Development). The second screenshot shows a character profile for '動物王国の発展' (Development of the Animal Kingdom). It includes fields for '名前' (Name), '年齢' (Age), '性別' (Gender), '職業' (Occupation), and '能力' (Ability). There are also handwritten notes and a small diagram.

出題意図と評価のポイント

出題文から問題をみつける「問題発見能力」、そしてそれを解決する「問題解決能力」をみます。更にはその解決方法が「独自性」に富んだものか、「想像力」は豊かか、その中には「発想力とアイデアの展開力(幅広くアイデアが出せるか)」という点も含まれます。

最終的にはそれらをわかりやすく表現するための工夫がなされているかという「プレゼンテーション力」を見ます。1枚目の最終案だけでなく、もう1枚提出する最終案に至るまでの経緯も重視していますので、そちらには思いついた案をすべて書き記してください。



● 総合

Q 一般選抜 A個別方式の学力検査について教えてください。

- A** 一般選抜 A 個別方式では、学力検査として外国語（英語）、国語の試験を課しています。いずれも全問マークシート方式で、60分、100点満点となっています。

英語の出題は、高等学校等までで教わる範囲内の長文読解力、会話表現能力、文法・語法の知識、及び語彙力を試す内容となっています。英語の試験を課しているのは、入学後の学習と卒業後の進路に英語力の有無が大きく影響するからです。皆さんもご承知のとおり、今の世の中はグローバル化が急速に進展し、どのような分野にあっても英語でのコミュニケーション能力が不可欠になっています。そのため本学部では、入学者に高等学校等卒業程度の英語力を要求し、入学後にさらにその能力に磨きをかけて、国際的にも活躍できる人材の育成をめざしているために必要な試験なのです。

国語の学力検査は、国語総合（漢文を除く）が出題範囲となっています。試験の特徴は、全学科の学生に古文や文学史の知識が要求されていることです。これは、本学部が芸術の総合学部であり、入学後の皆さんが学科の枠を超えて勉強するときに必要となる基礎的な学力が求められているからです。日常的にどれだけ活字に触れているかが合否を大きく左右するのは言うまでもありません。

なお、学力検査（英語、国語）2科目の合計点が200点満点中60点未満の者は、総合点が合格最低点を超過していても自動的に不合格となります。

Q 一般選抜 A個別方式の場合、実技試験だけの基準点がありますか？

- A** 学力検査と専門試験を合わせた総合成績の上位から合格となるので、基準点はありません。

Q 小論文・作文試験について教えてください。

- A** **小論文**は、与えられたテーマに対して、真正面から捉え、短時間に思考を整理し、与えられた字数の中で、自分の言葉で文章として論理的に表現できるか、ということが問われます。

作文は、与えられたテーマから受けたイメージを、決してテーマからそれることなく、自分の感性や創造力を十分に発揮しながら、文章を創作してゆくことを求められます。もちろん、自分が体験したことを率直に書いても構いません。

どちらも、自分らしく述べること（オリジナリティ）が必要ですし、原稿用紙の基本的な使い方も身につけておく必要があります。

Q 実技試験について教えてください。

- A** 映画学科演技コース、演劇学科演技、舞踊コース（他コースでは、一部入学者選抜で実施）と、美術学科、音楽学科、デザイン学科において実施しています。

このうち、**演劇学科の舞踊コースと、美術学科、音楽学科、デザイン学科の実技**については、ある程度の経験を必要とします。これまで全く経験のない方については、人一倍の努力が必要となるでしょう。

一方、**映画学科、演劇学科の演技コース**については、全く経験のない方でも十分対応することが可能です。

両演技コースの試験では、役者としての「素質」があるかどうかを見ます。その際、**映画学科**では発声、表情、身体の表現力などについて、**演劇学科**では発声、音感、リズム感、観察力やしぐさの柔軟さ（舞台上における感覚の保ち方と表現に対する方向性）などの観点からそれぞれ見えています。

Q 面接試験について教えてください。

- A** 一般選抜 N 全学統一方式（第1期・第2期）を除くすべての学科・コースで実施します。

形式は、学科・コースによって若干異なりますが、受験生1人に対し複数の面接官を基本としています。

1人あたりの面接時間はおよそ10分から15分、結果については点数化し、その他の試験との総合点で判定を行います。配点は学科・コースにより異なります。

原則として、専門知識は問いません。熱意や目的意識、すなわち大学で何をやりたいか、将来何をめざしているのか、などを聞くのがねらいです。

Q 総合型選抜を受験して不合格となった場合、学校推薦型選抜（公募制）や一般選抜を受験することは可能でしょうか？ また、その場合の志望学科は同じでなければならないのでしょうか？

- A** 総合型選抜に不合格となった場合でも、学校推薦型選抜（公募制）や一般選抜を受験することは可能です。また、その際の志望学科が異なっても構いません。実際、総合型選抜で不合格になっても一般選抜等で合格している受験生も多くいます。

● 写真学科

Q 実技試験はないようですが、写真技術の経験などがなくても大丈夫ですか？

- A 写真を一から学べるカリキュラムになっていますので、写真の技術的な経験はなくても大丈夫です。入学後に、しっかり勉強して技術を習得すれば、写真を使いこなすことができます。もちろん、ある程度の専門知識や技術を持っていることは良いことです。

Q カメラなどの機材や制作施設は大学で借りられますか？

- A 作品制作の中心となるデジタル一眼レフカメラ、パソコン、プリンター等は個人で所有をしていただきます。フィルム用一眼レフカメラ、大判カメラ、大型デジタルプリンターについては大学のものを利用できます。また、スタジオや暗室、デジタルフォトラボも貸し出しを行っています。

Q カメラなどの機材は、どの程度のものを持っていればよいのでしょうか？

- A 写真を専門的に学ぶためには、現状主流のデジタル一眼レフカメラやパソコン、プリンターなどの機材は必須です。また、自分自身の表現や研究のための機材ですので、自分自身の制作傾向、将来の目的に合った機材が必要となります。さらに、フィルムによる写真制作をしたい場合は、フィルムカメラなどの機材もあるといいでしょう。必要な機材については、入学後の授業で詳しくご紹介します。

Q 写真学科が指定するポートフォリオについて教えてください。

- A 写真学科が指定するポートフォリオは以下の通りです。

「学びのポートフォリオ」

探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。写真作品のみを入れるのではなく、これまでの各分野での経験や写真活動が分かるようにしてください。写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。

ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル(20ポケット・40頁以内)とする。ポケットファイルは透明度の高いものを使用し、資料や写真が見えやすいようにしてください。また、ファイルの形状が変わってしまうような厚みのある資料は入れないでください。業績を示すための賞状等はコピーで構いません。

※総合型選抜には別途「作品ポートフォリオ」が必要です。A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成されている形式、もしくはフォトブックでも構いません。自分の撮影した写真(スマートフォンで撮影した写真も可)を他者に見せられる形式にしてください。

※いずれも詳細や例などを写真学科特設サイトにて7月中頃に掲載予定です。詳細はホームページをご確認ください。

Q 編入学・転部試験の持参作品等について教えてください。

- A 今までに積極的な写真活動をしてきた方に、その成果を提示していただきます。コンクールでの受賞や入選の実績がある場合は、作品とともに賞状または作品が掲載された印刷物を持参してください。

受賞・入選作を含む持参作品は、A4からA3ノビ、六つ切から大四つ切の組写真あるいは単写真も含め10点程度とし、作品については必ずキャプションの解説をつけてください。また、活動を客観的に説明できるものとして、展覧会の記録写真や作品の掲載された資料などをお持ちいただいても結構です。

● 映画学科

Q 映画学科では、映画配給などの映像ビジネスについて、勉強することはできますか？

- A 映像表現・理論コースでは、映画ビジネスやマネジメントに関する授業を開講します。特に理論・批評専攻では映像理論や映画史を学びながら、将来の映画ジャーナリストや映画研究者だけでなく、企画者や配給会社などの映画ビジネスに携わる人材の育成も目指しています。

Q 将来は脚本家をめざしているのですが、映画学科で脚本を学ぶには映像表現・理論コースを選択すればいいのですか？

- A 映画学科では数多くシナリオに関連する講座を開講しています。映像表現・理論コースは2年次からシナリオ専攻があり、シナリオライターをめざした専門教育が用意されています。1年次は映像理論や創作研究と共にシナリオ執筆の基礎を学びます。

Q 映像表現・理論コースでは、2年次以降の専攻はどのように決めるのですか？

- A 基本的には本人の希望を尊重しますが、1年次の授業出席や課題提出の期限厳守など、勉学に対する姿勢を鑑みながら、相談の上で決定します。

Q 映画学科の施設について教えてください。

- A 同時録音可能な大・中撮影スタジオ、微速度撮影や顕微鏡撮影が可能な小撮影スタジオ、16mm、35mm映写機に加えDLPシネマプロジェクターを備えた上映施設、現像の基礎となる工学・化学の研究、分析、処理を行う総合ラボラトリー、大小7つの録音スタジオ、アニメーション室、ネガ・ポジ編集室、ビデオ編集室、ハイビジョン制作システム、映画美術制作室、照明特殊機材倉庫、映画メーキャップ室など、映画制作に必要な環境が整っています。

Q 総合型選抜映画学科の適性試験とはどのようなものを行うのですか？

- A コースによって試験内容が変わりますが、作文、実技（撮影、身体表現、文章による創作、プレゼンテーションなど）、批評などを含みます。どのような適性試験になるかは、その時の映画や映像を取り巻く環境によって変化するでしょう。

Q 演劇学科の演技コースと授業内容はどう違いますか？

- A 俳優として必要な演技の“基礎”は両学科に共通ですが、映像と舞台に関する学科内容の違いから、映画学科の場合は「発声」、「音楽」、「日舞」、「洋舞」など、幅広く科目を設置している点に特徴があります。

Q アニメーションを勉強したいのですが、どのコースが適していますか？

- A アニメーション専門のコースはありませんが、複数のアニメーションの講座があります。アニメーションの作品創作の学習が目的なら、講座の中だけでなく、卒業のための作品としてアニメーション制作できる映像表現・理論コース、監督コース、撮影・録音コースが良いでしょう。

Q 演技コースの実技試験用に着替える部屋はありますか？

- A 特に着替えは必要とせず、動きやすい普段着で構いません（更衣室は設けません）。

Q 実技試験に要する時間を教えてください。

- A 演技コースの受験生は、面接試験等の待ち時間も含め、ほぼ半日から一日の間拘束されます。一連の実技試験を同じ会場で通して行い、練習時間を最低10分設けています。試験の所要時間は5分以内です。

● 美術学科

Q 美術学科の特徴を教えてください。

- A 絵画コース絵画専攻では、絵画の基礎および普遍性を重んじ、西欧近代以降の色、形、コンポジションそして絵画空間の考え方を主軸としたカリキュラムにより、4年間じっくりと腰を据えて「絵画」を学び「絵」を描くことができます。また、版画専攻では、「感性を刺激する」ために、イメージ描写やドローイング、基礎的な素材や色彩にこだわり「版表現」の可能性を探ります。そして、「表現を広げる」ために、活版による絵本制作やペン画、イラスト、ポートフォリオ、アートブックなどで、表現を深めていきます。彫刻コースは、彫刻専攻に加え新たに地域芸術専攻が加わりました。彫刻専攻では、造形芸術における形の問題を、昨今忘れがちな基礎の反復と研究によって追求し、自らの表現に繋げていきます。また地域芸術専攻では、社会が抱える問題をアートの力を使って、直接社会と繋がりがながら、人の心を豊かにするための実践力を身につけます。両専攻とも外部での発表を積極的に行っており、社会との接点を多数設けています。

Q 絵画コースに日本画の専攻がありますか？

- A 日本画専攻はありません。ただし、特別講座として組みこまれています。

Q 入試の木炭デッサンでは、木炭紙の下敷きがありますか？

- A 木炭紙の下敷きの用意はありません。必要であれば各自持参してください。

Q 入試の画材登録はどのようにできますか？

- A 募集要項等で指定された期間に「美術学科画材選択・専攻選択入力フォーム」より登録してください。



美術学科画材選択・専攻選択入力フォーム ▶

Q 実技に関するレポートについて教えてください。

- A 実技試験中に考えたこと、制作において工夫したこと、特に見て欲しい部分、自分なりに上手く描けた点や反省点などを文章に400字以内でまとめてください。

Q 絵画コース版画専攻の受験を考えているのですが、版画に関わる実技経験は必要ですか？

A 版画制作の経験がなくても、版画の初歩的な指導から、鉛筆デッサンやペン画、イラスト、絵本など版画以外にも授業では表現の幅を広げるために授業プログラムを用意しています。

Q 彫刻コース地域芸術専攻の受験を考えているのですが、彫刻にかかわる実技経験は必要ですか？

A 1年次のカリキュラムの中で、「デッサン基礎」や「造形基礎」などの初歩的な技術指導がありますので、受験段階での実技経験の有無は問いません。

● 音楽学科

Q 受験曲目の届出は、いつ行うのですか？

A 音楽学科受験生は、全員、「受験曲目等」を指定された期日までに学科サイトより入力し、自分の受験曲目を届け出なければなりません。詳細については、各募集要項にて指示します。

Q 情報音楽コースについて教えてください。

A 情報音楽コースでは、プログラミングなどの情報処理技術とともに、音楽理論や音楽表現を十分に学習します。詳細については、情報音楽コースホームページをご覧ください (www.micnuart.com)。

Q ライブやコンサートの音響を学ぶことはできますか？

A スタジオでの音楽制作が中心ですが、ライブやコンサートの音響技術者になる者も多数います。

Q 情報音楽コースの映像データはどのような形で提出しますか？また、どのような映像が好ましいですか？

A データの事前提出はありません。口頭試問の際に動画を見せていただきます。試験当日に自分のスマートフォンやタブレット端末、PCで再生できるようにしてください。また、バンド活動などの映像でも構いませんが、必ず本人と分かる映像で、顔ならびに全身が確認できるものとします(以下のサンプル画像を参考にしてください)。演奏時間は3分～5分程度で結構です。詳細は入試案内の「音楽学科実技課題曲案内」、「【音楽学科】専門試験参考資料」を確認してください。



演奏動画サンプル

Q 課題曲はいつごろ決まりますか？

A 課題曲については、40～43ページをご覧ください。



音楽学科から
のお知らせ



受験曲目届

● 文芸学科

Q 学生の作品発表の機会はありますか？

A 授業の中で年1回ゼミ雑誌を作成・発行する機会があり、その中で各自の創作を発表することができます。さらに、文芸学科の学生は、入学と同時に江古田文学会の学生会員となり、文芸誌『江古田文学』(年3回発行、市販)において創作、批評などの執筆作品発表の機会があります。

Q 主な設備について教えてください。

A 文芸学科には、コンピュータを多数設置した専用施設があります。DTP(パソコン画面上での編集・版下制作)に使用されるソフトウェア(InDesign等)もインストールされ、ゼミ雑誌作成のほか、学生個人の創作物等にも利用が可能です。また、多くの文芸関係専門書を取りそろえた文芸学科資料室があり、読書・自習の場として活用されています。

Q 他の大学の文学部と同じ内容でしょうか？

A 文学部とは違います。文学を小説や批評といった創作活動、またジャーナリズムの幅広い表現活動の両面でとらえ、その養成を目的とした、文芸表現主体の学科です。

Q 文芸学科ではどのような資格を取得できますか？

A 文芸学科では、中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取得するための科目を開講しています。また、図書館の司書資格、および学校図書館の司書教諭資格を取得するための課程も開かれており、文芸学科生も数多く履修しています。そのほか、博物館の学芸員資格を取得するための課程も設置されており、一部の文芸学科生は履修しています。

Q 「学科指定施設内の資料の参照可」と書いてある試験がありますが、どのような試験形式でしょうか。

A 総合型選抜の小論文または作文試験では、辞書の持ち込みが可能（電子辞書は不可）なほか、文芸学科資料室に所蔵されている図書や雑誌等を、閲覧しながら解答することができます。

Q 小説家を目指しているのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

A 文芸学科では、多様な分野の文芸表現を対象とした授業を開講しており、小説関連の科目を重点的に選択することで、将来の希望に応じた学びが可能です（例：小説論、SF小説論、ミステリー小説論、幻想小説論など）。また、全学年で必修の「文芸研究」でも、小説を専門とするゼミが複数あり、少人数制での創作指導や合評の実践が行われています。小説家を育てる役割を担う現役編集者をゲストに招くこともあります。その他、表現領域を広げ、内容を深めるための発展的科目も開講しております。これらの学修を経て、実際に小説家として活躍している卒業生が何人もいます。

Q 将来は出版業界で働きたいのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

A 文芸学科では、出版業界の実務家が講師を務める講義科目や、雑誌編集のために必要な技術を学ぶ演習科目を開講しています。また、ゼミ雑誌を作成する際に、企画や編集などを学生が担当して一から誌面作りを経験することもできます。文芸学科での学びは、編集者や校閲者、ライター、ジャーナリストなど、出版業界に関わる多様なキャリアへ繋がります。

● 演劇学科

Q 舞台構想コースの専攻と入学選抜について教えてください。

A 舞台構想コースには「劇作専攻」「演出専攻」「音響専攻」「舞台監督専攻」「企画制作専攻」の5専攻があります。1年次はこれらの分野を多角的に複数学び、2年次へ進級する際、学科へ志望専攻を申請してもらいます。入学選抜では、将来どの専攻を志望するかによらず、全員同じ科目を受験します。

Q 試験科目である記述式の記事問題について教えてください。

A 舞台構想コースの、学校推薦型選抜において、実技科目として「記述式の記事問題」を行います。戯曲の一部を読み、それに対しての意見やアイデアを述べてもらいます。演劇史や専門用語の知識を問うことはありません。

Q 舞台美術コースの専攻と入学選抜について教えてください。

A 舞台美術コースでは、4月の学科ガイダンス時に「美術(装置)専攻」「照明専攻」のどちらを志望するか学科に申請してもらいます。しかし、入学選抜では、舞台美術コースを志願する受験生は、両専攻志望とも、同じ科目で受験します。実技試験（プレゼンテーション）は、資料作成（60分）とそれを用いた口頭発表（5分程度）を行う予定です。

Q 舞踊コースの実技試験について教えてください。

A 実技科目の「日舞」と「洋舞」から一つを選択してください。その際、志望する専攻に合わせた科目を選択してください。また出願後、「募集要項」に従ってどちらを選択するかを郵送にてお知らせください。

Q 日舞専攻は日本舞踊の流派に所属していないと受験できませんか？

A 流派に現在所属していなくても受験できます。

Q 日本舞踊以外の実演で受験することはできますか？

A 専攻カリキュラムでは日本舞踊の技術や表現を学び、創作舞踊を創るための方法論や実践を行います。そのために備わっている日本の伝統舞踊の技術や表現からその素質を判断するので、郷土芸能を含む日本の伝統舞踊を実演することでも十分に実技試験に臨むことができます。実技試験でそうした実演で臨む場合も音源や実演に必要なものを持参頂く必要があります。

Q 実技では着物を着用する必要がありますか？

A 日舞専攻の授業では日本舞踊を基盤とした授業を行いますので、日本舞踊曲、日本の伝統舞踊、どちらで受験する場合も着物を着用し受験する必要があります。但し、試験会場へ着物を着てくることも可能ですし、更衣室も用意しています。

Q 演劇学科の実際の舞台発表を観ることはできますか？

A できます。年間のスケジュールは、70ページからの「卒業制作等、学生の作品発表を見るには…」をご参照ください。

また、予約や最新情報は演劇学科ホームページよりアクセスできます。



演劇学科ホームページ ▶

● 放送学科

Q 実習施設にはどのようなものがありますか？また、その施設では実際にどのような授業が行われているのか、教えてください。

A 施設としては4K対応を含むテレビスタジオ2つ、ドルビーアトモス対応などの録音スタジオ4つ、多数のビデオ編集室、MA室のほか、ビデオ収録車やCDライブラリーなどがあります。それぞれのスタジオは現在のテレビ局・ラジオ局とほぼ同じ機能を持っています。また、すべての施設をネットワークでつなぎ、多様な実習が行えるようになっています。

スタジオを使つての実習は、1年次から行われ、企画から番組完成までのプロセスをくり返し実作しながらトレーニングしていきます。さらには、受講生の個性的な企画も取り上げ、それぞれの創造力を引き出すよう配慮しています。また、テレビカメラをはじめとして、照明設備、音声調整卓の操作などの技術面の実習、屋外でのロケーションや取材・音楽録音の実習なども行います。

Q 実習の分野にはどのようなものがありますか？また、どのようにして履修するのか、教えてください。

A 放送学科は「テレビ制作」「ラジオ制作」「映像技術」「音響技術」「CM」「脚本」「アナウンス」の7つの実習を設置しています。これらの中から必ず1つを選び、1年次後期、2・3年次と段階制で履修します。また、実習を2つ履修する“ダブル受講”もできます。なお、第一志望で選択した実習については希望通り履修できますが、2つ目の実習については、各実習が設定している定員数に基づいてダブル受講希望者の募集実施有無を決め、希望者を募った場合は、実習を担当する教員が選抜を行います。

Q 声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を目指しているのですが、放送学科ではそのための勉強はできますか？

A 声を使った職業は多岐にわたりますが、放送学科は放送局（テレビ・ラジオ）のアナウンサーを志望する者の育成をめざしています。人と話しをすることが好きで、自分の言葉で人に何かを伝えることに強い志を持つ者を求めます。声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を育成するための授業は設けていません。

● デザイン学科

Q デザイン学科の特徴を教えてください。

A 1年次では、必修授業を通してデザインの基礎知識と技術の習得に専念します。併せてグラフィック・コミュニケーション、プロダクト、スペース・アーキテクチャー等の各デザイン分野の基礎演習や実習からその概念や意義を学びます。2年次以降は自らが選択した授業（専門領域）を核に、必要とする他の領域を自由に学びながらデザイン手法を修得し、多様な社会の要請に応えられるデザイン力を学ぶことが出来ます。

Q 面接の参考資料とするための自作作品が大型の場合どうすればいいでしょうか？また評価について教えてください。

A 持参できる大きさの物にしてください。または写真に撮って持参することも可とします。
なお、持参作品は面接時の参考資料とし、作品そのものは採点しません。

Q 過去の一般選抜A個別方式の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

A 2023年度（昨年度）の実技課題については、32ページを参照してください。
評価ポイントについては、58、59ページの専門試験参考資料及びデザイン学科ホームページを参照してください。

授業等について

授業について

本学部の授業形態は、芸術に関する知識・理論を学ぶ「講義科目」、経験豊富な教員の指導の基に研究・創作を行う「演習科目」、学生自ら研究・創作の成果を作り上げる「実習科目」などを、最新鋭のスタジオ設備群や本格的な専門設備を完備した各種ホール、専用の展示施設等を使用して、4年間で実践的に学びます。

また、大きな特色の1つとして、学科の専門領域を超えて横断的に科目の履修が可能となる、「他学科公開科目」が設置され、学生個々の興味関心に合わせた科目履修が可能となっています。

さらに全学科の学生が履修可能な「芸術総合講座」では、芸術分野の専門家や社会の第一線で活躍されるクリエイター等を多数招き、リレー形式にて1つのテーマを様々な視点から学ぶ授業を開講しています。講座には有名企業へ訪問し、実務的授業を受講する等、貴重な社会経験を積む授業もあります。

こうした高度な専門性を養うカリキュラム、横断的な履修方式やユニークな授業科目など、多様な学びの在り方こそが、「日藝」ならではの授業＝創作活動の基盤です。

取得資格について

●学 位 学士（芸術）

●教員免許状（教職課程）

各学科においては、右表の免許状を取得できます。

●学芸員資格（学芸員課程）

本学部では、学芸員（博物館、美術館等で資料の収集や保管、展示及び調査研究を行う専門職員）の資格を取得するための課程を設けています。

●司書教諭資格（司書教諭課程）

学校図書館の運営・活用について中心的役割を担

う司書教諭の資格を取得するための課程です。司書教諭の資格を得るためには、所定の科目を修得し、教育職員免許状（免許の種類・教科は問いません）の取得が必要となります。

●司書資格（司書課程）

都道府県や市町村の公立図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員の資格を取得するための課程です。

●一級建築士＜デザイン学科＞

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業し、試験に合格したうえで、大学卒業後の建築実務経験を2年以上経ることにより、一級建築士として登録されます。

●二級建築士、木造建築士＜デザイン学科＞

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業することで、受験資格を得られます。

学 科	中学校一種	高等学校一種
美 術	美 術	美術、工芸
音 楽	音 楽	音 楽
文 芸	国 語	国 語
デザイン	美 術	美術、工芸

転科・転コースについて

学部内で所属学科を変更することを「転科」と呼びます。転科試験については11月頃に受験資格、手続き要領などを掲示板に掲示します。また、学科内で所属コースを変更する「転コース」については、転科に準じて認められることがあります。

しかしながら、転科・転コースはあまり望ましいことではありません。入学者選抜の出願にあたっては、自分が何を目的としているか、何を学びたいのかといった視点から志望学科・コースを決めるようにしてください。

≪2023年度転科試験実施状況≫

転科希望学科	出願者数	受験者数	合格者数
写 真	0	0	0
映 画	3	2	2
美 術	1	1	1
音 楽	0	0	0
文 芸	0	0	0
演 劇	0	0	0
放 送	2	2	0
デザイン	1	1	1
合 計	7	6	4

本学部においては、卒業するために必要な単位数を124単位以上と定めています。

科目区分		必要単位数	備 考
全学共通教育科目		初年次教育科目	「自主創造の基礎」「日本を考える」
(各学科共通授業科目) 芸術教養課程科目	芸術教養科目	14単位以上	
	外国語科目	8単位以上	ただし、1か国語4単位を含む8単位以上
	保健体育科目	3単位以上	講義2単位、実技1単位は必修
所属学科授業科目・共通専門教育科目		58単位以上	
その他		41単位以上	日本大学相互履修科目、他学科公開科目などを含む
合 計		124単位以上	

全学共通教育科目のうち、「自主創造の基礎」は、大学入学までの受動的な学習から転換を図り、「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力を養い、大学生としての能動的な学修を導くことを目的とした授業です。「日本を考える」は、異文化及び異分野の多様な価値を受容し、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を意識し、以後の学修目標の明確化やモチベーションの向上を目的とした授業です。

芸術教養科目は、大学の学生としてもつべき基本的教養、各芸術分野にまたがる総合的視野を身につけるために設置されている科目です。

外国語科目は、基礎的な語学力を身につけるとともに、国際人としての基本的な教養を学ぶために設置されている科目で、英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・中国語・日本語（留学生のみ）だけでなく、韓国語・スペイン語・ラテン語や、各外国語の応用・実践クラスを自由に履修することができます。

保健体育科目は、講義と実技に分かれています。講義では日常の健康法やスポーツの歴史などを学び、実技ではスポーツの技術を修得します。実技科目には、各種球技やフィットネストレーニング・ボクササイズなどのほか、スキー・スケートなどのシーズンスポーツが開設されています。

学科別授業科目とは、各学科の専門科目のことです。どの学科の専門科目も、A 理論・歴史 B 研究 C 表現技術の3部門により構成されています。A部門では、各分野の芸術について、基本から応用までの理論と歴史を学びます。B部門では、それぞれの芸術に特有のテーマについて、各先生の研究成果をもとに、より専門的な授業が行われます。C部門では表現の技術を実践的に身につけるための演習・実習授業が、コース別・専攻別に行われます。

学科別授業科目は、自分の所属する学科以外の科目でも履修することができます。ただし、これには条件があり、学科別授業科目のうち、「他学科公開科目」として定められている科目に限られています。

また、特別プログラムとして「**芸術総合講座**」が開設され、さまざまな芸術領域の最新情報や技術を、オムニバス形式の授業により学ぶことができます。一部の授業では実際の作品創りやワークショップなど、実践的、創造的な授業を展開しています。

共通専門教育科目は、芸術プロジェクトをベースにした実践型・参加型の学習形態科目となり、芸術活動に必要なコミュニケーション力や課題探求力、自己表現力など様々なスキルを身につけ、初年次に全学共通教育科目や各学科の基礎科目で培った能力をさらに養い発展させる事を目的とした授業です。

このほか、卒業単位には含まれませんが、**教職課程**、**学芸員課程**、**司書教諭課程及び司書課程**の科目も設置されています。

大学での学習に何を求めるか、学生一人ひとりが主体的に考え、さまざまな授業科目を組み合わせ「自分だけの時間割」を作るところに、大学での学びの面白さがあります。学科・コースにより必修科目、必修ではないが履修することが望ましい科目がありますし、科目によっては履修する学年が指定されている場合もありますが、それでも各自の目的の違いによって、大学には学生の数だけの時間割が存在するといつて良いのです。

インターンシップについて

芸術学部では、学生が自らの専門分野や将来のキャリアに関連した〈実社会の現場〉で業務体験を行うことを通じて、各自の〈職業観〉を身につけることを目的に、「芸術学部インターンシップ制度」を設けています。

写真、映画、デザイン学科においては、選択科目として年間の正規の授業に組み入れられており、原則的に3年生の夏休みに集中的に行われます。教室での授業では得られない実社会の体験を通して、社会人としての自覚を意識できるチャンスであり、また自分に合った職業を見つめ直すチャンスでもあります。

入学金・授業料等納入金について [2024年度]

入学者納入金は下表のとおりです。合格後、入学手続の際に必要な納入金は以下の「前学期 計」の金額となります。
 なお、2年次以降卒業年次までの納入金の年額については、原則として、入学金を除く入学年度の納入金と同額になります。
 また、入学後の学費等の納入期限は、前学期は4月末日まで、後学期は9月末日までとなります。

(単位：円)

学科・コース		納入区分	入学金 (入学時のみ)	授業料	施設設備 資金	実験 実習料	後援会費	校友会費 [準会員]	前学期 計 後学期 計	初年度 年 額	2年次以降 年 額
写 真		入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,085,000	1,900,000	1,640,000
		後学期納入金	—	555,000	200,000	50,000	10,000	—	815,000		
映 画	映像表現・理論	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000		
	監督、撮影・録音	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	75,000	10,000	10,000	1,125,000	1,980,000	1,720,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	75,000	10,000	—	855,000		
	演技	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	40,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	40,000	10,000	—	820,000		
美 術		入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
		後学期納入金	—	550,000	200,000	60,000	10,000	—	820,000		
音 楽		入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,095,000	1,920,000	1,660,000
		後学期納入金	—	555,000	200,000	60,000	10,000	—	825,000		
文 芸		入学手続時(前学期)納入金	260,000	520,000	200,000	25,000	10,000	10,000	1,025,000	1,780,000	1,520,000
		後学期納入金	—	520,000	200,000	25,000	10,000	—	755,000		
演 劇		入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	35,000	10,000	10,000	1,070,000	1,870,000	1,610,000
		後学期納入金	—	555,000	200,000	35,000	10,000	—	800,000		
放 送		入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000		
デザイン		入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	45,000	10,000	10,000	1,075,000	1,880,000	1,620,000
		後学期納入金	—	550,000	200,000	45,000	10,000	—	805,000		

※卒業予定年次後学期に、日本大学校友会正会員費初年度分として10,000円を代理徴収いたします。

戻る

■ キャリア形成に関するスケジュール [参考]

■ 就職指導講座（3年次生対象）の一部 [参考]

学部概要

69

卒業制作等，学生の作品発表を見るには…

戻る

芸術学部では，教育の成果として，年間にわたり学生の作品が発表されています。写真・絵画・彫刻・デザインなどの展示，映画・放送等の映像作品の上映，文芸誌ほか各学科研究誌の出版，音楽・演劇・舞踊の上演といったように，発表の形式・内容もバラエティに富んでおり，こうした作品の中には，学外の各種コンクールにおいて審査を受け，受賞するものも数多くあります。

学部では，各学科の実習内容を理解していただくためにも，これらの発表をぜひ見ていただきたいと願っています。

※2023年4月現在の予定について掲載しています。変更となる場合がありますので，詳細については，本学部または各学科ホームページをご確認ください。

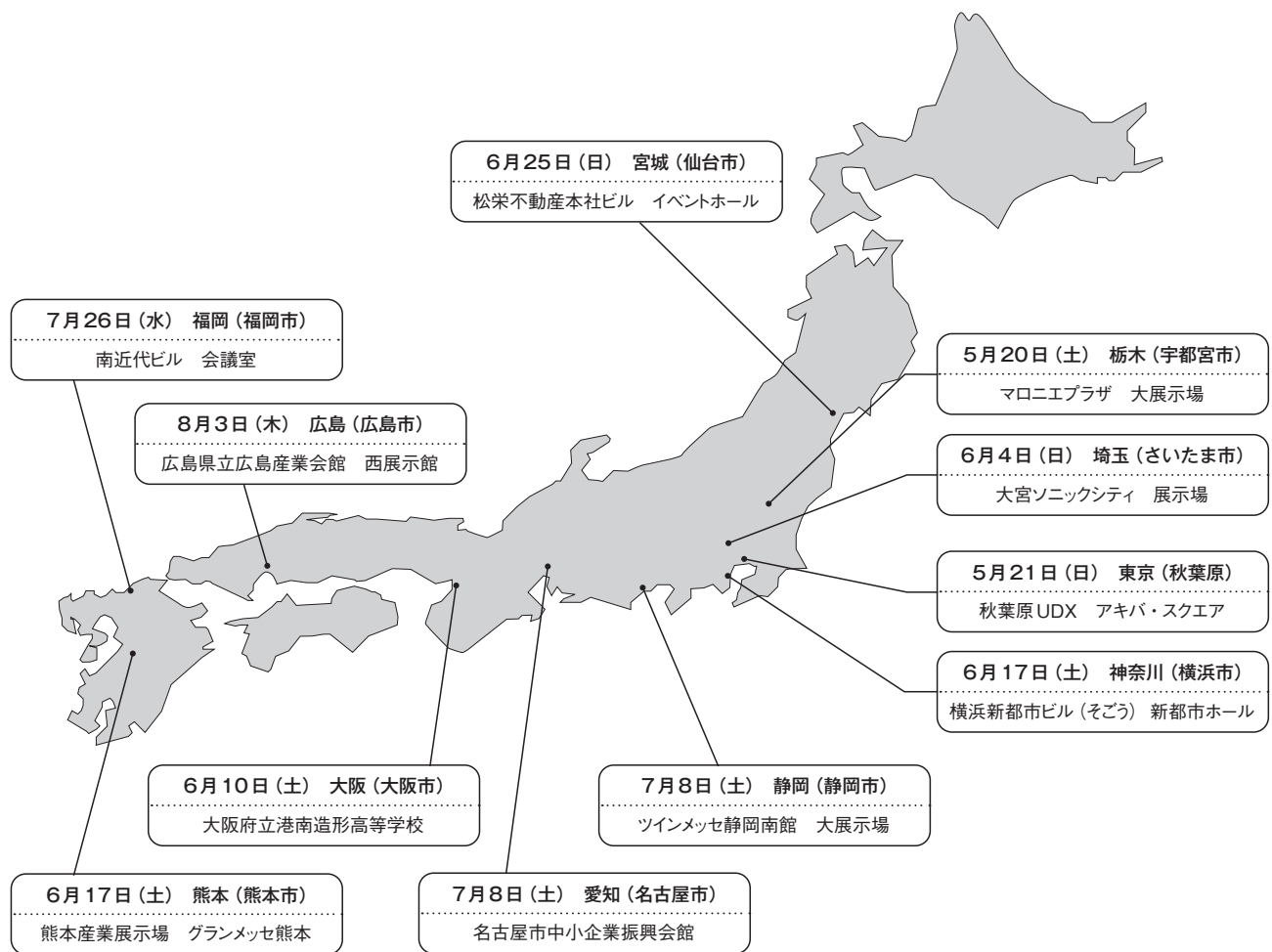
学科	名 称	時 期	会 場	内 容
写 真	卒業・修了制作 優秀作品展	5/9以降随時 (ホームページにて ご確認ください)	学部校舎 写真ギャラリー	令和4年度の優秀作品(卒業制作・修了制作)の 展示(無料)
	GRIP2023 -学生選抜作品展-	6/22～28	ポートレートギャラリー	学内選考によって選ばれた学生による展示(無料)
	日芸祭写真展	11/3～5	学部校舎	学生の個人・グループによる作品展示(無料)
	卒業制作集 [LOCUS]	毎年3月発行	学部校舎にて閲覧可	卒業制作・論文の抄録
	写真学科2024卒展	2024年3月下旬 (予定)	学部校舎(予定) (ホームページにて 告知します)	学生作品の展示(無料) ※卒業制作の一部は写真学科公式ホームページ 内でも公開しています。
	問合せ先 ☎03-5995-8210(写真学科事務室) 写真学科公式ホームページ https://www.nuaphoto.com/			
映 画	映画学科機関誌 「映像研究」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	各年度の卒業論文，シナリオ，エッセイや作品 題目一覧等を掲載
	映像表現・理論コース 2年ゼミ誌 「書くことから」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース2年 理論・批評専攻， シナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は 約5,000字の批評，シナリオは15分程度の短編
	映像表現・理論コース 3年ゼミ誌 「言葉と映画のあいだに」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース3年 理論・批評専攻，シ ナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は約 10,000字の批評，シナリオは15分～30分程度の 短編
	映像表現・理論コース 卒業論文・制作・研究発表会	3月中旬	学部校舎	理論・批評専攻による卒業論文，シナリオ専攻 による卒業制作(シナリオ)，映像専攻による卒 業研究の展示・上映(無料)
	フォーカス イン FOCUS IN	5～6月頃 (1週間程度)	学部校舎 他	前年度の「映画演出Ⅲ」「映画技術Ⅲ」「卒業制作」 の作品上映(無料) ※詳細はホームページに掲載予定
	問合せ先 ☎03-5995-8220(映画学科事務室) 映画学科公式ホームページ http://nuart-cinema.info/			
美 術	「版画五美大2023 ポートフォリオ版画集と アートブック」展	10/18～29	武蔵野美術大学	本学部のほか，武蔵野美術大学，多摩美術大学， 女子美術大学，東京造形大学の版画を学んでいる 学生の版画集及びアートブック展(無料)
	全国大学版画展	12/2～24 (12/5・12/19休館)	上田市立美術館	版画教育を行っている全国の大学が参加する版 画展(有料)
	北野教育振興会 彫刻奨学生作品展	11/27～12/8 (12/3休館)	学部校舎芸術資料館	北野教育振興会彫刻奨学生受賞者による作品展 (無料)
	修了制作展 (絵画・版画分野)	1/10～16 (1/14休館)	学部校舎芸術資料館	絵画・版画分野の作品展示(無料)
	美術学科卒業制作展 (絵画・版画専攻)	1/18～24 (1/21休館)	学部校舎芸術資料館 その他	絵画，版画各分野の作品展示(無料)
	卒業・修了制作展 (彫刻専攻・彫刻分野)	1/26～2/1 (1/28休館)	学部校舎芸術資料館 その他	彫刻各分野の作品展示(無料)
	卒業・修了制作展(版画)	1/29～2/3	ギャラリー川船	版画専攻・版画分野の作品展示(無料)
	東京五美術大学連合 卒業・修了制作展	未定	国立新美術館	本学部のほか，武蔵野美術大学，多摩美術大学， 女子美術大学，東京造形大学が一堂に会する 連合卒業制作展(無料)
	卒業・修了制作 選抜作品展(絵画)	2月下旬 ～3月上旬	ギャラリー絵夢	絵画専攻・絵画分野の作品展示(無料)
	美術学科卒業制作選抜展 (日藝博覧会)	3月中旬(予定)	学部校舎芸術資料館 その他	絵画，版画，彫刻各分野の作品展示(無料)
	問合せ先 ☎03-5995-8230(美術学科事務室) 美術学科公式ホームページ http://www.art.nihon-u.ac.jp/departments/finearts/			

学科	名 称	時 期	会 場	内 容
音 楽	第140回定期演奏会	7/11	杉並公会堂大ホール	試演会(公開実技試験)より選ばれた学生の独奏・独唱・作品発表の演奏会(無料)
	第52回ピアノコンサート	11/15	IMA ホール	試演会(公開実技試験)にて選ばれたピアノコース専攻生による演奏会(無料)
	第35回ウィンドオーケストラ定期演奏会	11/21	杉並公会堂大ホール	吹奏楽定期演奏会(無料)
	第54回オペラ公演	12/7	IMA ホール	声楽コースの学生による公演(無料)
	第141回定期演奏会	12/18	杉並公会堂大ホール	オーケストラ定期演奏会(無料)
	第44回新作室内楽の会	3/9	学部校舎音楽小ホール	「作曲・副科作曲」授業の学習・研究成果の発表(無料)
	卒業演奏会	3/13	北とぴあつつじホール	作曲, 声楽, ピアノ, 弦管打楽各コース卒業生より選ばれた学生による演奏会(無料)
	情報音楽フェス SWITCH2024	3/16・17	学部校舎音楽小ホール 他	情報音楽コースライブエレクトロニクスコンサート並びに音の展示作品発表(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8240(音楽学科事務室) 音楽学科公式ホームページ https://music.art.nihon-u.ac.jp/index.html				
文 芸	ゼミ雑誌	12月頃発行	学部校舎にて配布 学部祭等でも配布	ゼミでの学生の創作・評論・詩等をまとめた文集(無料)
	演習授業による刊行物	1月頃発行	学部校舎にて配布	各演習授業の成果をまとめた雑誌(無料)
	文芸学科 「優秀卒業論文・作品集」	3月発行	学部校舎にて入手可	芸術学部長賞・奨励賞受賞作を収録した, 優秀卒業論文・作品集
	『江古田文学』	年3回発行	全国の書店にて販売	学生やOB, 教員の作品を発表している文芸誌
問合せ先 ☎03-5995-8250(文芸学科事務室) 文芸学科公式ホームページ https://www.nichigei-bungei.info/				
演 劇	劇場実習	7/6～8	学部校舎中ホール	1～4年生演劇舞台発表
	総合実習A1	9/14～16	学部校舎中ホール	2・3年生演劇舞台発表
	総合実習ID・IID	9/27～30	学部校舎小ホール	2・3年生演劇舞台発表
	総合実習IIB	10/13～14	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	卒業制作(日舞)	11/3～5	学部校舎中ホール	4年生創作舞踊(日舞)舞台公演
	卒業制作(演劇)	11/16～18	学部校舎中ホール	4年生演劇舞台公演
	卒業制作(洋舞)	12/1～2	学部校舎中ホール	4年生洋舞舞台公演
	総合実習IB	12/8～9	学部校舎中ホール	2年生洋舞舞台発表
	総合実習IC	12/16	学部校舎中ホール	2年生創作舞踊(日舞)舞台発表
	総合実習IIC	12/22～23	学部校舎中ホール	3年生創作舞踊(日舞)舞台発表
	総合実習A2	2/22～24	学部校舎中ホール	2・3年生演劇舞台発表
問合せ先 ☎03-5995-8260(演劇学科事務室) 演劇学科公式ホームページ http://theatre.art.nihon-u.ac.jp/				
放 送	卒業制作発表(朗読)	12月	学部校舎	卒業研究の朗読の発表会(無料)
	卒業制作発表と展示 (映像・音響・朗読・脚本など)	3月	学部校舎	卒業研究の映像作品の上映, 音響作品と朗読の発表, 脚本・アナウンス・論文の展示(無料)
	研究誌「放送と表現」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	放送学科教員の論文や学生の優秀卒業論文, 卒業制作の台本, 脚本等の発表の場として発刊された研究誌
	問合せ先 ☎03-5995-8270(放送学科事務室) 放送学科公式ホームページ http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/broadcast/			
デ ザ イ ン	大学院修士2年 CD系グループ作品展	6/17～30	学部校舎A&Dギャラリー	大学院修士2年のグラフィック, CD系に在籍する院生の修士研究中間発表展示(無料)
	デザイン学科助手展	9月下旬	学部校舎A&Dギャラリー	デザイン学科助手による作品展示(無料)
	日芸祭 作品展	11/3～5	学部校舎	学生作品の展示(無料)
	大学院修士制作展	2月下旬～3月上旬	学部校舎A&Dギャラリー	大学院生の修士課程修士制作展(無料)
	卒業制作作品展	2月下旬～3月上旬	学部校舎	デザイン各分野卒業制作作品展(無料)
	デザイン学科優秀作品展 (日藝博覧会)	3月中旬	学部校舎	学生優秀作品, 卒業制作優秀作品の展示(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8690(デザイン学科事務室) デザイン学科公式ホームページ http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/				

外部進学相談会について

戻る

芸術学部は、全国で実施される下記の芸術系進学相談会に参加する予定です。



※日程・会場は追加・変更される場合があります。また、その他、資料参加のみの会場もあります。詳細については、本学部ホームページをご覧ください

※上記と別に、日本大学が実施・参加する進学相談会等があります。詳しくは日本大学ホームページをご覧ください

キャンパス見学について

予約制

芸術学部では、事前予約制でキャンパス見学を行っています。ご希望の方は芸術学部ホームページをご覧ください。

なお、修学旅行等の学校行事による見学希望については、学校単位での受付とさせていただきます。

1 見学可能日時

※日曜日・祝祭日及び学部事務休止日は、見学を休止しております

※芸術学部の諸行事や授業等の事情により見学いただけない場合、または見学内容を制限させていただく場合がございますのでご了承ください

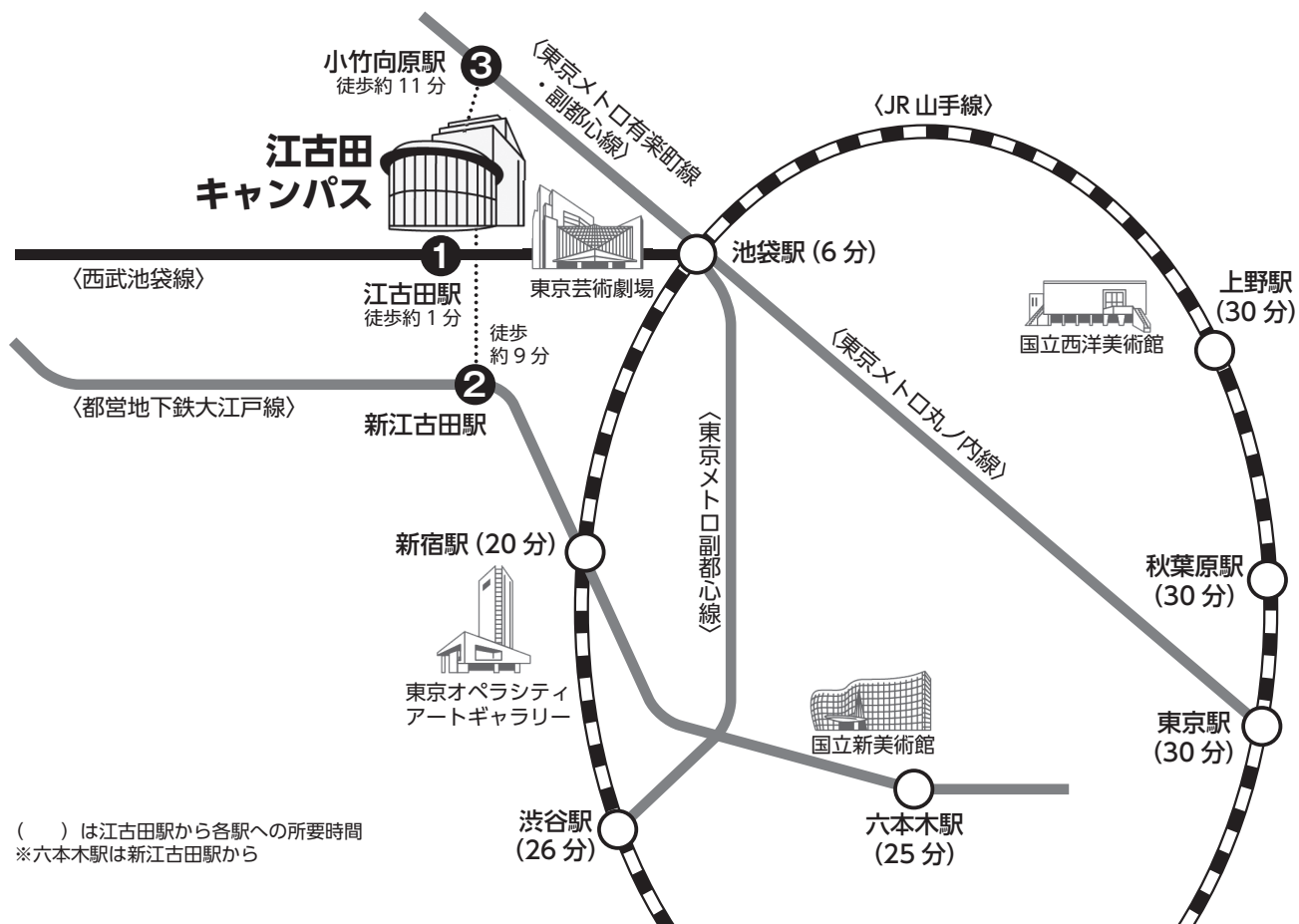
2 見学の内容

学科施設案内及び説明

校舎案内等

戻る

校舎案内



アクセス

- ① 江古田駅（西武池袋線） 池袋駅から各駅停車で約6分、北口から徒歩約1分
- ② 新江古田駅（都営地下鉄大江戸線） 新宿駅から約20分、A2出口から徒歩約9分
- ③ 小竹向原駅（東京メトロ有楽町線・副都心線） 池袋駅から約6分、2番出口から徒歩約11分

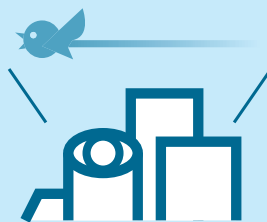


WELCOME
to
NICHIGEI!



Open Campus オープンキャンパス

6月25日(日)、8月6日(日)



模擬授業 ワークショップ 個別進学相談コーナー 他

日芸祭同時開催・入試相談会

11月3日(祝・金)・5日(日)

個別進学相談コーナー 他



日藝博覧会同時開催・入試相談会

3月16日(土)・17日(日)

個別進学相談コーナー 他



8つのアート1つのハート



各イベントの詳細については
本学部ホームページをご覧ください



日本大学藝術学部